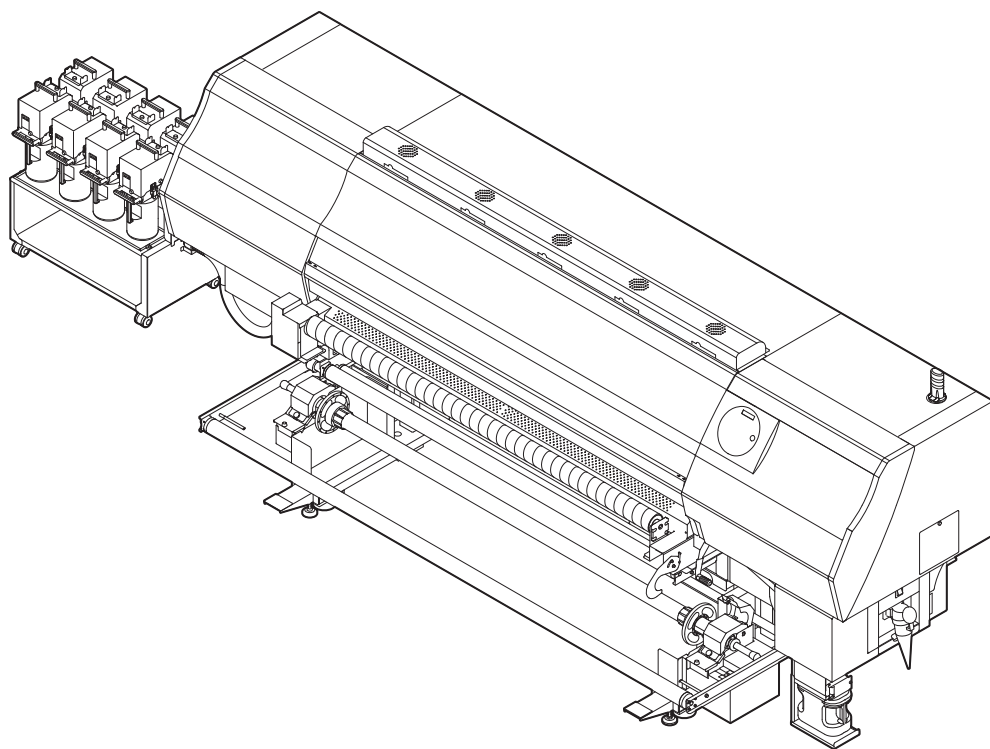


OPERATION MANUAL

カラーインクジェットプリンタ

Tx500-1800DS

取扱説明書



取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

目次

ご注意	v
ご注意	v
おねがい	v
電波障害自主規制	v
テレビ/ラジオの受信障害について	v
はじめに	vi
使用できるインクについて	vi
取扱説明書について	vi
安全にお使いいただくために	vii
マーク表示について	vii
安全インターロックについて	x

第1章 ご使用の前に

本装置の設置について	1-2
設置場所について	1-2
使用環境温度について	1-2
装置の固定について	1-3
本装置の移動	1-3
各部の名称とはたらきについて	1-4
装置前面	1-4
装置背面/側面	1-5
操作パネル	1-6
ヒーター	1-7
キャリッジ	1-8
キャッピングステーション	1-8
ピンチローラーとグリットローラー	1-9
表示灯	1-9
ケーブルを接続する	1-10
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する	1-10
電源ケーブルの接続について	1-11
インクボトルをセットする	1-12
インクボトル取り扱い上のご注意	1-16
メディアについて	1-17
使用可能メディアサイズ	1-17
プリント布の取り扱いについて	1-17
使用制限のあるメディアについて	1-18

第2章 基本的な使い方

作業の流れ	2-2
電源を入れる/切る	2-3
電源を入れる	2-3
電源を切る	2-4
メディアをセットする	2-5
最大プリントエリアについて	2-5
メディアセットの概要	2-6
スペーサを確認する	2-7
除電布の取り付け	2-9
メディアセットに関するご注意	2-10
ロールメディアをセットする	2-11
リーフメディアをセットする	2-24

ヘッドギャップを設定する	2-26
原点を変更する場合は	2-27
ヒーターの準備をする	2-28
ヒーターの温度設定を変更する	2-28
ヒーターの温度を確認する	2-29
テストフィードをする	2-30
テストプリントをする	2-31
テストプリントを行う	2-32
ヘッドクリーニング	2-33
ヘッドクリーニングについて	2-33
テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う	2-33
メディアの送りを設定する	2-34
メディア送り補正の流れ	2-34
トルクリミッタを調節する	2-35
フィード補正の設定	2-36
双方向プリントのドット位置を調整する	2-38
データをプリントする	2-40
プリントを開始する	2-40
プリントを中断する	2-41
受信したデータを消去する (データクリア)	2-41
プリント完了後の動作	2-41

第3章 便利な使い方

設定機能一覧表	3-2
ヒーターの設定をする	3-3
ロジカルシークの設定をする	3-4
乾燥時間の設定をする	3-5
マージンの設定をする	3-6
パス間のシマを軽減する設定をする	3-8
オートクリーニングの設定をする	3-10
ノズル面の清掃頻度を設定する	3-11
その他の設定	3-12
マシン設定	3-13
オートパワーオフの設定をする	3-15
クリダシ&マキトリの設定をする	3-16
メディア残量表示の設定をする	3-17
ジコクの設定をする	3-19
タンイの設定をする	3-20
キーブザーの設定をする	3-21
使用ヘッドラインを選択する	3-22
言語の設定をする	3-23
メディアケンシュツの設定をする	3-24
乾燥フィードの設定をする	3-25
プリント間の余白を設定する	3-26
余白部分のフィード方式を設定する	3-27
ネットワークの設定をする	3-28
イベントメール機能の設定	3-30
設定ロックの設定をする	3-40
設定した内容を初期状態に戻す	3-42

装置情報を確認する	3-43
装置の使用状況を確認する	3-43
装置のバージョン情報を確認する	3-44
本機の情報を表示する	3-45

第4章 お手入れ

日常のお手入れ	4-2
お手入れ上のご注意	4-2
メンテナンス洗浄液について	4-2
外装のお手入れ	4-2
折り返しバー（巻取側）の清掃	4-3
引っ張りローラーの清掃	4-3
ブレーキローラーの清掃	4-3
プラテンの清掃	4-4
グリットローラーのお手入れ	4-6
布押さえの清掃	4-8
キャッピングステーションのメンテナンス	4-9
ワイパー周辺の清掃	4-9
ワイパーインク受けの清掃	4-12
インク排出路の洗浄（ハイロセンジョウ）	4-14
長期間使用しない場合（ホカンセンジョウ）	4-15
ヘッド周辺の清掃	4-18
ノズル詰まりが復旧しない場合	4-20
ヘッドノズルの洗浄	4-20
ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントする	4-22
オートメンテナンス機能	4-26
リフレッシュ間隔を設定する	4-26
クリーニング間隔を設定する	4-27
Y モーターの清掃	4-28
消耗品の交換	4-29
ワイパーを交換する	4-29
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら	4-30

第5章 困ったときは

故障？と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる	5-3
[HEAT] ランプ, [CONSTANT] ランプが点灯しない	5-3
画質不良が発生したときは	5-4
ノズル詰まりを解消したいとき	5-4
インクボトルに異常が発生したら	5-5
サブタンク関連のエラー（エラー 618 ～ 61b）が発生したら	5-6
インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら	5-7
圧力異常が発生したら	5-9
ヘッド故障エラーを表示したら	5-11
メッセージを表示するトラブル	5-13
ワーニングメッセージ	5-13
エラーメッセージ	5-17

第 6 章 付録

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
インク種によるセットの違いについて	6-4
インクボトルのセット順	6-4
お問い合わせシート	6-5
警告ラベルについて	6-6
機能フローチャート	6-8

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ/ラジオの受信障害について

本装置は、使用時に高周波が発生します。このため、本装置が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害が発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。

本装置がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われる場合は、本装置の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせるをお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

この度は、カラー インクジェットプリンタ Tx500 シリーズ をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
「Tx500 シリーズ」は、昇華転写インクでプリントする、高速・高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。

使用できるインクについて

本機で使用できるインクは、昇華転写インク (4 色 /6 色) があります。

- ・ 4 色モデル : ブルー・マゼンタ・イエロー・ブラックの各インクボトルを 2 本ずつ使用
- ・ 6 色モデル : ブルー・マゼンタ・イエロー・ブラック・ライトブルー・ライトマゼンタの各インクボトルを 1 本使用 (ただし、イエロー・ブラックは 2 本)

取扱説明書について

- ・ 本書は、「カラーインクジェットプリンタ Tx500 シリーズ」(以後本装置と称します) の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- ・ Tx500-1800DS は、TAPR672-180 と同一機種です。
- ・ 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- ・ 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- ・ 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- ・ 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- ・ 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 株式会社ミマキエンジニアリング
All Rights Reserved.Copyright

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

内 容	
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本装置をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なのが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な指示内容がある場合は、⊘記号の中や近傍に図示しています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。具体的な指示内容がある場合は、●記号の中に図示しています。

使用上の警告

 警告

- ・換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用しないでください。
- ・付属の電源ケーブルを使用してください。
- ・電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- ・表示された電源仕様で使用してください。本装置の電源電圧は、単相 AC200 ~ 240V 20A 以下です。(100V 系では、使用できません。)
- ・湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ・万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源ボタンをオフにして、その後必ずソケットをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
- ・本装置やインクボトルの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。
- ・プラテンのヒーターにホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。
- ・湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ・危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。

使用上のご注意

 注意

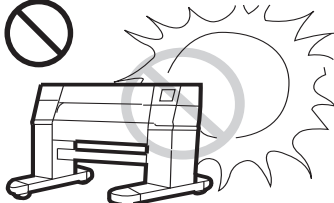
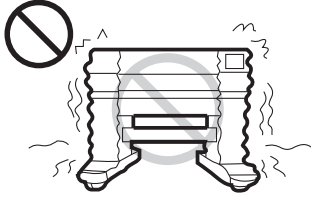
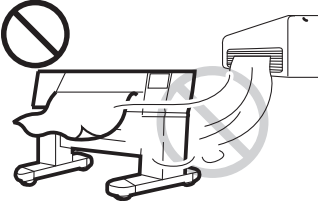
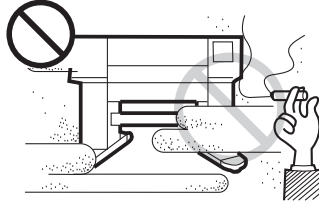
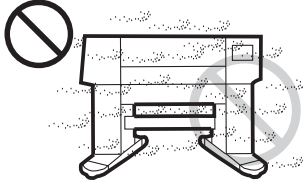
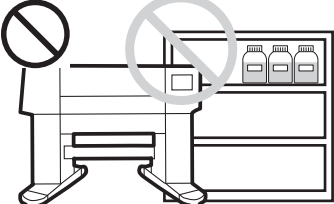
電源供給について	電源ケーブルについて
 ・ブレーカーは常時 ON にしておいてください。 ・側面にある主電源スイッチはOFF にしないでください。	 ・付属の電源ケーブルを使用してください。 ・電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。 ・極性付きのコンセントに接続してください。
ヒーターについて	インクの取り扱い
 ・ヒーターに液体をかけないでください。故障や発火の原因になります。 ・ヒーターが熱いうちに素手で触らないください。火傷の原因になります。	 ・万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。 ・誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないでください。その後、毒物管理センターに連絡してください。 ・蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。
メンテナンス上の注意	使用環境について
  ・外部インク供給ユニットやヘッドを清掃する際は、必ず付属の手袋を着用してください。	 ・高温な場所 (30 °C (86°F) 以上) では使用しないでください。ノズル詰まりが起こり、ヘッドクリーニングなどを行っても復旧が難しくなることがあります。 ・低温 / 低湿の場所 (20°C (68°F)/35 % (Rh) 以下) では使用しないでください。静電気が発生し、プリント品質に影響することがあります。

ご注意とお願い

 警 告	
インクボトルの取り扱い • Tx500 専用インクをお使いください。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。 • Tx500 専用インク以外のインクを使用すると、装置保護のため、動作しません。 • Tx500 専用のインクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れます。 • インクボトルを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温環境下に放置してから使用してください。 • インクボトルは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常にプリントできない場合があります。 • インクボトルは、冷暗所で保存してください。 • インクボトルや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。 • インクボトルは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。 • インクボトルを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。ボトルからインクが漏れる場合があります。 • IC チップの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。 • 空になったインクボトル・廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください	フロントカバーとレバーについて • プリント中にフロントカバーを開けたり、レバーを上げたりしないでください。プリントが終了してしまいます。 メディアの取り扱い • 推奨メディアをご使用ください。 - 安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。 • メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。 • カールしたメディアは使用しないでください。カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。プリント品質に影響を及ぼしたり、ヘッドのズル面と接触し、吐出不良の原因となります。 • 前処理済みの布メディアをセットしたままにしないでください。前処理剤の薬剤により、グリットローラーの錆が進行する原因となります。 • メディアをセットしたまま、ヒーターオン状態で長時間放置しないでください。 メディアとホコリについて • メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。 • 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。

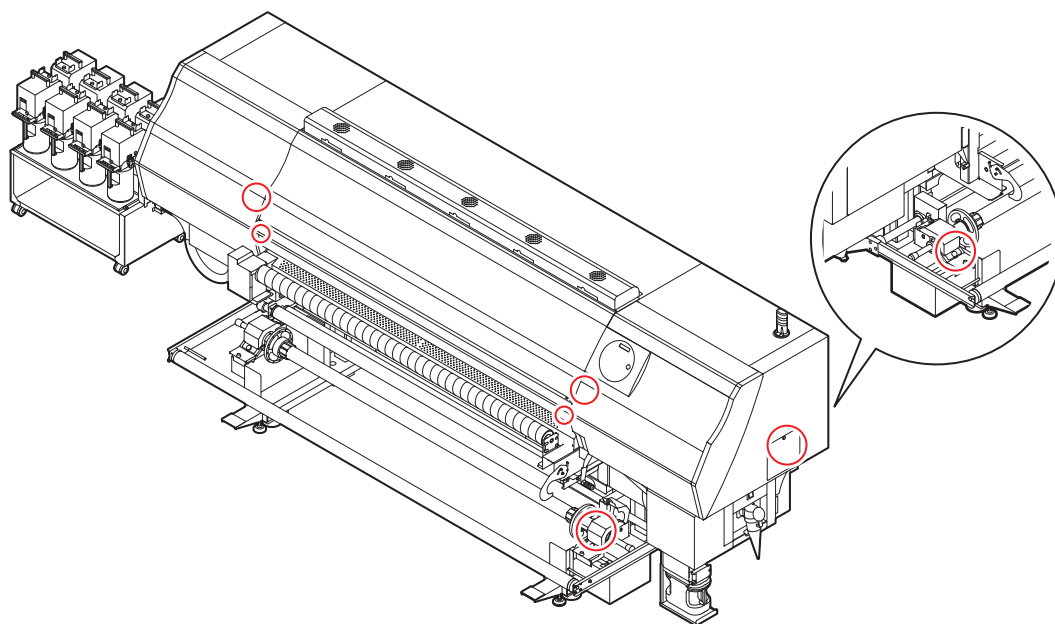
 警 告
メンテナンス上の注意 • できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。 • プリントしないときも必ずフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。 • プリント中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッド周辺の清掃を実行してください。(参照 P.4-18 「ヘッド周辺の清掃」) • インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属の手袋を着用してください。 • キャッピングステーション、およびワイパーの拭き掃除 (ホコリ、紙粉) は、こまめに行ってください。
定期交換部品 • 本装置には定期的に交換する部品があります。機材を末永くご利用いただくためにも、必ず、年間保守契約にご加入ください。
本装置の廃棄処分について • 本装置を廃棄する際は、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 • 各地域の自治体の法律に基づき、適切に処理を行ってください。

設置上のご注意

⚠ 注 意		
直射日光が当たる場所	水平でない場所	温度や湿度の変化が激しい場所
		 • 次の環境下でお使いください。 • 使用環境： 20 ～ 30 °C (68°F ～ 86°F) 35 ～ 65 % (Rh)
振動が発生する場所	エアコンなどの風が直接当たる場所	火を使う場所
		
埃が多い場所	周囲に化学薬品がある場所	
		

安全インターロックについて

本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合に動作を中断させるためのインターロックがついています。(下図の赤丸部分)



第1章 ご使用前に



この章では ...

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本装置の設置について	1-2	ケーブルを接続する	1-10
設置場所について	1-2	USB2.0 インターフェースケーブルを	
使用環境温度について	1-2	接続する	1-10
装置の固定について	1-3	電源ケーブルの接続について	1-11
本装置の移動	1-3	インクボトルをセットする	1-12
各部の名称とはたらきについて	1-4	インクボトル取り扱い上のご注意	1-16
装置前面	1-4	メディアについて	1-17
装置背面 / 側面	1-5	使用可能メディアサイズ	1-17
操作パネル	1-6	プリント布の取り扱いについて	1-17
ヒーター	1-7	使用制限のあるメディアについて	1-18
キャリッジ	1-8		
キャッピングステーション	1-8		
ピンチローラーとグリットローラー	1-9		
表示灯	1-9		

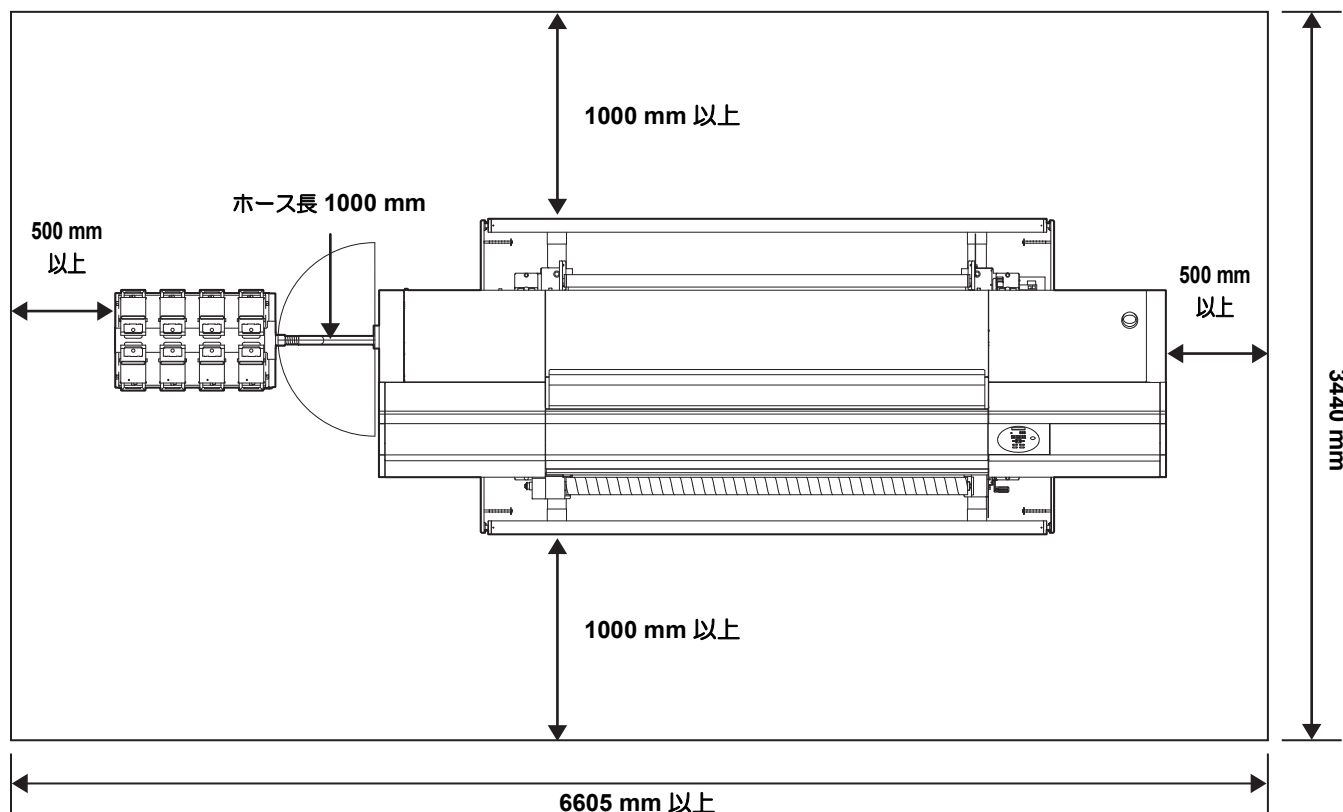
本装置の設置について

設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

機 種	横 幅	奥行き	高 さ	全体重量
Tx500-1800	3830mm	1440mm *1	1700mm	750kg
外部インク供給ユニット	775mm	490mm	785mm	30kg

*1. テンションバーが水平になっている場合



重要!

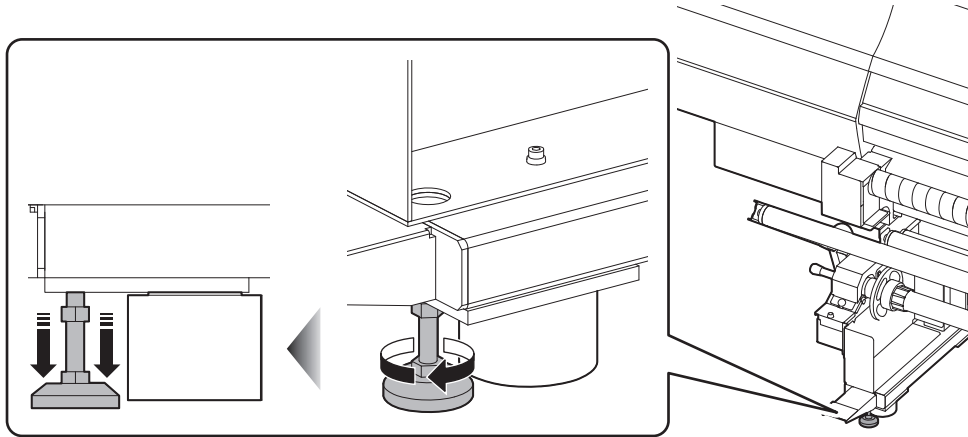
- 本機を設置している環境によっては、外部ヒーターを取り付ける必要があります。外部ヒーターを取り付けるときは、弊社サービスまたは販売店にお問い合わせください。

使用環境温度について

本装置は安定したプリントを行うために、20～30℃の環境でご使用ください。
周囲の温度条件により、ヒーター温度が設定値まで上昇しない場合があります。

装置の固定について

本機の脚には、装置を固定するためのレベルフットが付いています。
本機の電源を投入する前に、必ず、本機がレベルフットで固定されていることを確認してください。
レベルフットで固定されていない状態でプリントをすると、本機が動き出す場合があります。



- 付属の鉄製（黒色）の床板をレベルフットと床の間に敷いてください。本機の重量を支えるために、床板の使用をお勧めします。

本装置の移動



- 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。
お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になります。
本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

各部の名称とはたらきについて

装置前面

左メンテナンスカバー

メンテナンス時にカバーを開けます。電源ボタンがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

外部インク供給ユニット

インクボトルをセットします。

インクボトル
各色のインクが入っています。

脚

本体を支える部分です。

巻取テンションバー

巻き取る布のテンションを調節します。

クランプレバー (前)

ピンチローラを上下して、メディアを保持 / 解放します。

フロントカバー

メディアのセット、メディア詰まりの処置およびステーション内部のメンテナンス時に開けます。電源ボタンがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

布押さえフレーム

布押さえフレームに沿って、布を出力します。

ヒーター

印字中のインクの定着と乾燥を行います。(引っ張りローラーの奥にあります。)

操作パネル

本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。

右メンテナンスカバー

メンテナンス時にカバーを開けます。

廃インクタンク

廃インクを溜めるタンクです。

巻取装置

ロールメディアでプリントした成果物を自動で巻き取ります。

装置背面 / 側面

クランプレバー（後）

本装置前面にあるクランプ
レバーと連動しています。

ロールホルダー

小幅ロールメディア (1m 未満) の紙管の左右
に入れて、メディアを保持します。2 インチと
3 インチの紙管に対応しています。

繰出装置

使用する布を繰り出す装置です。

繰出テンションバー

巻き取る布のテンションを調節します。

主電源スイッチ

本装置の主電源をオン / オフします。
インク詰まり防止のため、常に主電源
はオンにしてください。

AC インレット

電源ケーブルを接続します。

USB コネクタ

USB2.0 インターフェイスコネクタ
です。

LAN コネクタ

イベントメール機能をお使いにな
るときに使用します。

操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。

CONSTANT ランプ

ヒーターの温度が設定温度に達すると緑色に点灯します。

HEAT ランプ

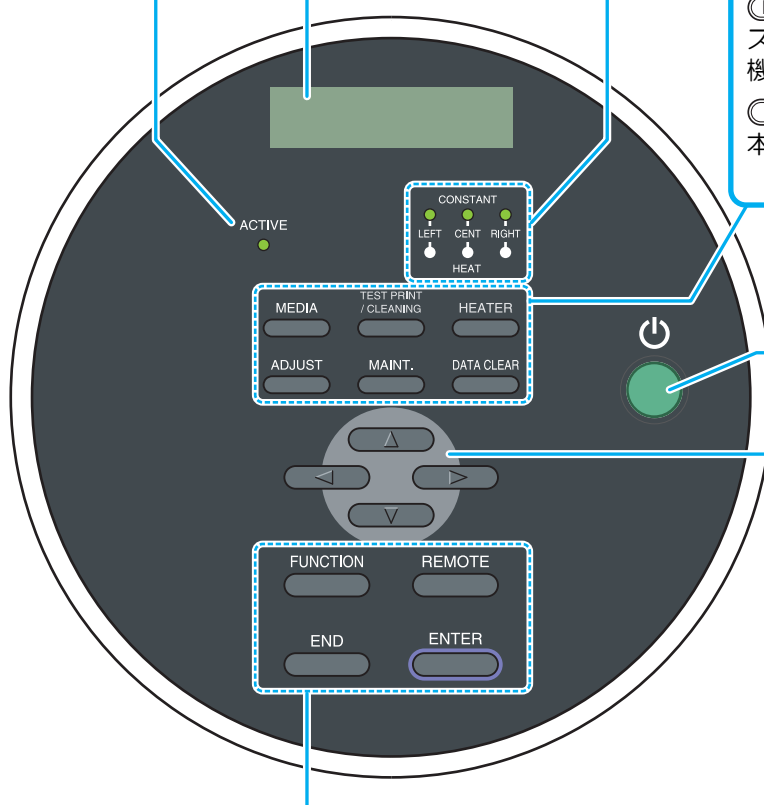
ヒーター加熱中にオレンジ色に点灯します。

ACTIVE ランプ

データ受信中やプリント中に点滅します。

ディスプレイ

本装置の状態、設定項目、エラーなどを表示します。



MEDIA キー

メディアリセットやヘッドギャップの設定をするときに使用します。

TEST PRINT/CLEANING キー

インク詰まりなどのプリント不良がないか確認するためにテストパターンをプリントします。また、インク詰まりを起こしている場合のヘッドのクリーニングを実行します。

HEATER キー

LEFT ヒーター、CENTER ヒーター、RIGHT ヒーターの温度を設定します。

ADJUST キー

ドットイッチ補正、フィード補正などの調整機能を実行します。

MAINT. キー

ステーションメンテナンスなどのメンテナンス機能を実行します。

DATA CLEAR キー

本装置が受信したデータを消去します。

電源ボタン *1

本装置の電源をオン / オフします。

ジョグキー

ローカルモードでのヘッドやメディアの移動、プリント条件の項目選択に使用します。

FUNCTION キー

各種機能設定メニューに入ります。

END キー

直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを 1 つ前の階層に戻す場合に使用します。

REMOTE キー

ローカルとリモートを切り替えます。

ENTER キー

1 段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

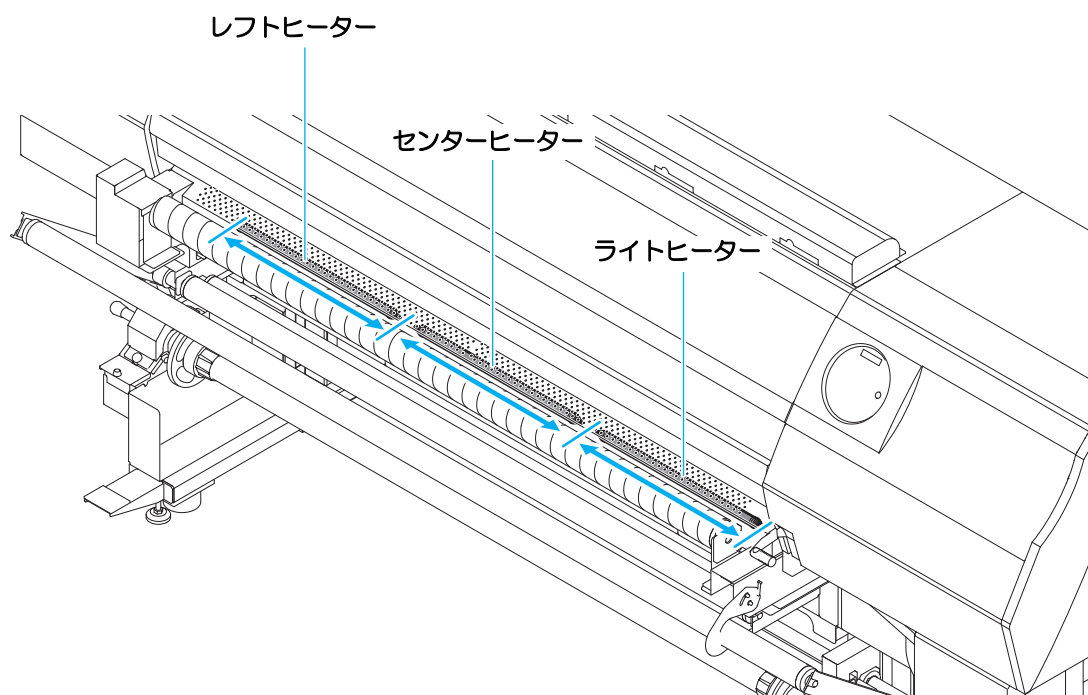
*1: 電源ボタンをオンにすると操作パネル下の電源スイッチが緑色に点灯し、オフにすると点滅します。主電源スイッチ (P.1-5) をオンにしておくと、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(オートメンテナンス機能)

ヒーター

本機には、ライトヒーター・センターヒーター・レフトヒーターが内蔵されています。使用するメディアの幅に合わせてお使いください。

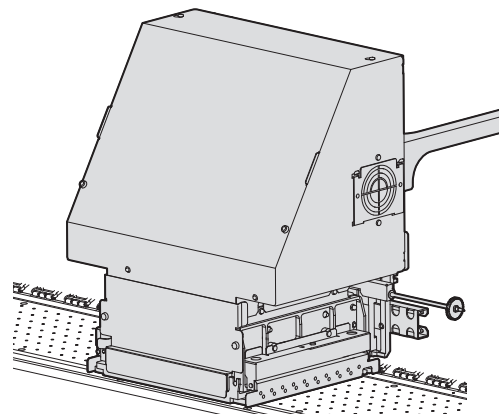


- ヒーターを加熱して高温になっている状態でメディアの交換やプラテンの清掃などをしないでください。やけどの原因になります。
- 薄手のメディアに交換する際は、ヒーターの温度が十分下がってから行ってください。ヒーターが高温の状態で行くと、メディアが乾燥ファンの吹き出し口をふさぎ、ヒーターが高温になりすぎる場合があります。
- プリントしない状態で、長時間メディアをヒーターで加熱し続けしないでください。メディアが変質したり、ヒーターが高温になりすぎる場合があります。
- ヒーターにインクや水をかけないでください。故障の原因になります。ヒーターにインクや水がかかってしまった場合は、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。



キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドが付いています。

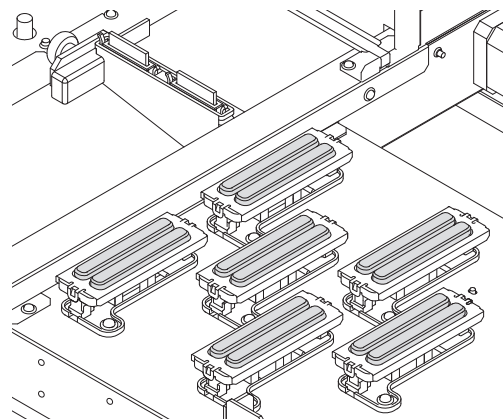


キャッピングステーション



- ・キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属のゴーグルを着用してください。目にインクが入る危険があります。

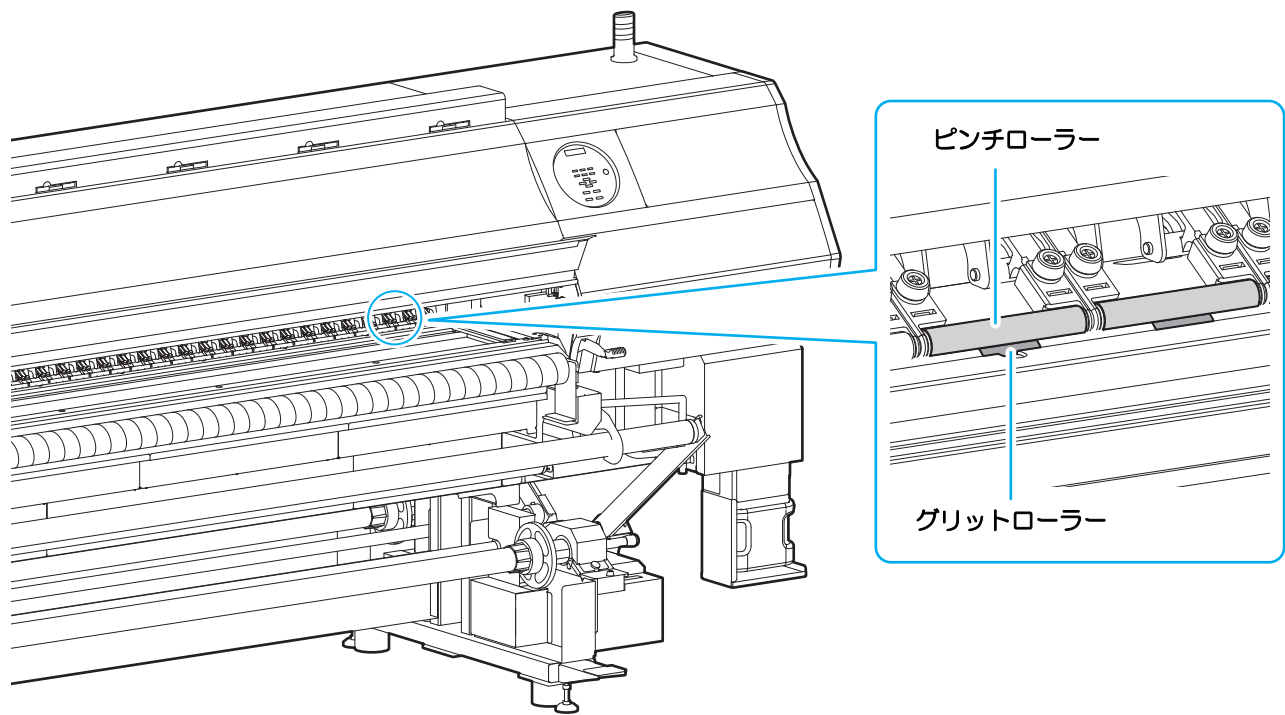
キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成されています。
インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。
ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。
ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。(P.4-29)



ピンチローラーとグリットローラー

- 重要！
- 本装置を使用しない時は、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラーが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

本装置は、「ピンチローラー」と「グリットローラー」でメディアを保持し、プリント時にメディアを前側に送り出します。



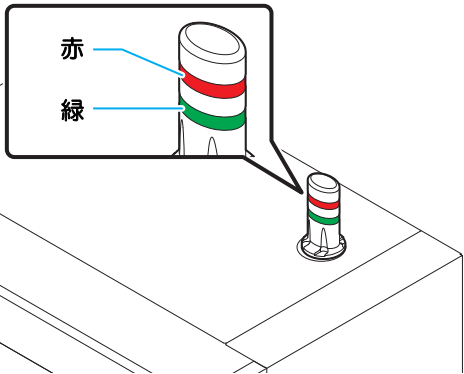
1

1 使用の前に

表示灯

本体右上にある表示灯の動作について説明します。
表示灯には緑と赤の2色のランプがあります。

ランプ色	ランプの状態	本装置の状態
緑	点灯	リモート
	点滅	リモート (プリント中)
	消灯	ローカル
赤	点灯	エラー発生中 (システムダウン)
	点滅	エラー / ワーニング発生中
	消灯	正常



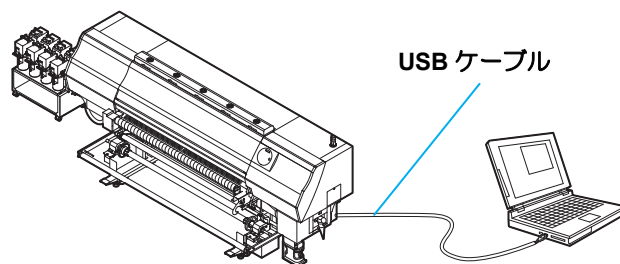
ケーブルを接続する

USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータと本装置をUSB2.0インターフェイスケーブルで接続します。



- ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。



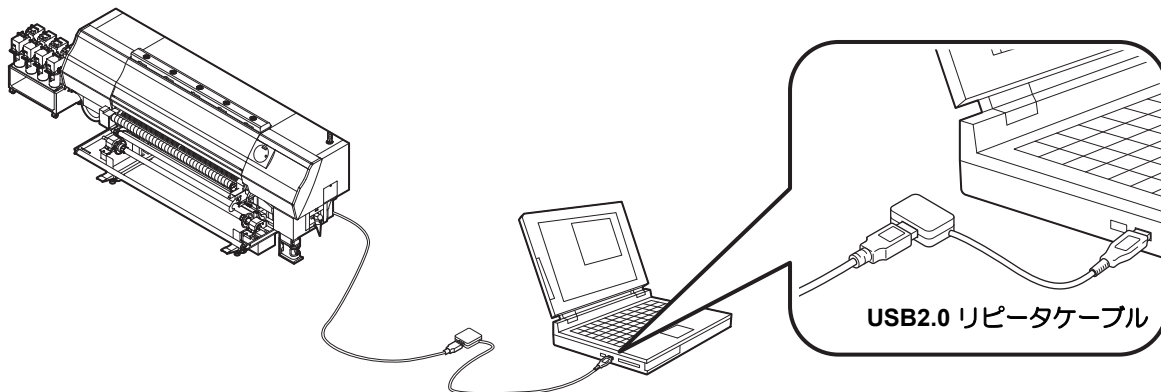
USB 2.0 インターフェイスについての注意事項

重要!

- ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

● 1 台のパソコンに複数の Tx500 を接続する場合

1 台のパソコンに Tx500 を複数台接続する場合、Tx500 を正常に認識できない場合があります。複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、他の USB ポートに接続して Tx500 を認識できるか確認してください。USB ポートを変えても Tx500 を認識しない場合は、市販の USB2.0 リピータケーブルを使用してください。



● USB ハイスピードモードの周辺機器について

Tx500 と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。

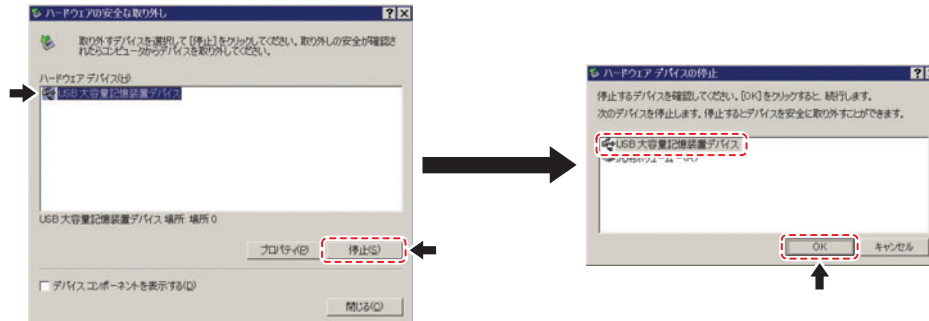
外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに Tx500 を接続した場合、Tx500 へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、プリント中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

● USB メモリの抜きかた

Tx500 を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。

[ERROR 201 コマンドエラー] 発生の原因になります。

スプールデータをハードディスクにコピーした後、プリント出力してください。



電源ケーブルの接続について

本機の設置は、お客様が行うことはできません。電気工事業者にお任せください。



- 本機の電源仕様は、以下のようになります。
単相 AC200~240V、20A(100V 系では使用できません。)
- 本体への電源供給は、以下の電気工事が必要となります。工事は、電気工事業者に依頼してください。

ブレーカへのソケット工事

C 種接地工事 (特別第 3 種接地工事)

- コンセントは必ず本装置の近くにあるようにしてください。また、容易に取り外しが可能な場所に置いてください。
- 本装置の電気工事は、感電事故防止のため、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。
- 誤配線をしないようにご注意ください。火災や感電の恐れがあります。



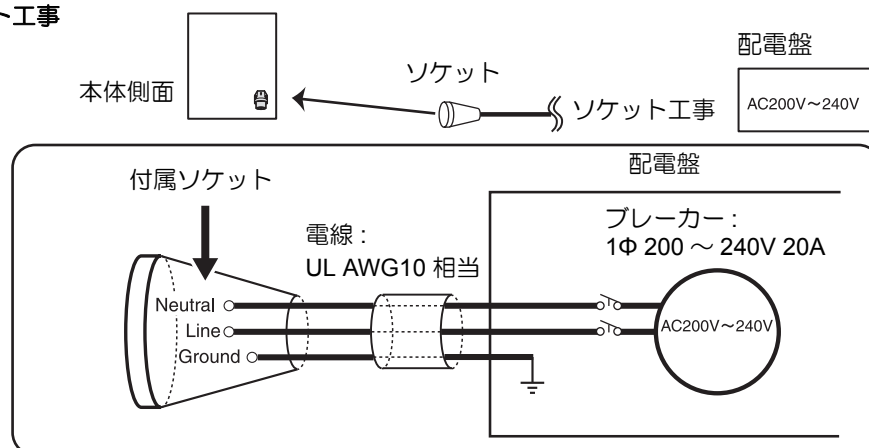
- 付属の電源ケーブル以外を使用する場合は、下記の電線相当を使用し、下図のように配線してください。

VCT-5.5m m² x3 芯 (600V)

UL-AWG10x3C (600V)

本機の電源接続は、「プラグ差し込み式 タイプ B」の規定に基づき、IEC60309 規格のプラグを使用しています。本機の電源ケーブルのプラグに合うソケット工事が必要な場合は、添付のソケットをご利用の上、配電盤とソケットの間の工事を行ってください。

ソケット工事

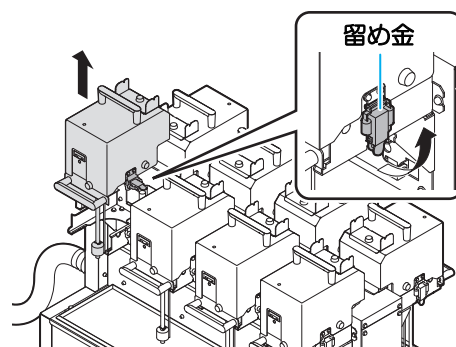
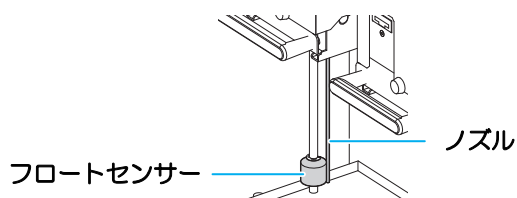


インクボトルをセットする

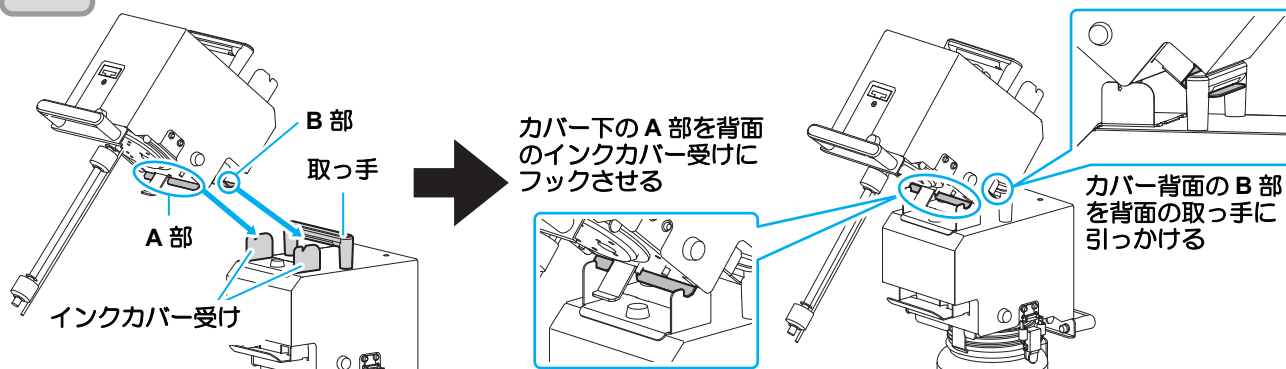
外部インク供給ユニットにインクボトルをセットします。

1 インクカバーを外す

- インクカバー両脇の留め金を外して、カバーを取り外します。
- インクカバーの裏側には、インク吸引用のノズル（棒状）とインク残量検出用のフロートセンサーが付いています。



2 取り外したインクカバーを背面側のインクカバーの上に乗せておく



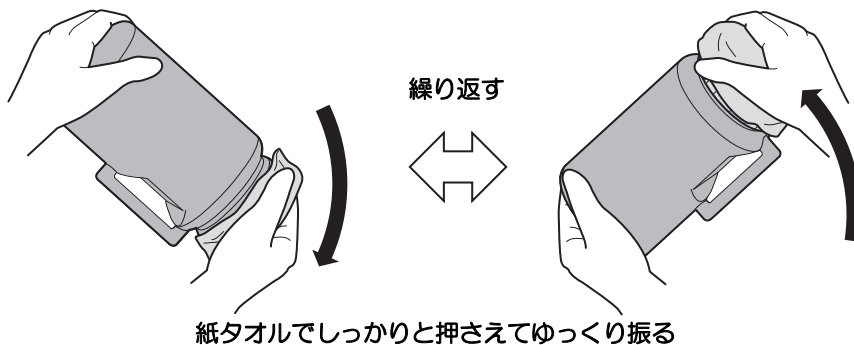
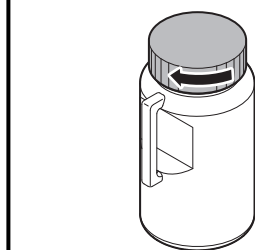
3 インクボトルを取り出し、20回以上ゆっくりと左右に振る

- 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、手袋を着用して紙タオルなどでインクボトルのフタをしめた状態で、ゆっくりとインクを流すように左右に20回以上振ります。

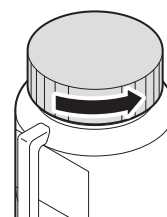


- 強く振りすぎるとインク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、インクボトルが縦になるまで傾けてください。

フタがしっかりと閉まっていることを確認してから振る



4 インクボトルのフタを外す



5

図のようにボトルの天面に切り込みを入れ、アルミシートを下へ押し広げる

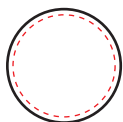
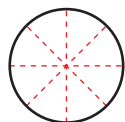
- ・カッターなどを使って、天面に切り込みを入れてください。



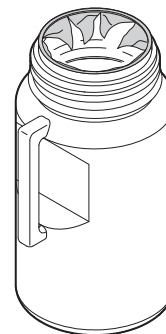
切り込みの入れ方

- ・アルミシートに切り込みを入れるときは、下図のように細かく八分割に切り込みを入れるか、ボトルの内側に沿ってアルミシートを切り取ってください。

細かく八分割に切り込みを入れる



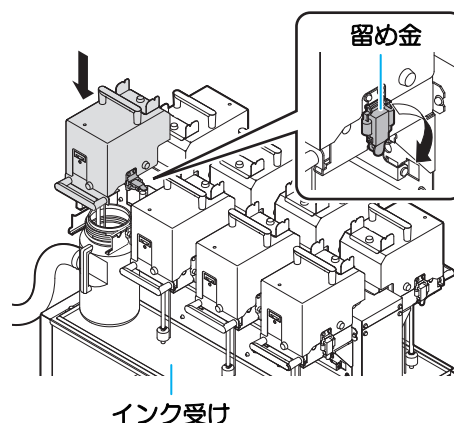
ボトルの内側（点線部）を切り取る



6

インクボトルをボトルホルダーにセットし、インクカバーを取り付ける

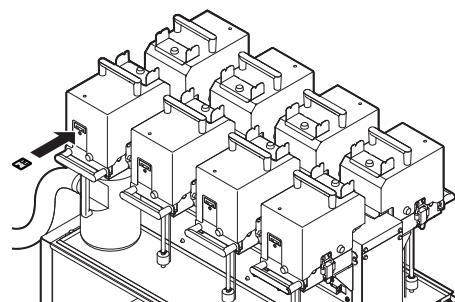
- ・インクボトルの中に、インク吸引用のノズル（棒状）とインク残量検出用のフロートセンサーが入るようにしてください。
- ・インク受けがインク等で汚れた場合、ウェス等で拭き取ってください。



7

IC チップを差し込む

- ・IC チップは金属が付いている方を上にして差し込んでください。間違えて差し込むと、故障や IC チップ 破損の原因となります。
- ・IC チップの金属部分には触れないでください。静電気による IC チップ 破損や、汚れ・傷による IC 読み取り不良の原因となります。
- ・インクボトルのセット順は P.6-4「インクボトルのセット順」を参照してください。



重要!

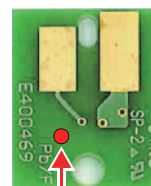
IC チップについて

- ・IC チップには、インクカラーやインク残量・使用期限などの情報が書き込まれています。インクボトルをセットするときは、インクボトルと一緒に梱包されている IC チップをインクカバーに付いている IC チップ挿入口に差し込んでください。
- ・インクボトルと対になっていない IC チップをセットすると、画質不良などの原因となります。
- ・IC チップにはカラー情報を表すマークが貼られています。

インクカラーと表示マーク

インクカラー	表示マーク
ブラック	●（黒丸がひとつ）
ブルー	●●（青丸ひとつと赤丸ひとつ）
マゼンタ	●（赤丸がひとつ）
イエロー	●（黄丸がひとつ）
ライトブルー	●●●（青丸ふたつと赤丸ひとつ）
ライトマゼンタ	●●（赤丸がふたつ）

IC チップ



マーク表示場所

インクボトルを交換する

ディスプレイに[インクエンド]や[インクニアエンド]などが表示されたときは、次のようにしてください。

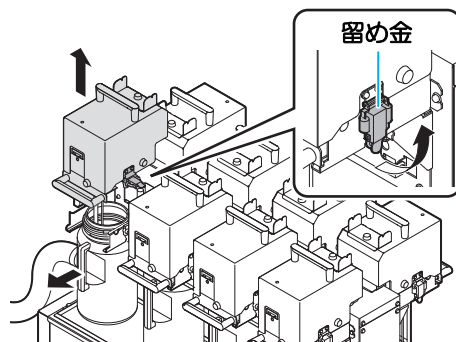
● [インクエンド]が表示されたとき

1

交換するインクボトルのインクカバーを外し、使用済みのインクボトルを取り除く



- ボトル内に残っているインクは、新しいインクボトルに継ぎ足してください。その際、インクボトルからインクが溢れないように注意してください。
- インクボトル交換時に、インクが飛び散ることがあります。目に入らないようにご注意ください。
- インクボトルを交換するときは、ウェス等で周囲を養生してから行ってください。フロート部からのインク垂れにより周囲が汚れてしまいます。

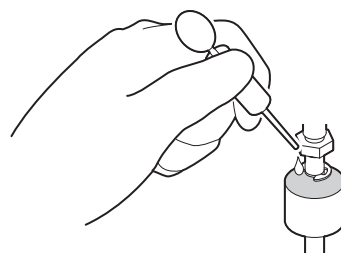


2

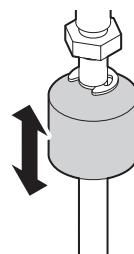
フロートの上下動を確認する

- 乾燥したインクが付着するなどフロートの動きに異常がある場合は、以下のようにしてください。

(1) フロートの上部に洗浄液を数滴垂らす

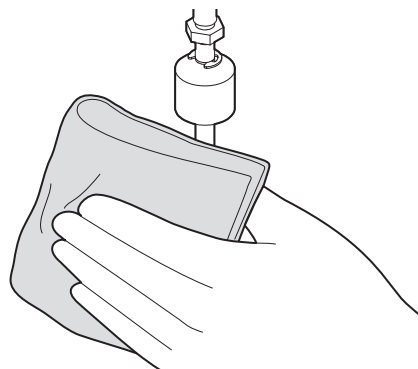


(2) フロートを上下に動かし、洗浄液をなじませる



(3) フロートが正常に動くようになったら、フロートや管に付着した洗浄液をウェス等で拭き取る

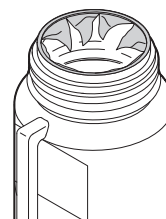
- 再度、フロートを上下させ、異常がないか確認してください。



3

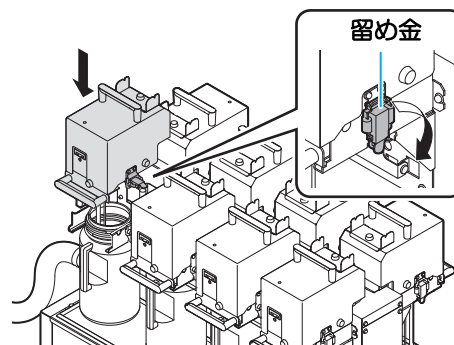
新しいインクボトルのフタを外し、ボトルの天面に切り込みを入れ、アルミシートを下へ押し広げる

- アルミシートの切り込みの入れ方については、P.1-13「インクボトルをセットする」手順4を参照してください。



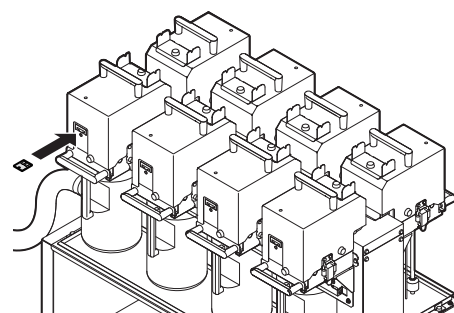
4

インクボトルをインクホルダーにセットし、インクカバーを取り付ける



5

IC チップを差し込む



1

1 使用の前に

● [インクニアエンド]が表示されたとき

インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできますが、プリント中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクボトルの交換をすることをお勧めします。

ローカルで **ENTER** キーを押すと、交換対象ボトルをローカルガイドンスで確認できます。(P.3-45)

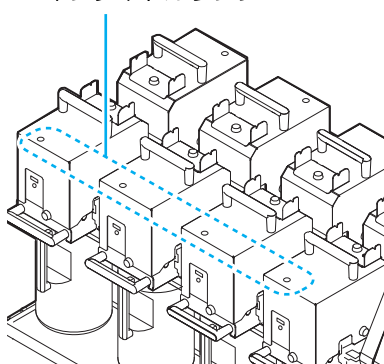
重要!

- ・ インクエンドになった場合でも、インクボトル内には 200cc 程インクが残ります。残っているインクは、インク交換時に新しいインクボトルに継ぎ足してください。

インクボトルランプについて

インクボトルの上にあるランプで、セット中のインクボトルの状態を確認することができます。

インクボトルランプ



インクボトルランプの状態	説明
消灯	異常なし
赤色に点滅	インクボトルの残量が少ない(ニアエンド)、またはインク期限が切れて1ヶ月たっています。まもなく使用できなくなります。
赤色に点灯	インク残量がない、または、その他のインクエラー (P.5-5) でインクボトルが使用できません。
赤色に早い点滅	インク期限が切れてから2ヶ月たっているため、インクボトルが使用できません。
緑色に点灯	インクを供給していることを示します。4色インクセットでお使いのとき、本機はインク期限の短いインクボトルからインク供給を行います。
赤色/緑色交互点滅	赤色点滅と緑色点灯の両方の状態が発生しています。

インク使用期限について

インクボトルには使用期限があります。

インクボトルに記載してある期限の翌々月までは使用可能ですが、3か月後になった時点で使用できなくなります。

使用不可になると、インクボトルランプが赤色に早く点滅してお知らせするので交換してください。

例) 消費期限の記載が 2012 年 4 月の場合

5 月：使用可能

6 月：使用可能 (インクボトルランプ赤色点滅)

7 月：使用不可 (インクボトルランプ赤色早点滅)

インクエンド、インクニアエンドについて

インクニアエンド（残量わずか）の場合、インクボトルランプが赤色に点滅してお知らせします。早めの交換をおすすめします。

インクエンド（残量なし）の場合、インクボトルランプが赤色に点灯してお知らせします。インクボトルを交換してください。

インクボトル取り扱い上のご注意



- ・万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・本装置には専用のインクボトルをお使いください。本装置は、専用のインクボトルを認識して動作します。インクボトル等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- ・インクボトルを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- ・インクボトルは冷暗所で保存してください。
- ・インクボトルは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・空になったインクボトルは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。
- ・インクボトルは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。



- ・インクボトルを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、ボトルからインクがもれることがあります。
- ・IC チップの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

機種名		Tx500-1800DS
推奨メディアの種類		前処理済みポリエステル素材
最大幅		1910mm
最小幅		297mm
最大プリント範囲		1820mm
ロールメディア	厚さ	0.2mm 以下
	ロール外径	Φ300mm 以下
	ロール重量 *1	60kg 以下 (標準の巻取 / 繰出装置を使用している場合)
	紙管内径	3 インチ
	プリント面	内巻き / 外巻き不問
	巻き終り処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着

*1. ロールメディアの左右を保持したときに、ロールにタワミが無い場合。

プリント布の取り扱いについて



- 布の前後処理は弊社推奨レシピをお使いください。それ以外の処理で発生したトラブルについては、責任を負いかねます。
- 前処理済みの布メディアをセットしたままにしないでください。前処理剤の薬剤により、グリットローラーの錆が進行する原因となります。

重要!

- メディアをセットしたまま、ヒーターオン状態で長時間放置しないでください。
- 安定した高画質でプリントするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- メディアの種類や特性に合わせて、ヒーター温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。
- 布をセットする場合、必ず布の厚さに合わせてヘッドの高さ調整をしてください。プリント布やヘッドを破損する恐れがあります。
- 布の厚さに対して左右端のガミング処理 (布端ほつれ防止処理) やテンタ跡が厚くなっている場合は、布の左右端の厚さに合わせてヘッド高さや布押さえステンレス板の高さを調整してください。
- 布の左右端が厚くなっている布を使用すると、巻き取り時にロール左右端が盛り上がるために巻きズレを起こしやすくなります。巻きズレをすると布が斜行しやすくなり、ヘッドノズル面との接触などのトラブルの原因となります。
- インク付着によるぬれ伸縮率の高い布地や、弾力性の高い布地は、使用しないでください。ヘッドノズル面との接触や、プリントがずれるなどのトラブルを発生する原因になります。
- カールのきつい布は、カールを取り除いてから使用してください。カールがきついと、プリント品質に影響を及ぼしたり、ヘッドノズル面と接触し吐出不良の原因となります。
- 使用する布を保管する場合は、袋に入れて保管してください。布に付着したホコリ、紙くず、および繊維くずを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。
- 静電気を起こしやすい布メディアを使ってプリントする場合は、添付の除電布をお使いください。また、加湿器などを使って、使用環境の湿度を上げてください。

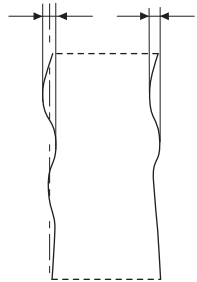
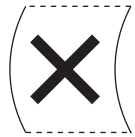
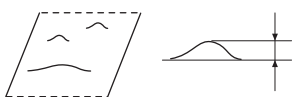
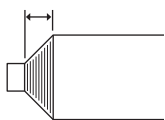
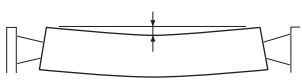
使用制限のあるメディアについて

下記のようなメディアは、プリンタ側での補正が困難な素材です。
使用の場合は、任意のテストデータによるプリントを行い、使用可能かどうかを判断してください。

- 伸縮性の大きい素材（ストレッチ材、縦方向に伸縮するニット等）
- 印字によって濡れると、伸び縮みの度合いが大きい素材
- 幅のバラツキが大きい素材
- 平坦面に広げた時、部分的にシワ、タルミが発生している素材、全体に曲がっている素材
- ロール状態でのメディア幅端面の巻きズレが大きい素材
- 使用している紙管の強度が不足し、繰出し装置に取り付けた時、たわんでいるもの

重要！ • 上記以外のメディアを使用する場合も、必ず任意のテストデータによるプリントを行ってください。
プリント結果を確認してから、使用が可能か判断してください。

プリントできる布の条件

項 目	条 件	備 考
幅バラツキ	片側側面で $\pm 5\text{mm}$ 以下	
広げた時の湾曲	一方向曲がり不可	
平坦面に広げたときのシワ (弛み) 高さ	1mm 以下	
ロールエッジのズレ	$\pm 15\text{mm}$ 、 反物 (幅 500mm 以下) は $\pm 2\text{mm}$	
ロール内径	3 インチ	
紙管強度	セット時のロール曲がり 5mm 以下 (紙管肉厚 5mm 以上)	
布端からの紙管露出長	20mm 以上	
紙管との固定	テープ 3 点以下または弱接着	
ロール外径	$\phi 300\text{mm}$ 以下	
ロール重量	60kg 以下	
プリント面	外巻き / 内巻き不問	
巻きシワ	不可	

第2章

基本的な使い方



この章では ...

プリントするためのインク／メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

作業の流れ	2-2	テストプリントをする	2-31
電源を入れる / 切る	2-3	テストプリントを行う	2-32
電源を入れる	2-3	ヘッドクリーニング	2-33
電源を切る	2-4	ヘッドクリーニングについて	2-33
メディアをセットする	2-5	テストプリントの結果に合わせて	
最大プリントエリアについて	2-5	ヘッドクリーニングを行う	2-33
メディアセットの概要	2-6	メディアの送りを設定する	2-34
スパーサを確認する	2-7	メディア送り補正の流れ	2-34
除電布の取り付け	2-9	トルクリミッタを調節する	2-35
メディアセットに関するご注意	2-10	フィード補正の設定	2-36
ロールメディアをセットする	2-11	双方向プリントのドット位置を調整する ...	2-38
リーフメディアをセットする	2-24	データをプリントする	2-40
ヘッドギャップを設定する	2-26	プリントを開始する	2-40
原点を変更する場合は	2-27	プリントを中断する	2-41
ヒーターの準備をする	2-28	受信したデータを消去する	
ヒーターの温度設定を変更する	2-28	(データクリア)	2-41
ヒーターの温度を確認する	2-29	プリント完了後の動作	2-41
テストフィードをする	2-30		

作業の流れ

- 1** 電源を入れる / 切る
「電源を入れる / 切る」(☞ P.2-3) を参照してください。
- 2** メディアをセットする
「メディアをセットする」(☞ P.2-5) を参照してください。
- 3** ヒーターの準備をする
「ヒーターの準備をする」(☞ P.2-28) を参照してください。
- 4** テストフィードをする
「テストフィードをする」(☞ P.2-30) を参照してください。
- 5** テストプリントをする
「テストプリントをする」(☞ P.2-31) を参照してください。
- 6** ヘッドクリーニング
「ヘッドクリーニング」(☞ P.2-33) を参照してください。
- 7** メディアの送りを設定する
「メディアの送りを設定する」(☞ P.2-34) を参照してください。
- 8** 双方向プリントのドット位置を調整する
「双方向プリントのドット位置を調整する」(☞ P.2-38) を参照してください。
- 9** データをプリントする
「データをプリントする」(☞ P.2-40) を参照してください。

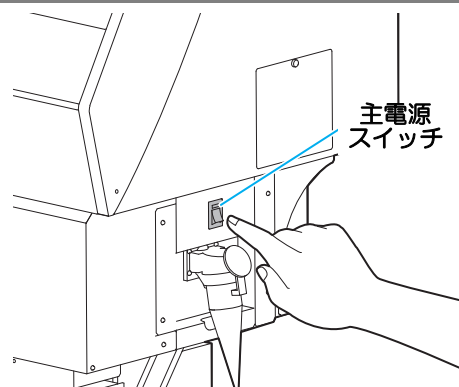
電源を入れる / 切る

電源を入れる

重要! ・フロントカバー / メンテナンスカバーを閉じてから電源を入れてください。

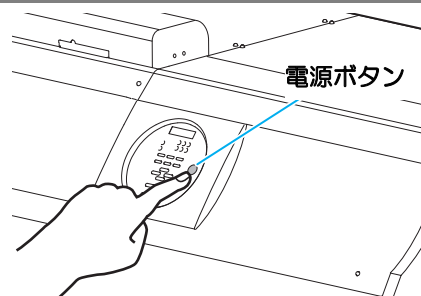
1 主電源スイッチを入れる

- ・装置側面にある主電源スイッチを「I」側に倒します。



2 電源ボタンを押す

- ・操作パネルにある電源ボタンを押します。



- ・電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示します。
- ・初期動作を実行します。

Tx500 Start-up
Ver 1.00

3 ローカルになる

< ローカル >

4 接続しているコンピュータの電源をオンにする



- ・主電源スイッチは通常オンにしておいてください。主電源スイッチをオフにしたまま放置すると、ヘッドのノズルが目詰まりを起こす原因になります。症状によっては、復旧が困難になる場合があります。

2

基本的な使い方

電源を切る

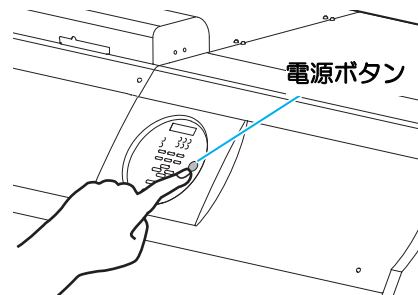
プリンタの使用が終了したら、装置前面にある電源ボタンを押して電源をオフにします。
電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。（ P.5-17「エラーメッセージ」）

1 接続してあるコンピュータの電源をオフにする

2 電源ボタンを押して、電源を切る

- 電源ボタンが消灯します。
- 装置側面にある主電源スイッチは、切らないでください。
- 次に、本機をご使用になるときは、電源ボタンを押して緑色ランプを点灯させてからお使いください。



電源を切るときのご注意

● 主電源スイッチは切らないでください。

主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル詰まり防止機能（フラッシング機能）および圧力調整機能が働きます。

主電源スイッチを切っていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。

● フロントカバー/メンテナンスカバーは閉めた状態にしてください。

カバーが開いていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かなくなります。

● ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。

このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

● プリント中は電源を切らないでください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。

● 電源ボタンを切ってから、主電源スイッチを切ってください。

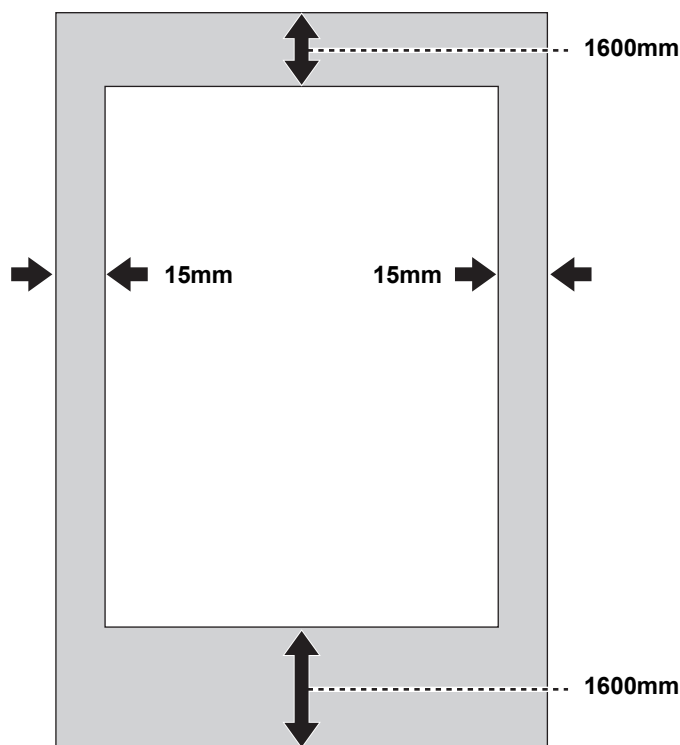
装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある電源ボタンを押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

メディアをセットする

本機では、ロールメディアとリーフメディアをご使用になれます。
使用できるメディアについては、P.1-17「使用可能メディアサイズ」を参照してください。

最大プリントエリアについて

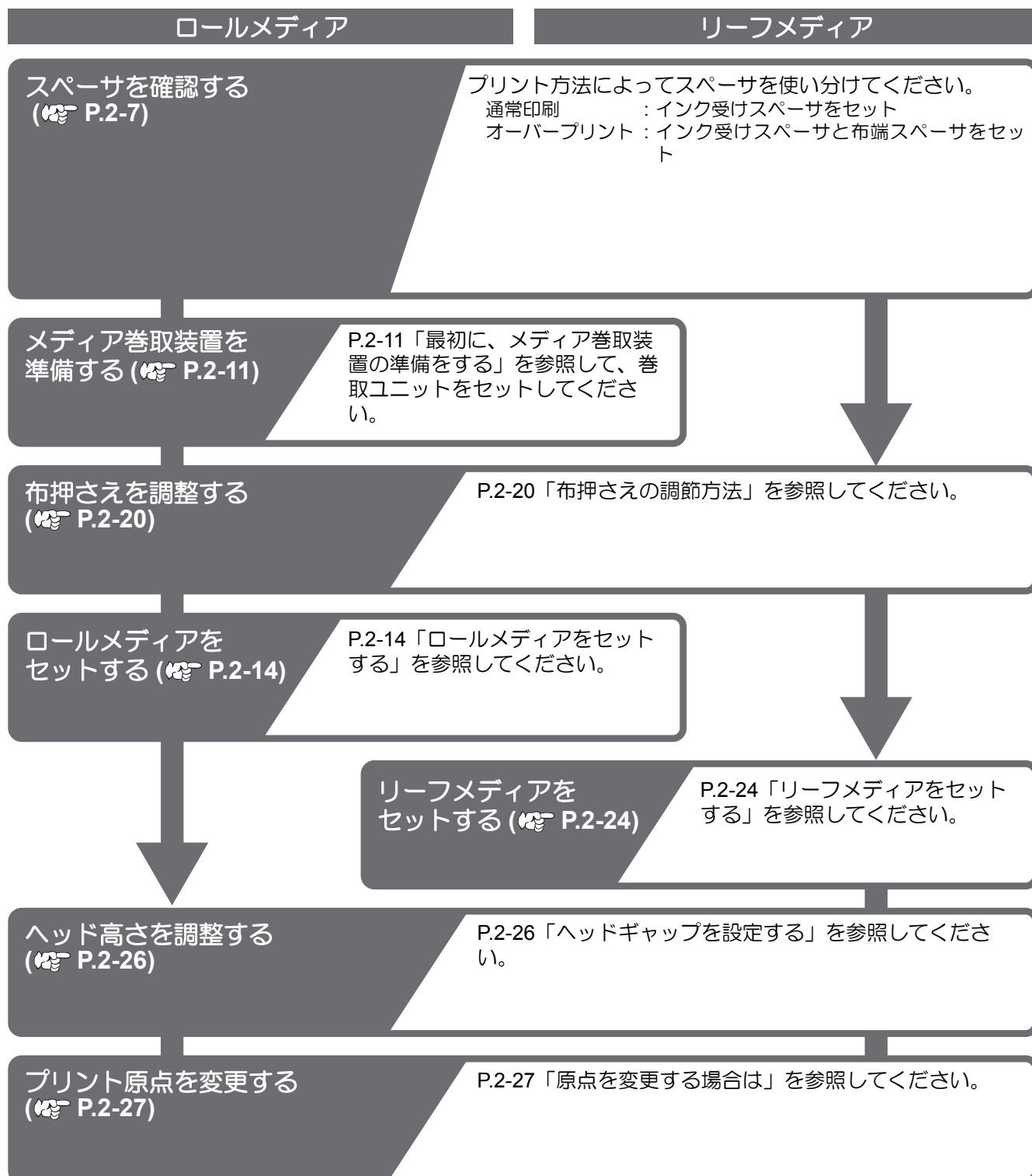
下図の白部が最大プリントエリアとなります。
それ以外のプリントできない範囲が、マージンとなります。



- 布の前後端のマージンは、導布の使用により小さくすることもできます。
- 左右のマージンは変更することが可能です。(☞ P.3-6)

使用できるメディアについては、P.1-17「メディアについて」を参照してください。

メディアセットの概要

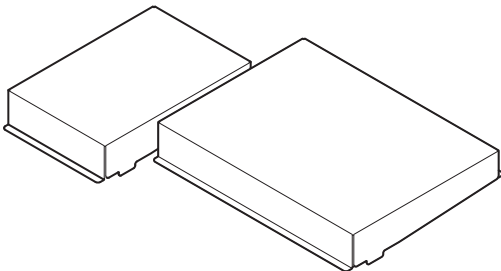
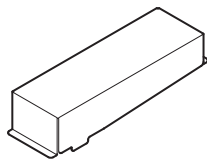
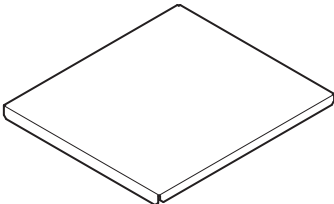


スパーサを確認する

使用するメディアやプリント方法に合わせて、ご使用になるスパーサの種類(3種類のスパーサを添付)を設定してください。

各種スパーサについて

本機には次の3種類のスパーサを添付しています。

インク受けスパーサ (大・小)	布端スパーサ	調整スパーサ
		

● 布にプリントする場合 (オーバープリントをしない場合)

インク受けスパーサをご使用ください。(☞ P.2-8)

● 布にプリントする場合 (オーバープリントをする場合)

インク受けスパーサと布端スパーサをご使用ください。(☞ P.2-8)

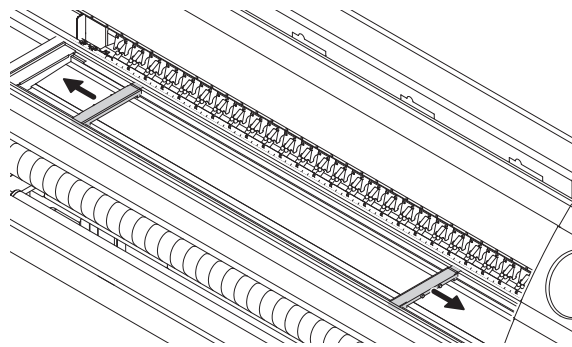
● ドットイチホセイする場合

調整スパーサをご使用ください。(☞ P.2-8)

インク受けスパーサ・布端スパーサの取り付け / 取り外し

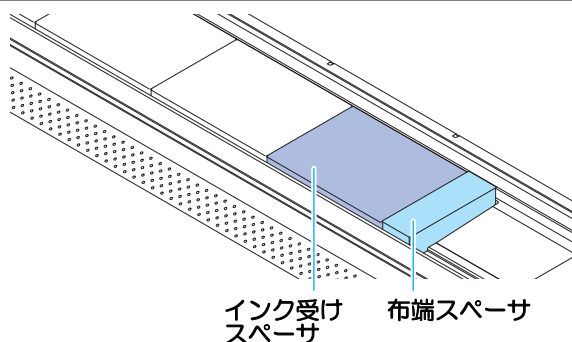
プリントを行うときは、インクミストによるメディア汚れを防止するため、必ずインク受けスパーサをセットしてください。

1 布押さえを左右に寄せる



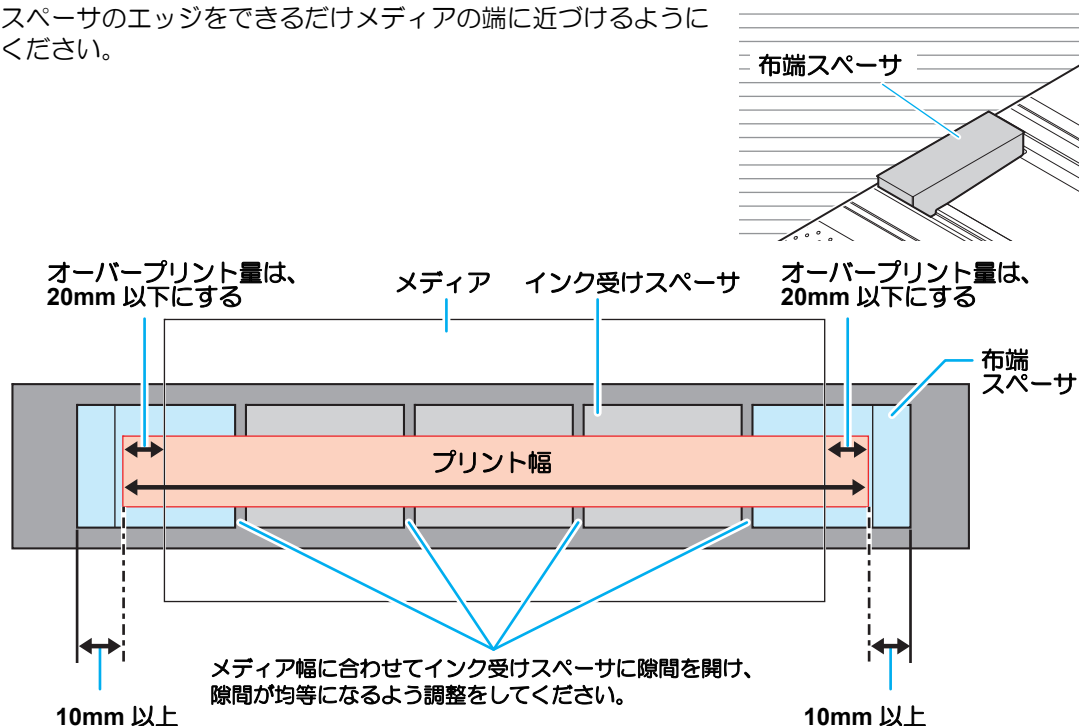
2 インク受けスパーサと布端スパーサを取り付ける

- インク受けスパーサのサイズは、幅 250mmx 奥行き 177mm です。プリントする画像の幅に合わせて、取り付けるインク受けスパーサの枚数を調節してください。



インク受けスパーサ / 布端スパーサ取り付けの目安

- インク受けスパーサと布端スパーサを合わせた幅が、プリントする画像の幅よりも狭くならないようにしてください。
- 画像の左右それぞれの端から 10mm 以上の余裕があるように、スパーサの枚数を調節してください。
- 布端スパーサのエッジをできるだけメディアの端に近づけるようにしてください。



除電布の取り付け

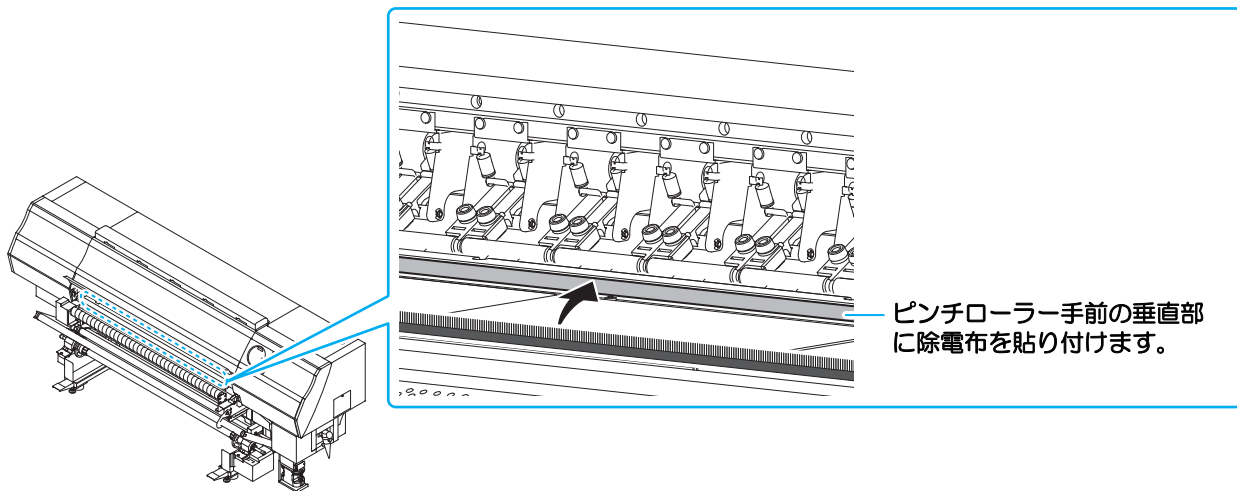
メディアによっては、静電気を発生しやすいものがあります。
静電気によるプリント品質の低下を防ぐために、添付の除電布を貼り付けることをお勧めします。



除電布を使用するだけでは、静電気を完全になくすことはできません。

- 除電布は静電気の影響を低減させるものです。除電布を貼り付けても、静電気によるプリント品質の低下を完全に防ぐことはできません。
- 静電気の発生を抑えるため、除電布と併せて加湿器等をお使いになると効果的です。

除電布の貼り付け位置



メディアセットに関するご注意

メディアをセットする際は、次の注意事項を良くご理解ください。



- ・ロールメディアをセットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みで怪我をすることがあります。
- ・ロールメディアをセットする場合は、2人以上でセットしてください。ロールメディアの重みでコシを傷める可能性があります。
- ・次のようなときは、必ずテンションバーをロック位置に固定してください。ロック位置に固定していない状態で次のような作業を行うと、メディアに支えられていたテンションバーが落下し、大変危険です。

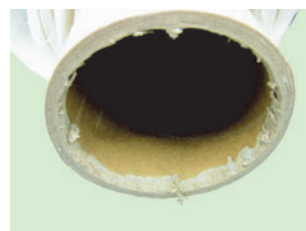
(1) クランプレバーを上げるとき

(2) 手でメディアカットをするとき

(3) お手持ちの工具 (カッターやハサミなど) を使って、メディアをカットするとき

重要!

- ・メディアに直射日光が当たっているときは、正しいメディア検出ができない場合があります。
- ・プリント済みのメディアは使用しないでください。インクがピンチローラーに付着し、メディアが汚れたり、メディアを検出できなくなる場合があります。
- ・カールがきついメディアや内巻きのメディアは、メディアがプラテンに沿うように、巻きくせをなおしてからご使用ください。
- ・メディアをセットしたまま放置すると、プリントヒーターの熱でメディアに凹凸が発生します。この状態で作図すると、ヘッドがメディアをこする原因になります。メディアに凹凸が発生したら、凹凸部分に作図しないよう  キーでメディアをフィードして、原点を設定し直してください。(参照 P.2-27)
- ・メディアは、本体の右側を基準にセットしてください。
- ・メディア巻き取り用の紙管は、定期的に交換してください。右図のように長期間の使用により内側が削れているような紙管を使用すると、メディアの巻き取りが正常に行えない場合があります。



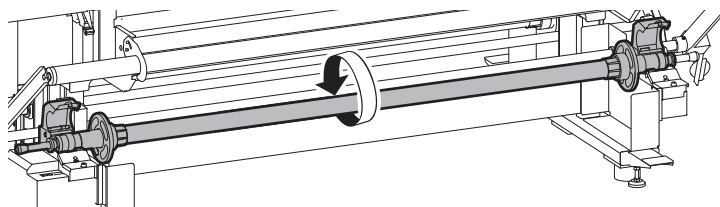
紙管サポートの使い方

重量があるロールメディアをセットするなどでロールシャフトがたわんでしまう場合は、ロールシャフトに紙管サポートを取り付けてからメディアをセットしてください。



● ロールシャフトの湾曲を確認してください。

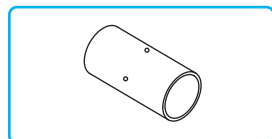
装置背面の繰出装置左右のカバーを開け、繰出ロールシャフトを回転させてください。シャフトが止まったときに下になっている方が湾曲している側です。



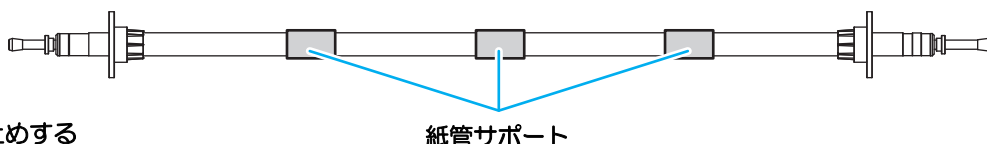
● 紙管サポートの取付場所

図の位置に紙管サポートをセットしてください。

湾曲している側を下にして、紙管サポートのネジ穴 (2 箇所) が上を向くような位置に紙管サポートをネジ止めしてください。



ネジ穴が上を向く位置にネジ止めする



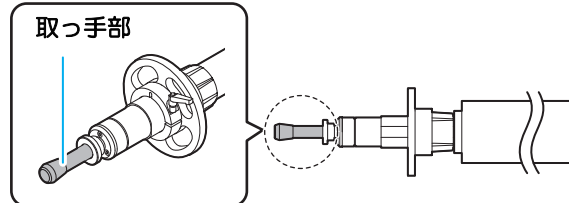
ロールメディアをセットする

最初に、メディア巻取装置の準備をする

ロールメディアをセットする前に、巻取装置の準備を行ってください。



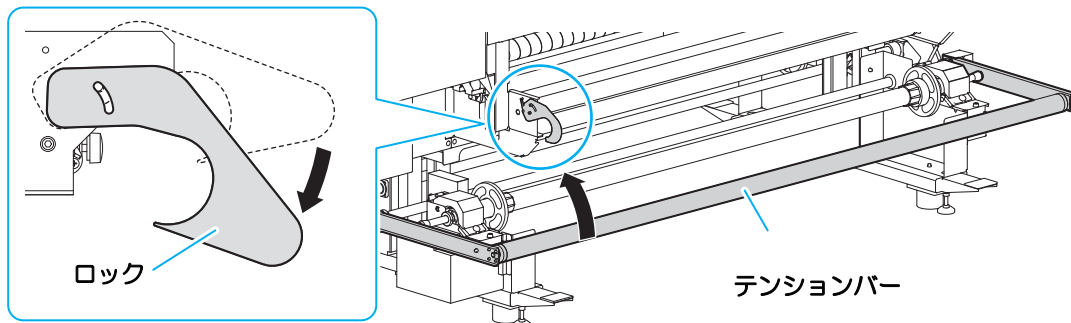
- ロールシャフトはメディアの重量も含めると、とても重くなるため、取り扱いには十分ご注意ください。また、事故やケガ等を防ぐため、ロールシャフトを持つときは、必ず両端の取っ手部を持ってください。



1

装置前面と背面のテンションバーをロック位置で固定する

- ロックは装置前面の右側と、装置背面の左側にあります。
- テンションバーを持ち上げ、ロックを使って固定してください。

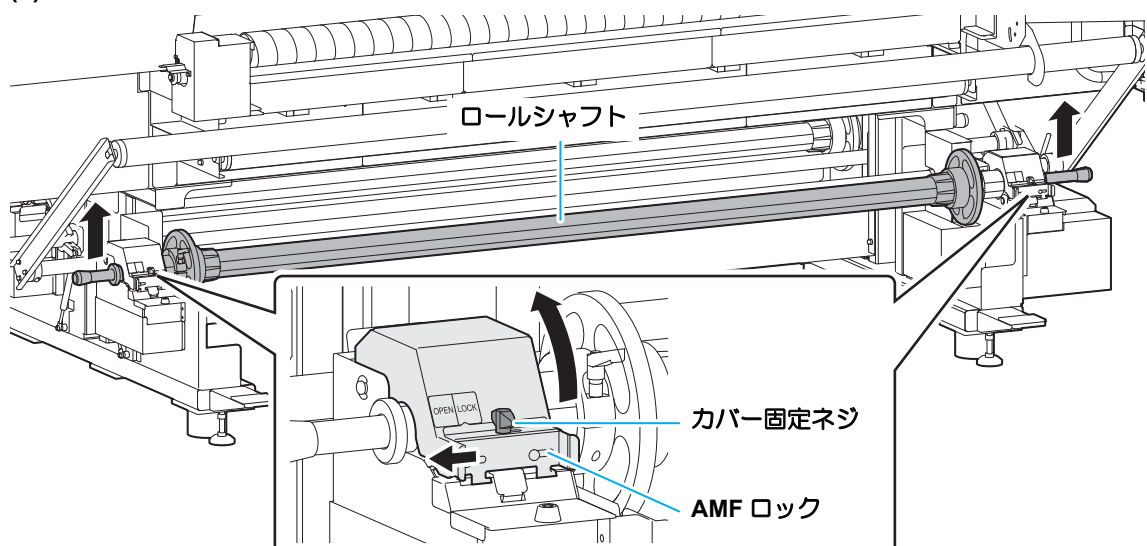


- テンションバーはロック位置よりも外側の部分を持って操作してください。ほかの箇所を持つと、手を挟む可能性があります、危険です。

2

装置前面のメディア巻取装置にセットされているロールシャフトを取り外す

- (1) 巻取装置左右のカバーに付いているカバー固定ネジを緩め、AMF ロックをスライドしてロックを解除する
- (2) カバーを開ける
- (3) ロールシャフトを取り外す



2

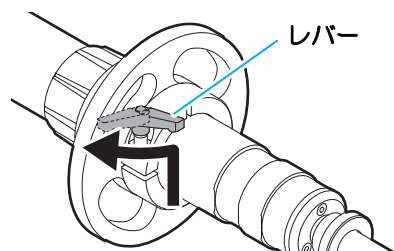
基本的な使い方

3

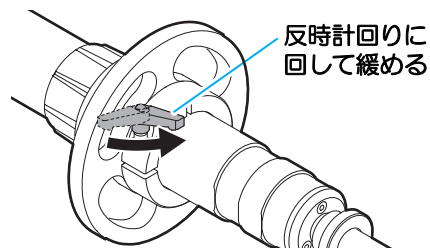
ロールホルダーを外す

・ロールホルダーは、左右両方にあります。左右両方とも、下の手順で外してください。

- (1) ロールホルダーストッパーのレバーを持ち上げながら、図の位置まで回す

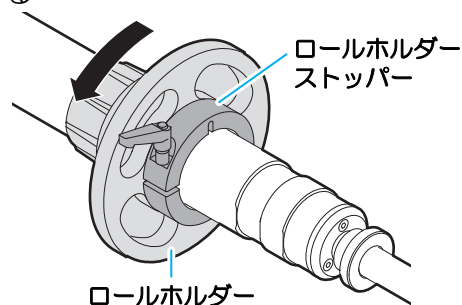


- (2) レバーを一旦離し、図の方向に回して緩める



- (3) (1)、(2) を繰り返す、ロールホルダーのロックを解除する

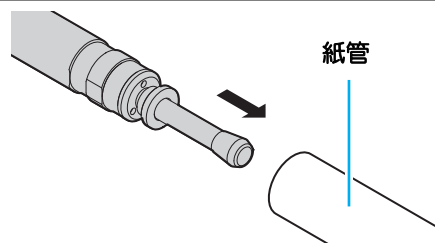
- (4) ロールホルダーのハンドルを反時計方向に回してから、ロールホルダーを取り外す



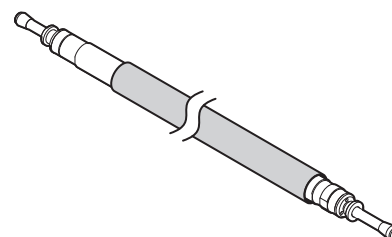
4

紙管を取り付ける

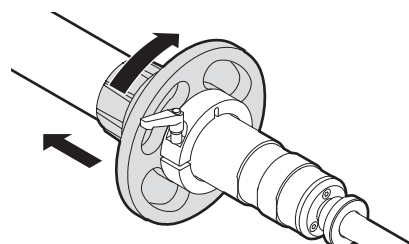
- (1) ロールシャフトを紙管に通す



- (2) 紙管がロールシャフトの右側に来るように調整する



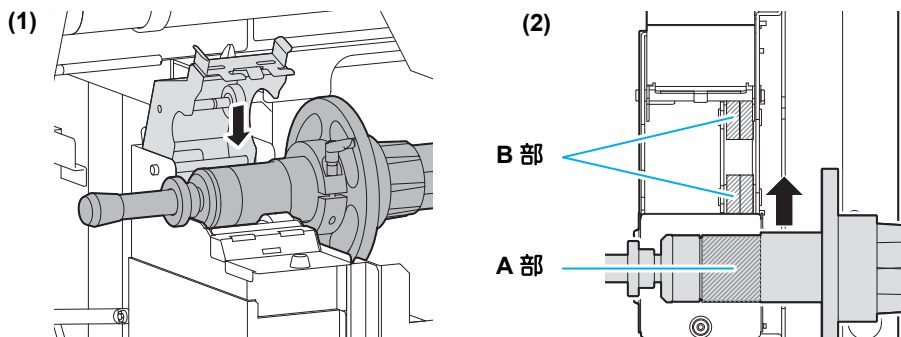
- (3) 左右のロールホルダーを紙管に押し込み、ロールホルダーのハンドルを時計方向に回す
- ・紙管が空回りしないように、しっかりと押し込んでください。



5

紙管をセットしたロールシャフトをメディア巻取装置にセットし、左右のカバーを閉める

- ロールシャフトの A 部を装置 B 部のベアリングに合わせるようにしてセットします。
- カバーを閉めたら、AMF ロックをロック位置までスライドし、カバー固定ネジを締めてください。

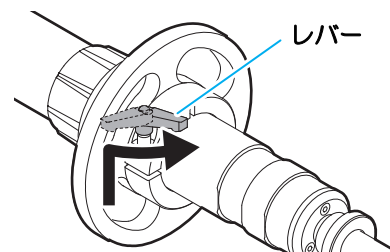


6

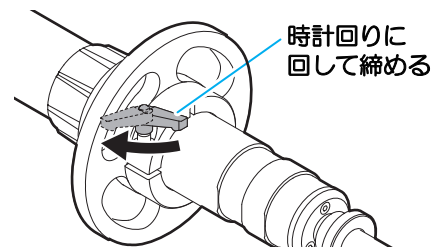
ロールホルダーを固定する

- ロールホルダーは、左右両側にあります。左右両方とも下の手順で固定してください。

(1) ロールホルダーストッパーのレバーを持ち上げながら、図の位置まで回す



(2) レバーを一旦離し、図の方向に回して締める



(3) (1)、(2) を繰り返す、ロールホルダーをロックする

2

基本的な使い方

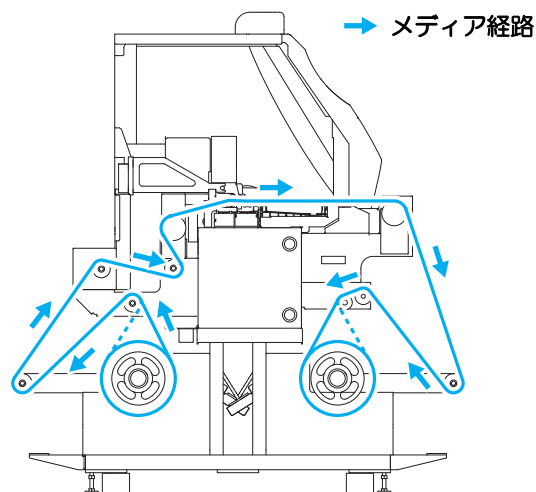
ロールメディアをセットする

本機に布メディアをセットするときの経路は下図のようになります。

メディアをセットする前に、メディアの経路をご理解いただくと、メディアのセットをスムーズに行うことができます。

重要!

- ・布メディアをセットする前に、グリットローラー付近が汚れていないことを確認してください。汚れている場合は、P.4-6 を参照して清掃してください。



1

マシン設定の「クリダシ&マキトリの設定をする」で“マキトリ”と“クリダシ”それぞれの設定を“ON”にする (☞ P.3-16)

重要!

- ・小幅ロールホルダーにメディアがセットされている場合は、メディアを取り外してください。また、小幅ロールホルダーは、装置の両端に移動させておいてください。メディア搬送不良の原因になります。

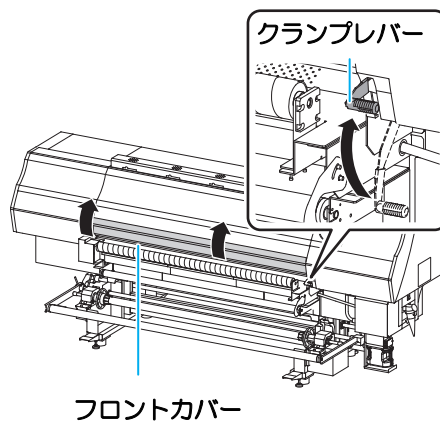
2

メディア繰出装置に、ロールメディアを取り付ける

- ・P.2-11「最初に、メディア巻取装置の準備をする」を参考にして取り付けてください。
- ・ロールメディアは、センター基準で取り付けてください。

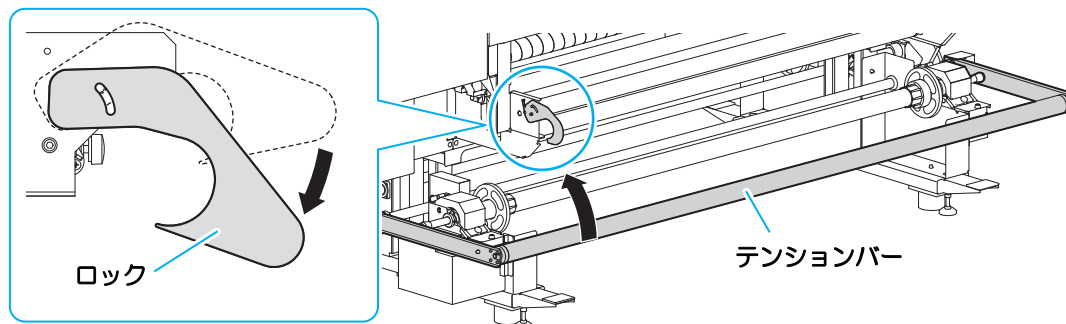
3

装置前面からフロントカバーを開け、クランプレバーを上げる



4

本機の前面と背面にあるテンションバーを持ち上げ、ロック位置で固定する



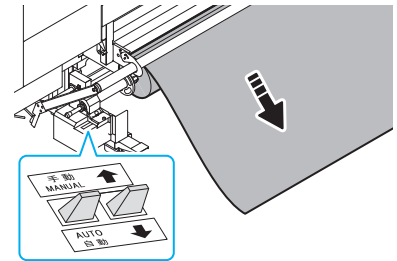
5

繰出装置のスイッチを使い、布を約 3m 繰り出す

- (1) ↑ ↓ のスイッチをメディアの繰出方向にセットする
- (2) 「MANUAL」にして、布を約 3m 繰り出す

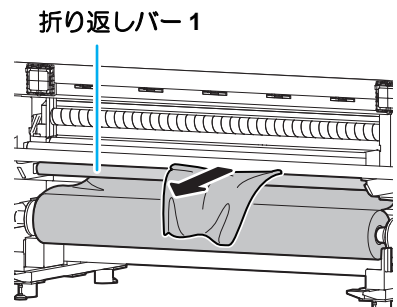


- 3 秒経過すると自動的に回転が止まります。
- 3 秒経過する前に回転を止めたい場合は、スイッチを「AUTO」に切り替えてください。
- 手順 2 で繰出テンションバーをロックしていない場合は、3 秒経過しても自動的に回転は止まりません。回転を止めたいときは、スイッチを「AUTO」に切り替えてください。
- 自動的に回転が止まった場合、さらにメディアを繰り出すには、スイッチを AUTO → MANUAL に切り替えてください。



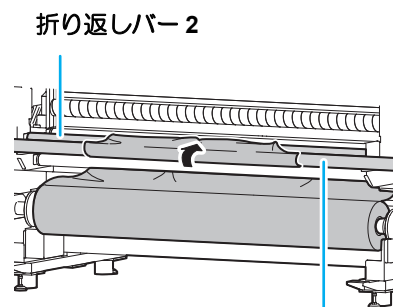
6

折り返しバー 1 の奥側へ布を通す



7

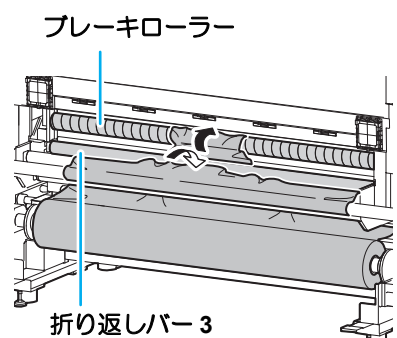
繰出テンションバーの外側から折り返しバー 2 の上に布を通す



繰出テンションバー

8

折り返しバー 3 の下に布を通し、ブレーキローラーの上に布をかぶせる

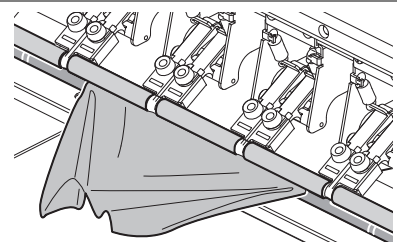


ブレーキローラー

9

グリットローラーとピンチローラーの間に布の先端を差し込み、装置の前面にメディアを送る

- このとき、布の表面のシワなどを取り除いておいてください。

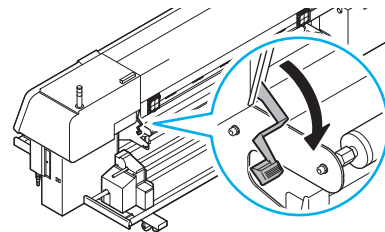


2

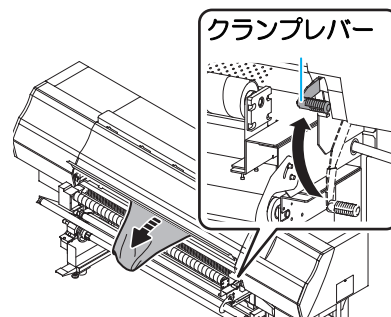
基本的な使い方

10 装置背面のクランプレバーを引き下げる

- 布が保持されます。

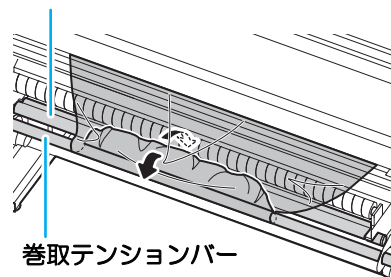


11 装置前面に回り、布の先端を手で押さえながらクランプレバーを上げ、布を引き出す



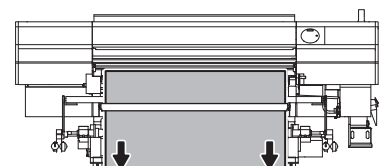
12 巻取テンションバーの手前側から折り返しバー 4・5 の上に布を通す

折り返しバー 4・5



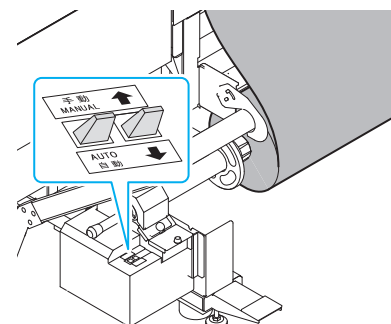
13 布の先端が床に着く程度まで引き出し、シワなどを取る

- 装置の前面と背面の両方にシワなどが無いようにしてください。



14 装置背面の繰出装置のスイッチを操作して、巻取側の布の先端を巻取装置にセットした紙管に貼り付けられる位置まで巻き戻す

- (1) ↑ ↓ のスイッチをメディアの繰出方向の逆にセットする
- (2) 「MANUAL」にして、布を巻き取る



15 クランプレバーを下げる

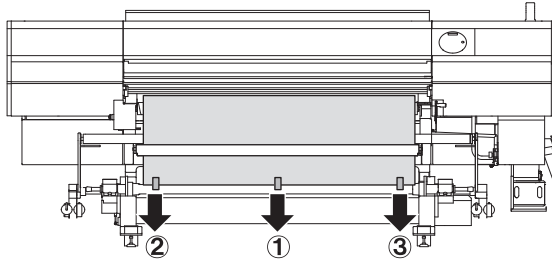
- 布が保持されます。

16

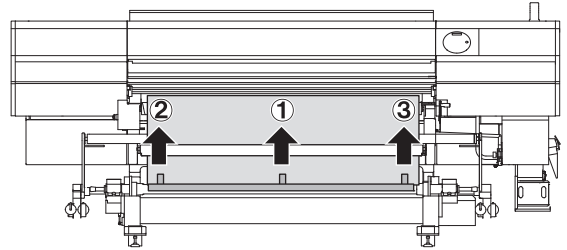
布の先端を巻取ユニットに付いている空紙管に粘着テープなどで固定する

- 布の左右端、中央の張りが均等になるように固定します。次のようにすると布の張りがほぼ均等になります。

メディアを外巻きにセットする場合



メディアを内巻きにセットする場合



(1) まず、中央を固定する

- 最初に布の中央を固定するときは、巻取方向と逆の方向に紙管を回すようにした状態でテープ止めしてください。これを行うことにより、最初にテープ固定したときの布のアソビが無くなり、手順 (2) で布を固定したときに布の張りが均一になるように固定できます。

(2) 布の左右端をそれぞれやや外側に引っ張りながら固定する

- 幅の広いメディアをセットする場合は、メディアの5箇所以上をテープなどで固定してください。固定箇所が多いほどメディアの張りが均等になります。
- セットした布と紙管の位置がズれている場合は、ロールホルダのネジを緩め、紙管が適切な位置になるよう調整してください。
- 繰出側のロールが見えるところまで目線を下げ、布の右端・左端が繰出側ロールの左右端位置とずれていないかチェックしてください。

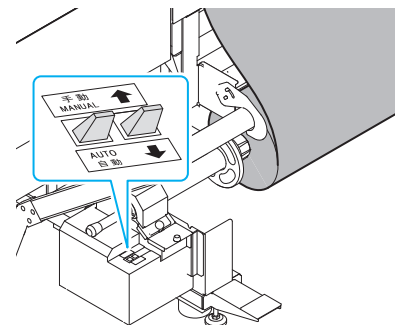
17

クランプレバーを上げる

18

装置背面の繰出装置のスイッチを操作して、布をたるませる

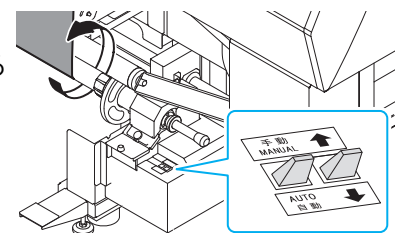
- (1) ↑ ↓ のスイッチをメディアの繰出方向にセットする
- (2) 「MANUAL」にして、布を繰り出す



19

装置前面の巻取装置のスイッチを使い、紙管に布を1周以上巻き付ける

- (1) ↑ ↓ のスイッチをメディアの巻取方向にセットする
- (2) スwitchを「MANUAL」に切り替え、布を1周以上巻き取る



20

巻取テンションバーのロックを外し、テンションバーが床に対してほぼ水平になるように調整する

-  を押して、テンションバーが水平になる位置までメディアを繰り出す。

21

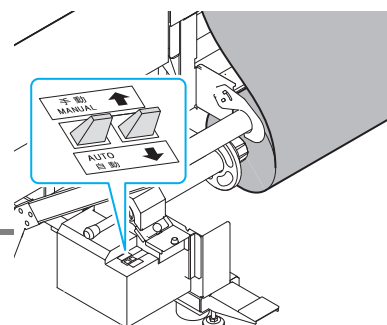
クランプレバーを下げる

- 布が保持されます。

22

装置背面の繰出装置のスイッチを操作して、布をたるませる

- (1) ↑ ↓ のスイッチをメディアの繰出方向にセットする
- (2) 「MANUAL」 にして、布を繰り出す



23

繰出テンションバーのロックを外し、テンションバーが床に対してほぼ水平になるように調整する

- (1) ↑ ↓ のスイッチをメディアの巻取方向にセットする
- (2) 左側のスイッチを [手動 / MANUAL] にする
 - メディアを巻き取りながら、テンションバーが上がります。このとき、メディアが繰り出され、テンションバーが上がらない場合は、↑ ↓ のスイッチを切り替えてください。
- (3) テンションバーアームが床とほぼ平行になったら、左のスイッチを [AUTO] にして、テンションバーを止める
- (4) ↑ ↓ のスイッチを、メディアを繰り出す方向に切り替える

24

巻取装置と繰出装置のスイッチを確認する

- ↑ ↓ のスイッチは巻取方向 / 繰出方向と合っているかを確認してください。
- 巻取装置 / 繰出装置共に「AUTO」にセットされているかを確認してください。

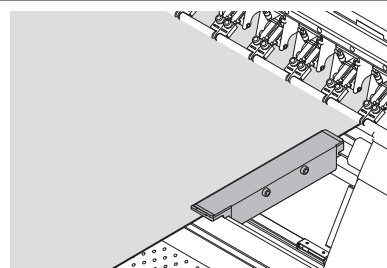
25

布押さえで布を軽くはさむ

重要!

布押さえは必ず使用してください。布押さえを使用することにより、次のような効果があります。

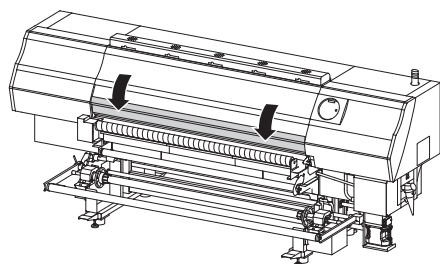
- 使用する布が、カール、反り返り、毛羽立ち等で、布端が浮いてくることを防ぐ
 - プリント中の裏抜けインクミストを防ぐ
- メディア幅いっぱいにプリントする場合も、布押さえはメディアに隣接した状態で使用してください。



26

フロントカバーを閉じる

- メディア選択画面が表示されます。



27 ◀▶ を押して “ロール” を選択する

メディア セット
ロール < > リーフ

28 メディア経路を確認 (P.2-14) し、**ENTER** キーを押す
 ・マシン設定の「メディア検出」でメディアハバを “MANUAL” にしている、メディア幅入力画面が表示されます。(P.3-24)

メディア ハブ
カクニン : ent

29 ▲▼ を押してメディア残量を入力し、**ENTER** キーを押す

メディア セット
サンリョウ = 110m

・マシン設定の「メディア残量表示」を “OFF” にしている場合、この画面は表示されません。(P.3-17)

30 メディア幅の自動検出を開始する

・布押さえの位置を自動検出し、プリントエリアを設定します。検出動作が終了するまで、しばらくお待ちください。

メディア ケンシュツ チュウ
シハラク オマチクタサイ



・メディアが右に寄りすぎていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

ERROR 516
メディア イチ ミキスキマス

オーバープリントをする場合

オーバープリントをする場合は、次の作業を行ってから布メディアをセットしてください。

● マシン設定の「メディアケンシュツで」メディアハバを “MANUAL” に設定する (P.3-24)

● インク受けスパーサと布端スパーサをセットする (P.2-8)

重要!

・オーバープリントを行った場合、メディアをセットした後のメディア検出時に、メディア幅入力画面が表示されます。このときは、セットしたメディア幅を入力して **ENTER** キーを押してください。

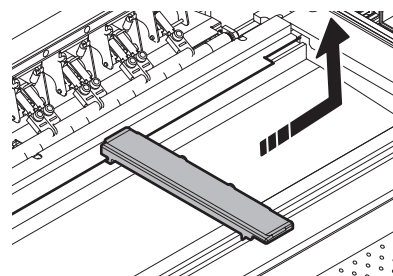
布押さえの調節方法

布の厚みに合わせて、ステンレス板の高さを調節してください。

1

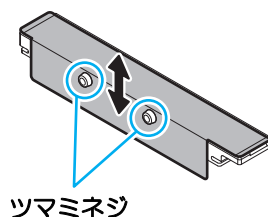
布押さえを取り外す

- 布押さえをプラテンの端までスライドさせ、取り外します。



2

ツマミネジを緩め、布の厚みにあわせてステンレス板の高さを調節する



重要!

- 厚手の布を布押さえで押さえる場合、ヘッドの高さも布の厚さに応じて高くセットしてください。ヘッド高さが低いままになっていると、ヘッドの破損の原因になります。

布をクランプしたままメディア幅を検出する

クランプレバーを ON にしたままで、布メディアの幅を検出することができます。

1

ローカルで、**MEDIA** キーを押す

ヘッド * キャップ° [ENT]

2

▲ ▼ を押して、[メディアリセット]を選択する

メディア リセット [ENT]

3

ENTER キーを押す

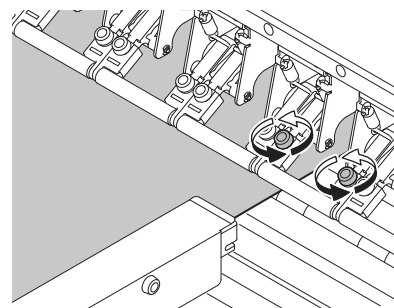
- メディア選択画面が表示されます。

ピンチローラーを外して、布のシワ発生を押さえる

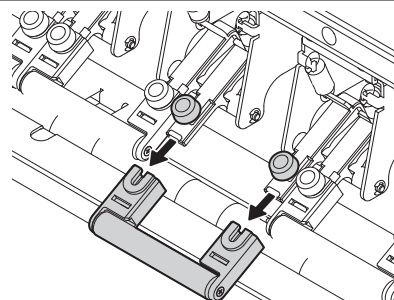
使用する布の左右端が布中央部に比べて伸びている場合や、布端ほつれ防止用のガミング処理で厚みが厚くなっている場合は、シワが発生しやすくなっています。
この場合、布左右端部のピンチローラーを外してご使用ください。

1 クランプレバーを上げる

2 外したいピンチローラーの左右のツマミネジを緩める

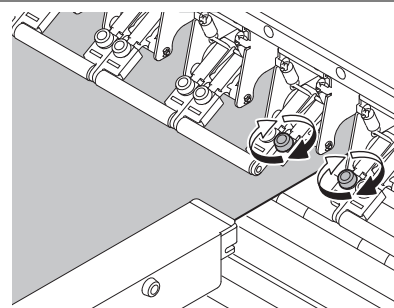


3 ピンチローラーを手前に引き抜く



4 ツマミネジを軽く締める

- ・ツマミネジの脱落防止・紛失防止のため、ツマミネジを軽く締めしておいてください。



5 クランプレバーを下げる

- 重要!** ・本装置左右端のピンチローラーを外した場合、外した位置に出ている布の左右の長さが極端に異なる場合は、再度メディアをセットしてください。(☞ P.2-14)

巻取 / 繰出テンションバーの重量調整用カウンターウェイトの取り付け

メディアには、糸の太さや折り方が違う物など、様々な種類があります。また、同じメディアでも前処理行程の違いなどから、伸縮性の特性が変化します。このような様々なメディアを、そのメディアに合った適正なテンションをかけた状態でプリントするために、テンションバーウェイトを調整する必要があります。

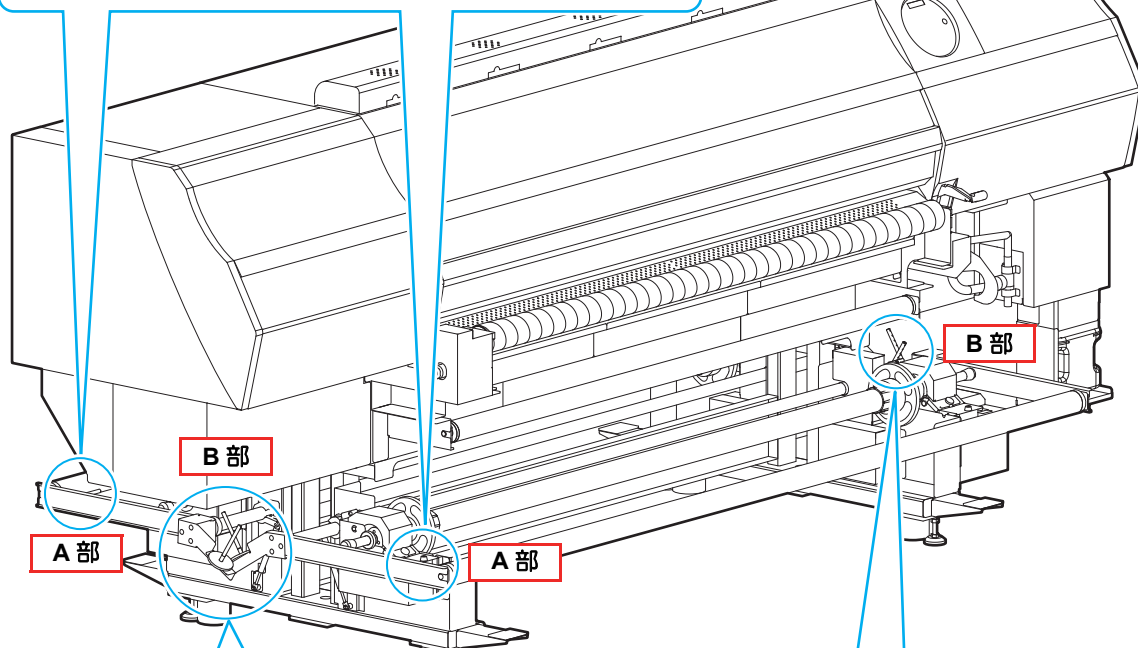
カウンターウェイトの取り付け場所によって、テンションバーの重さを調節することができます。(次ページイラストの A 部に付けると重くなり、B 部に付けると軽くなる)

カウンターウェイトは、左右それぞれに最大 15 枚まで取り付けることができます。

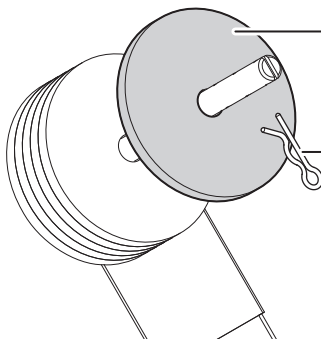
- 重要!** ・カウンターウェイトの取り付けは、P.2-34「メディアの送りを設定する」でメディアの送り補正量を調整してから行ってください。

現象			対応
セット時のメディア表面	プリント時	プリント結果	
プリント面がピンと張った状態になっている。	安定したプリントを行う。	メディアの弛みやシワがほとんど見られない。	メディアに対して適正なテンションになっています。カウンターウェイトの調整は必要ありません。
メディアの表面に弛みが発生し、プリント面が下がっている。	プリント時にメディアがバタつく。	プリント面が下がっているため、適正なヘッド高さでプリントできず、プリント品質が低下する。	次ページイラストの A 部にカウンターウェイトを追加して、テンションバーのウェイトを重くしてください。 また、フィード補正をしてメディア送りを適正に設定してください。
メディアを引っ張りすぎているため、ピンチローラーとピンチローラーの間など、部分的にシワが発生している。	テンションバーがたわみ、メディアにシワが入ったり、斜行する。	メディアに入ったシワとヘッドがぶつかり、メディア詰まりやヘッド破損の原因になる。	次ページイラストの A 部にセットされているカウンターウェイトの枚数を減らすか、B 部にカウンターウェイトを追加してください。 また、フィード補正をしてメディア送りを適正に設定してください。

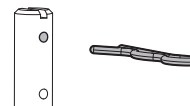
巻取テンションバー・繰出テンションバーを重くしたいとき、テンションバーの先端にウェイトを取り付けます。



巻取テンションバーの重量を軽くしたいときは、装置の後側にウェイトを取り付けます。また、繰出テンションバーの重量を軽くしたいときは、装置の後側にウェイトを取り付けます。



カウンターウェイトを取り付けたあと、ウェイトが落ちないようにクリップ止めしてください。クリップは、カウンターウェイト取り付け棒に付いている穴に差し込んでください。



- ・カウンターウェイトは非常に重いため、取り扱いには十分にご注意ください。誤って指や足を挟むと、怪我の原因になります。



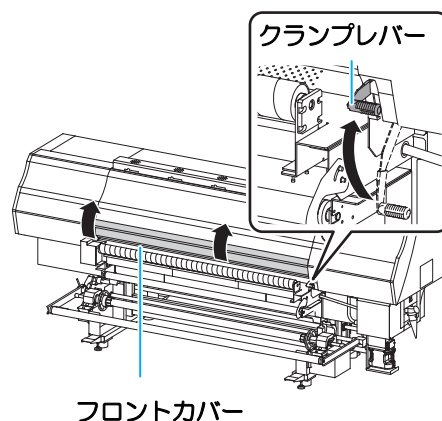
- ・使用しないカウンターウェイトは、保管箱に入れ紛失しないようにしてください。

リーフメディアをセットする

リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

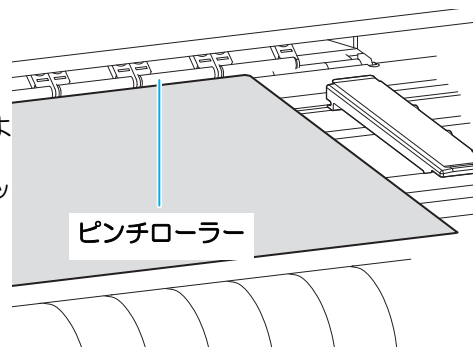
1 フロントカバーを開ける

2 クランプレバーを上げる



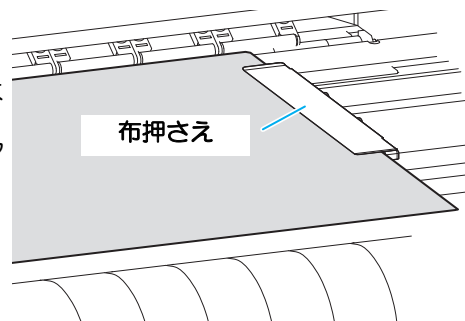
3 リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込む

- メディアが右端のピンチローラーより右側にはみ出さないようにセットしてください。
- ポストヒータの溝にメディアの先端がかからない位置にセットしてください。



4 布押さえでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、布押さえをメディアから外してプリントしてください。



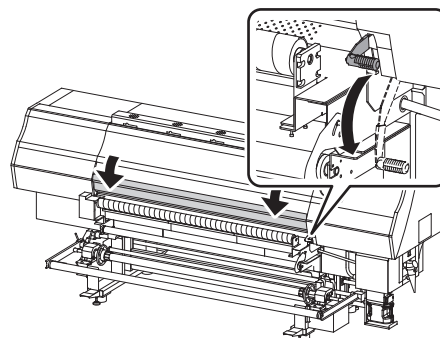
- メディアが右に寄りすぎていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

ERROR 516
メディア イチ ミキスキマス

5 クランプレバーを下げる

- メディアはまっすぐにセットしてください。

6 フロントカバーを閉じる



7

 キーを押す

8

 を押して、“リーフ”を選択する

メディア センタク
ロール< >リーフ

9

メディアの検出を始める

** メディア ケンシュツ **

- (1) メディア幅を検出する
- (2) 検出が終わると、ローカルに戻る

重要!

- ・リーフメディアは、腰のあるメディア以外は使用しないでください。
リーフメディア使用時は巻取装置が無効となるため、腰のないメディアをセットするとプリント面が平らにならず、メディア詰まりの原因となります。

ヘッドギャップを設定する

ヘッドギャップ (布メディアからヘッドノズル面までの高さ) を設定します。
プリント時やメンテナンス機能などでヘッドがプラテン上へ移動する動作が行われる際に、設定されているヘッドギャップ位置に移動します。

ヘッドギャップの上限は、メディア厚により変化します。

設定値 : [1.5 mm ~ 7.0 mm] (0.1 mm 単位 / 初期値 : 2.0 mm)

重要!

- お使いになる布の厚みに対してヘッドが適正な高さに設定されていないと、プリント品質の低下やヘッド破損の原因となります。ヘッドの高さ調整は布を交換する毎に行ってください。
- ヘッド高さ調整をした後は、必ずドット位置補正をしてください。(P.2-38)

1

ローカルで、**(MEDIA)** キーを押す

ヘッド * ギャップ °
[ENT]

2

(ENTER) キーを押す

ヘッド * ギャップ °
= 2.0 mm

3

(▲) **(▼)** を押して、ヘッドギャップ値を設定する

• 設定値 : 1.5 ~ 7.0 mm

ヘッド * ギャップ °
= 2.0 mm

4

(ENTER) キーを押す

セッテイ
ヘッド * ギャップ ° [ENT]

5

終了するとき、**(END)** キーを数回押す



- 布表面の毛羽立ちや布端エッジ部分のソリ、またはプリント中の布凹凸をさけたい場合は、ヘッドと布印字面の距離を広げて使用できます。
- 布の左右端がガミング処理 (布端ぼつれ防止処理) やテンタ跡で厚くなっている場合は、左右端の厚みに合わせてヘッド高さを調整してください。
- ヘッドと布印字面の距離を広げた場合、印字品質は低下します。

重要!

- ヘッド高さは 3mm 以下にしてお使いになることをおすすめします。3mm 以上に使用した場合、プリント画像のボヤケやプリント経過での色味の変化・インクミストによるノズル抜けなどが起こる可能性があります。
- ヘッド高さを 3mm 以上で使用したことによるプリント品質について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ヘッドギャップ値を確認する

現在設定されているヘッドギャップ値を確認したいときは、次の操作をしてください。

ローカルで **ENTER** を押す

ENTER を数回押して、[ヘッドギャップ]を表示させる
・現在設定されているヘッドギャップ値が表示されます。

MEDIA を使わないでヘッドギャップを設定するには

MEDIA キーを押さなくても、ローカルから **FUNCTION** キーを使ってヘッドギャップを設定することができます。

ローカルで
FUNCTION を押す

▲ ▼ を押して [セッテイ]
を選び、**ENTER** を押す

▲ ▼ を押して [ヘッドギャップ] を選び、
ENTER を押す
・手順 2 の画面が表示されます。手順 3 から
の操作をしてください。

原点を変更する場合は

プリント原点の位置を変更することができます。

1

ローカルで、**▲ ▼ ◀ ▶** を押す
・原点設定モードになります。

ケンテン セッテイ
0.0

2

▲ ▼ ◀ ▶ を押して、原点を変更したい位置へ合わせる
・**▲ ▼ ◀ ▶** でキャリッジとメディアを移動させて選び
ます。

ケンテン セッテイ
0.0 0.0
原点位置 原点位置
(長さ) (幅)

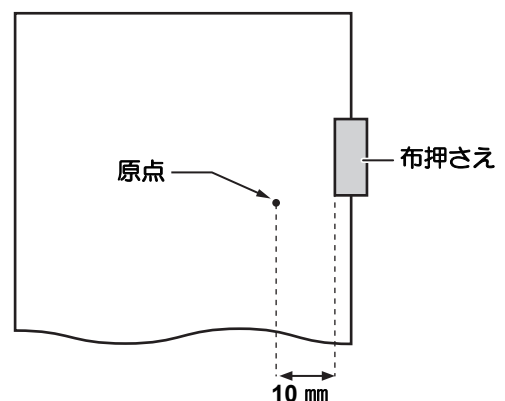
3

プリント原点を決定したら、**ENTER** キーを押す
・原点が変更されます。

ケンテン セッテイ
** ケンテン **

原点を変更する場合は

メディアを自動検出した場合、プリントするときの始点
(原点) は右図の位置に設定されています。
プリントする状況に合わせて、原点を変更することができ
ます。



ヒーターの準備をする

ヒーターの温度設定を変更する

ヒーターの温度を設定します。

お使いになるメディアやプロファイルに合わせて、ヒーター温度を設定してください。

- 周囲の温度により、設定した温度に到達するまでに数分から数十分かかることがあります。



- ここで設定する温度は、[セッテイ]メニュー内の[ヒーター]でも変更することができます。(P.3-3)
- ヒーターの設定の他に乾燥ファンの風量を設定をすることにより、より効果的にメディアを乾燥させることができます。ヒーターの設定が終わったら、乾燥ファンの設定も行ってください。(P.3-3)
- 布メディアがセットされていない場合や幅が狭い場合は、設定した温度に到達するまでに時間がかかったり、到達しない場合があります。

1

HEATER キーを押す

LEFT	CENT	RIGHT
35 °C	40 °C	50 °C

ヒーター温度確認画面

2

HEATER キーを押す

本機で設定している
ヒーター温度

OFF	OFF	OFF
(23 °C	23 °C	23 °C)

現在のヒーター温度

3

▲ ▼ ◀ ▶ を押して、各ヒーターの温度を設定する

設定可能温度 : 20 ~ 60 °C

ヒーターの選択 : **◀ ▶** で選ぶ
温度の設定 : **▲ ▼** で設定

40 °C	40 °C	50 °C
(23 °C	23 °C	23 °C)

- ヒーターの加熱が始まります。([HEAT] ランプがオレンジ点灯)
- ヒーターの温度が設定温度に達すると、[HEAT] ランプが消灯し、[CONSTANT] ランプが緑色に点灯します。

4

ENTER キーを押す

- 外部ヒーターの設定画面に移行します。

カ`イフ` ヒーター
: OFF

5

▲ ▼ を押して、ON/OFF を選ぶ

- 外部ヒーターを使用する場合は、“ON” に設定してください。

カ`イフ` ヒーター
: ON

6

終了するとき、**ENTER** キーを押す



- お使いの RIP が、ヒーターの温度をコントロールできる機能を搭載している場合は、RIP 側でコントロールすることができます。(設定方法は、お使いの RIP の取扱説明書をご覧ください。)

重要!

- 本装置は、20 ~ 30 °C の環境で使用してください。周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

ヒーターの温度を確認する

1**HEATER**を押す

- 現在のヒーター温度が表示されます。

LEFT	CENT	RIGHT
40 °C	50 °C	35 °C

2確認が終わるとき、**END**を押す

- ローカルに戻ります。

2

基本的な使い方

テストフィードをする

プリント前に本機能を実施し、正常にメディアが搬送できることを確認します。

- 1

ローカルで、**TEST PRINT/CLEANING** キーを 3 回押す

テスト フィード`
[ENT]
- 2

ENTER キーを押す

バック フィード`
: ON
- 3

を押して、**ON/OFF** を選ぶ

 • “ON” に設定した場合、印刷を開始する前にロールメディアを巻き戻し、たるみのない状態にしてください。

バック フィード`
: ON
- 4

ENTER キーを押す

テスト フィード`
カイン [ENT]
- 5

ENTER キーを押す

• テストフィードを開始します。

** テスト フィード` **
シハ`ラク オマチクダ`サイ
- 6

END キーを押す

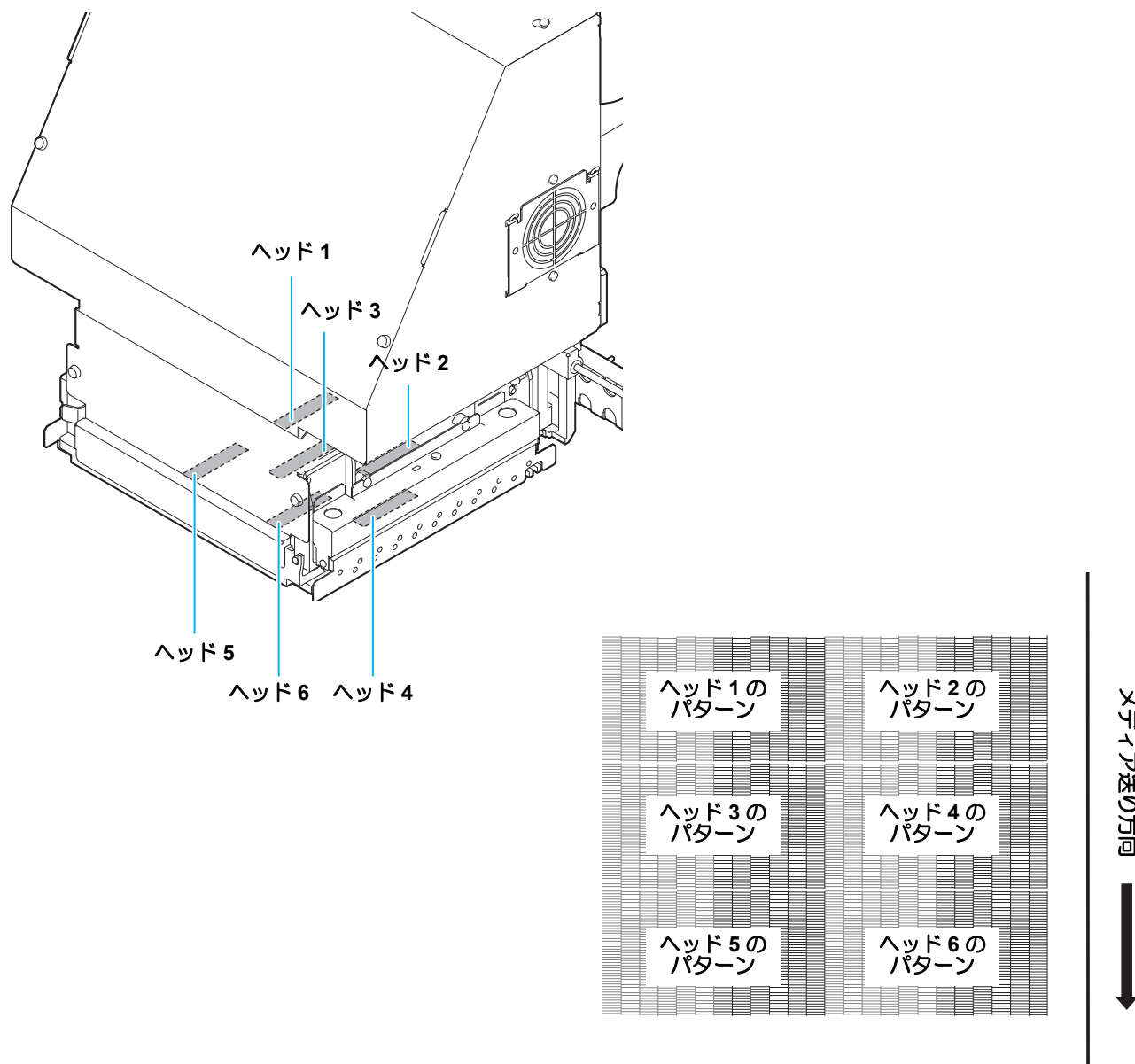
• **END** キーを押すまで、フィード動作を継続します。
• ある程度フィードさせて搬送状況を確認してから、**END** キーを押して終了します。

テストプリントをする

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

ヘッドの配列とテストパターンの関係

ヘッドの配列とプリントしたテストパターンのプリント位置は、下図の通りです。



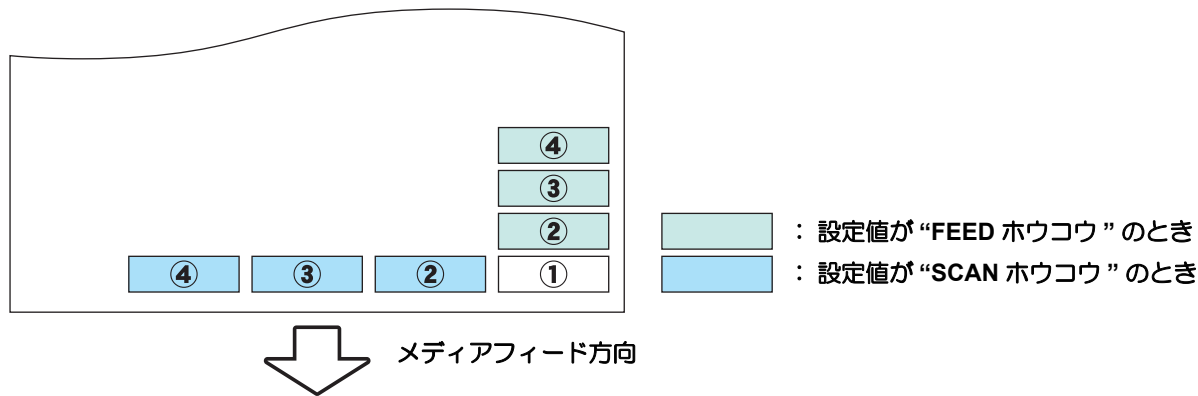
2

基本的な使い方

テストプリントを行う

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

また、テストプリントを繰り返し実行するときのために、プリントするテストパターンの配置方向を次の2種類から選択することができます。使い方に合わせて選択してください。



テストプリントの前に 確認してください	・ メディアをセットしているか  P.2-5	・ 原点位置をセットしているか
	・ ヘッド高さを調整しているか  P.2-26	

1

ローカルで、**TEST PRINT/CLEANING** キーを押す

・   を押して、テストパターンの配置方向を変更できます。

テスト サクス^{*}
(FEED ホウコウ)

[ENT]

2

ENTER キーを押す

・ テストプリントを開始します。

・ プリントが終わると、手順 1 の表示に戻ります。

** プ rint **
シハ`ラク オマチクタ`サイ

テスト サクス^{*}
(FEED ホウコウ)

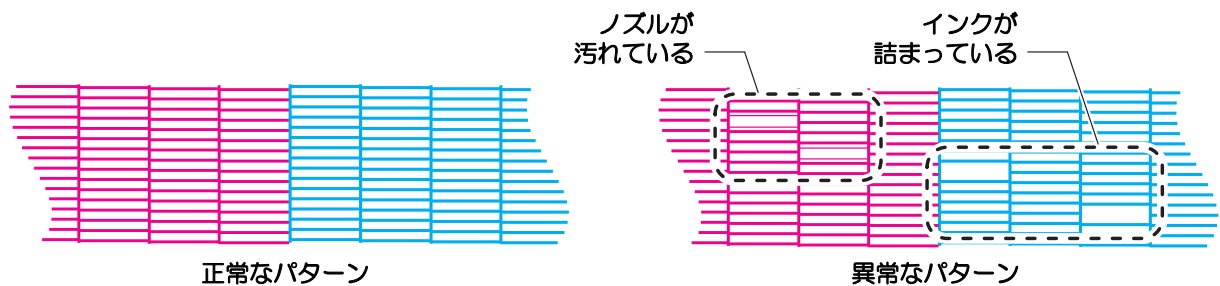
[ENT]

3

プリント結果を確認する

・ 正常な場合は、操作を終了します。

・ 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。 ( P.2-33)



ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合わせたクリーニングを行います。
次の3種類から選んでください。

- ソフト : 線の曲がり、抜けがある時
ノーマル : 線の抜けがある時、混色している時
ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、3種類あります。パターンプリントの結果によって使い分けてください。

1

ローカルモードで、**TEST PRINT/CLEANING** キーを2回押す

クリーニング*
ソフト [ENT]

2

▲ ▼ を押して、クリーニングタイプを選択する

- ソフト : 線の曲がり、抜けがある時
ノーマル : 線の抜けがある時、混色している時
ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

クリーニング*
ノーマル [ENT]

3

ENTER キーを押す

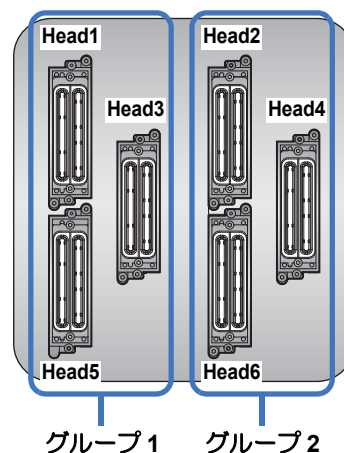
ヘッド* センタク
: 12

4

▲ ▼ を押して、クリーニングするヘッドを選択する

- ・設定値 : 12 (全てのヘッド)
1_ (グループ1のヘッド)
_2 (グループ2のヘッド)

ヘッド* センタク
: 1_



5

ENTER キーを押す

** クリーニング* **
00:00:00

6

再度テストプリントを実行し、プリント結果を確認する

- ・プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。



ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合

- ・ワイパーとインクキャップのクリーニングをする (P.4-9)
・「ノズル詰まりが復旧しない場合」を参照して、ヘッドノズルの洗浄 (P.4-20) とノズルリカバリの設定をする (P.4-22)

メディアの送りを設定する

メディアの送り量を補正してください。

補正值が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

重要!

- ・メディアの種類を変更した場合、パターンを確認し状況に応じて調整を行う必要があります。
- ・ヒーターの温度を変更した場合は、[CONSTANT] ランプが点灯し、設定した温度に達していることを確認してから補正してください。
- ・巻取装置を使用時のプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でメディア補正を行ってください。

メディア送り補正の流れ

メディア送り補正は、次のような流れで行ってください。

1

ADJUST キーを押して、フィード補正の設定値が“0”になっていることを確認する

「フィード補正の設定」(P.2-36)を参照してください。

2

ブレーキローラーと引っ張りローラーのトルクを最大にする

「トルクリミッタを調節する」(P.2-35)を参照してください。

3

補正パターンをプリントする

「フィード補正の設定」(P.2-36)を参照してください。

4

パターンを確認して、巻取/繰出テンションバーのカウンターウェイトの調節をする

「巻取/繰出テンションバーの重量調整用カウンターウェイトの取り付け」(P.2-22)を参照してください。

5

カウンターウェイトの調整で補正しきれない場合、トルクの調節をする

「トルクリミッタを調節する」(P.2-35)を参照してください。

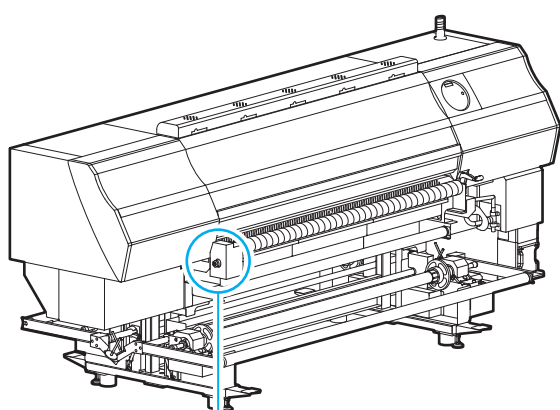
6

カウンターウェイトとトルクの調整で補正しきれない場合、フィード補正の設定で補正值を入力する

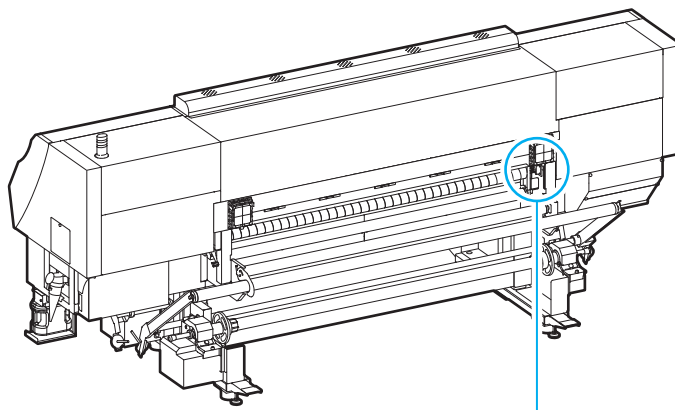
「フィード補正の設定」(P.2-36)を参照してください。

トルクリミッタを調節する

引っ張りローラーとブレーキローラーには、トルクリミッタが付いています。トルクリミッタを調整して、ローラーが回転する強さを変更できます。（工場出荷時は、トルクリミッタを最も強く設定してあります。）
カウンターウェイトの調整でメディアの送りを調整できなかった場合、トルクリミッタの調節をしてください。

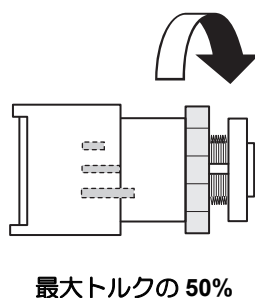
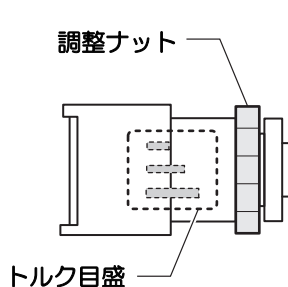


トルクリミッタ

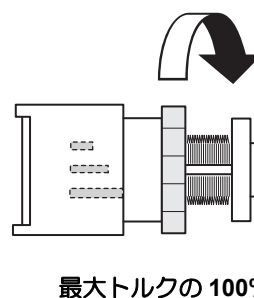


トルクリミッタ

- ・時計回り：テンションが強くなる（厚いメディア）
- ・反時計回り：テンションが弱くなる（軽いメディア）



最大トルクの 50%



最大トルクの 100%

重要！

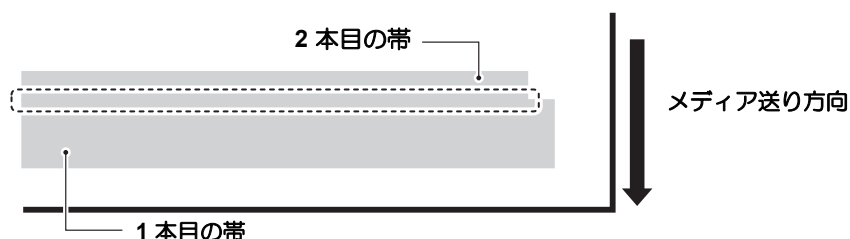
- ・トルクリミッタの調節が弱すぎると
メディアがバタツキやすくなったりプリント品質が低下します。
- ・トルクリミッタの調節が強すぎると
メディアによってはシワが発生し、プリント品質が低下します。

フィード補正の設定

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。



- 補正パターンでは2本の帯をプリントします。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



1

メディアをセットする (👉 P.2-5)

2

ローカルで、**ADJUST** キーを押す

フィート` ホセイ
[ENT]

3

ENTER キーを押す

- 補正値の入力だけ行いたい場合は、**ENTER** キーを押した後に **REMOTE** キーを押すと補正値入力画面が表示されます。手順5の操作をして、補正値を入力してください。

フィート` ホセイ
フ°リント カイシ [ENT]

4

ENTER キーを押して、補正パターンをプリントする

** フ°リント **
シハ`ラク オマチクタ`サイ

5

補正パターンを確認し、補正値を入力する

- "+"に入力すると: 2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
- "-"に入力すると: 2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。

フィート` ホセイ
= 0



- 補正値を“20”変更すると帯が約0.01mm移動します。この補正量を参考にして補正値を決定してください。

6

ENTER キーを押す

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。
- 補正の必要がある場合は、手順 5 の操作をして補正してください。

 フィート^{*} ホセイ
 プリント カシ [ENT]

7

終了するとき、**END** キーを数回押す

ADJUST を使わないでフィード補正をするには

ADJUST キーを押さなくても、ローカルから **FUNCTION** キーを使ってフィード補正を選ぶことができます。

 ローカルで **FUNCTION**
 を押す

 ▲ ▼ を押して
 [セッテイ] を選ぶ
ENTER を 2 回押す

- 手順 3 の画面が表示されます。手順 4 からの操作をしてください。

プリント中にメディア送りを補正したいときは

リモートモードや画像データのプリント中でもメディア送り量の補正ができます。

1

リモートで、**ADJUST** キーを押す

リモート ** . **mm

 フィート^{*} ホセイ
 0 ▶ 0

現在の [フィードホセイ] の値

2

▲ ▼ を押して、補正量を入力する

- 補正量：-9999 ~ 9999
- ここで入力した値は、すぐに補正量に反映されます。

3

ENTER キーを押す

- 変更した値が登録されます。
- **ENTER** キーの代わりに **END** キーを押すと、ここで補正した内容は無効となります。

リモート ** . **mm

2

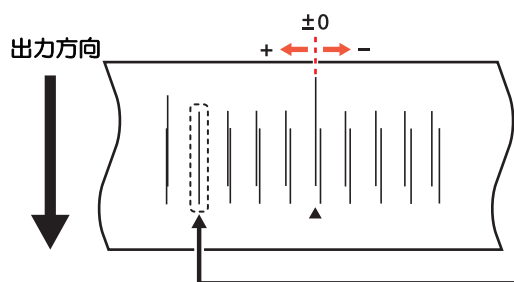
基本的な使い方

双方向プリントのドット位置を調整する

プリント時の条件（メディアの厚み／ヘッドの高さなど）を変えたときは、次の操作をして双方向（Bi）プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

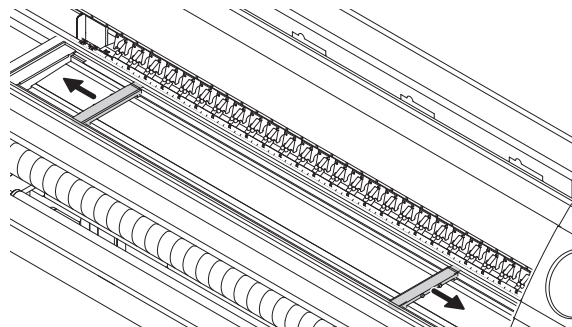
- 重要！** ・ドットイチホセイを行う前に、必ず調整プレートを取り付けてください。調整スペーサを外している状態でドットイチホセイを行っても、適正な調整をすることはできません。

ドット位置補正パターンプリント例

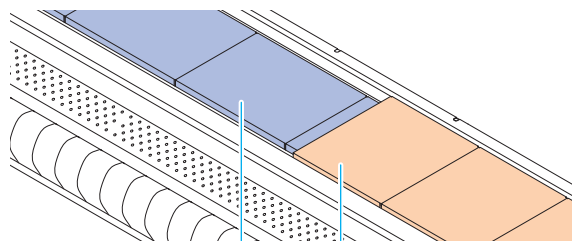


プラス方向に 0 位置から 4 本目が、直線で表示されています。
この場合のドット位置補正値は 4.0 です。

1 布押さえを左右に寄せる



2 インク受けスペーサと調整スペーサを取り付ける



インク受け
スペーサ 調整スペーサ

3 メディアをセットし、プリント原点を設定する (👉 P.2-5)

4 ローカルで、**ADJUST** キーを 2 回押す

ドット イチ ホセイ [ENT]

5 **ENTER** キーを押す

ドット イチ ホセイ
プリント カシ [ENT]

6

ENTER キーを押して、パターンプリントを開始する

- 複数のテストパターンをプリントします。(プリント順にパターン1,2,3...と呼び)

** プリント **
シハ`ラク オマチクタ`サイ

7

▲ ▼ を押して、パターン1～のドット位置を補正する

- 補正值：-40.0 ～ 40.0
- テストパターンを確認し、往路と復路が1本の直線になっている位置が補正值となります。
- 補正值が-40.0 ～ 40.0 の間にならない場合は、ヘッドギャップを調整後、手順2から操作をし直してください。

ハ° ターン1
= 0.0

8

ENTER キーを押して、補正值を確定する

- 次のパターンを補正する画面が表示されます。手順5からの操作を繰り返して全てのパターンの補正をしてください。
- すべてのパターンを補正したら、手順7の操作をしてください。

ハ° ターン2
= 0.0

9

終了するとき、**END** キーを数回押す

ADJUST を使わないでドット位置補正をするには

ADJUST キーを押さなくても、ローカルから**FUNCTION**キーを使ってドット位置補正を選ぶことができます。

ローカルで **FUNCTION**
を押す

▲ ▼ を押して
[セッテイ]を選び
ENTER を押す

▲ ▼ を押して[ドットイチホセイ]を選び
ENTER を押す

- 手順3の画面が表示されます。手順4からの操作をしてください。

2

基本的な使い方

データをプリントする

プリントを開始する

重要!

- ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。
- 高温な場所 (30 °C (86°F) 以上) では使用しないでください。ノズル詰まりが起こり、ヘッドクリーニングなどを行っても復旧が難しくなることがあります。
- 低温 / 低湿の場所 (20°C (68°F)/35 % (Rh) 以下) では使用しないでください。静電気が発生し、プリント品質に影響することがあります。

1

メディアをセットする (👉 P.2-5)

2

ヒーターの温度を確認する

- ディスプレイ下の [LEFT]、[CENT]、[RIGHT] で CONSTANT ランプが点灯していることを確認してください。



3

ローカルで、**REMOTE** キーを押す

- ヒーター温度が設定値に到達していない場合、右の画面が表示されます。**ENTER** キーを押すと、未到達でもリモートに移行できます。
- リモートモードになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

オント` セイキ`ョ チュウ
シハ`ラク オマチクタ`サイ

4

コンピュータからプリントするデータを送信する

- プリント条件を表示します。
- データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

5

プリント開始

解像度 600 /900 DPI

ノズルリカバリ設定の有無
(R 表示時はリカバリ有効で動)

MAPS 設定の有

プリント使用ヘッ

600x900 R/MP /ALL
6/Bd/Nd/x2 xx.xxm

プリント終了した
メディアの長さ

スキャン速度
x1 標準速
x2 : 倍速

データタイプ
VD : バリアブルデータ
ND : ノーマルデータ

スキャン方向
Ud : 単方向
Bd : 双方向

パス数

プリントを中断する

プリントを途中で止める場合、次の操作をしてください。

1

プリント中に、**REMOTE** キーを押す

- プリント動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- 再度**REMOTE** キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

<ローカル>
プリントデータ アリ

受信したデータを消去する (データクリア)

プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去してください。

1

ローカルで、**DATA CLEAR** キーを押す

データ クリア [ENT]

2

ENTER キーを押します。

- 受信データを消去し、ローカルモードに戻ります。

** データ クリア **

プリント完了後の動作

乾燥フィード

プリントが完了すると、印刷面を乾燥ヒーターによって乾燥させるため、フィード動作を行います。

- プリントの後端が乾燥ヒーターを通過するまでフィード動作を行います。
- **END** キーを押すと動作を中止します。
- 連続して次のデータを受信している場合、最後のデータ完了後のみ動作します。
- お使いの乾燥ファンの位置に応じて、フィード量を設定してください。(P.3-25「乾燥フィードの設定をする」)

乾燥フィード中の画面表示

カンソウ チュウ
シハラク オマチクタサイ

2

基本的な使い方

第3章 便利な使い方



この章では ...

本機をより便利に使うための操作方法や、各種設定方法について説明しています。

設定機能一覧表	3-2	言語の設定をする	3-23
ヒーターの設定をする	3-3	メディアケンシュツの設定をする	3-24
ロジカルシークの設定をする	3-4	乾燥フィードの設定をする	3-25
乾燥時間の設定をする	3-5	プリント間の余白を設定する	3-26
マージンの設定をする	3-6	余白部分のフィード方式を設定する	3-27
パス間のシマを軽減する設定をする	3-8	ネットワークの設定をする	3-28
オートクリーニングの設定をする	3-10	イベントメール機能の設定	3-30
ノズル面の清掃頻度を設定する	3-11	設定ロックの設定をする	3-40
その他の設定	3-12	設定した内容を初期状態に戻す	3-42
マシン設定	3-13	装置情報を確認する	3-43
オートパワーオフの設定をする	3-15	装置の使用状況を確認する	3-43
クリダシ&マキトリの設定をする	3-16	装置のバージョン情報を確認する	3-44
メディア残量表示の設定をする	3-17	本機の情報を表示する	3-45
ジコクの設定をする	3-19		
タンイの設定をする	3-20		
キープザーの設定をする	3-21		
使用ヘッドラインを選択する	3-22		

設定機能一覧表

各設定機能の概要と設定値について説明します。

重要!

- 初期値「ホスト」の機能について
RIP ソフトウェアで指定した設定値によって、動作させることができます。
「ホスト」以外に設定した場合、RIP ソフトウェアからの指示によらずその設定値で動作します。
RIP ソフトウェアによっては指示できない機能があります。その場合、「RIP からの指示がない場合」の設定値で動作します。
- RIP ソフトウェアでの指定方法については、RIP ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

機能名称		設定値	初期値	RIP から指示がない場合 ^{*1}	概 要
フィードホセイ (P.2-36)		-9999 ~ 0 ~ 9999	0	————	メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。
ドットイチホセイ (P.2-38)		-40.0 ~ 0 ~ 40.0	0	————	往復プリントにおける、着弾位置の調整を行います。
ヒーター (P.2-28)	LEFT	OFF/ 20 ~ 70 °C (OFF/ 68 ~ 158 °F)	OFF	————	ヒーターの状態を設定します。
	CENTER		OFF	————	
	RIGHT		OFF	————	
ロジカルシーク (P.3-4)		ホスト / ON/OFF	ホスト	ON	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。
カサネヌリ (P.3-12)		ホスト / 1 ~ 9	ホスト	1	インクの重ね塗りを行います。
カンソウジカン (P.3-5)		ホスト / 0.0 ~ 9.9 sec	ホスト	0 sec	スキャン毎のインクの乾燥時間を設定します。
マージン (P.3-6)	ヒダリ	ホスト / -10 ~ 85mm (1mm 単位)	ホスト	0 mm	メディア左右の余白を設定します。
	ミギ	ホスト / -10 ~ 85mm (1mm 単位)	ホスト	0 mm	
リフレッシュ (P.3-12)		ホスト / レベル 0 (リフレッシュ間隔長い) ~ 3 (間隔短い)	ホスト	レベル 3	プリント中に、インクヘッドのリフレッシュを行います。
カンソウファン (P.3-12)		ホスト / ヒョウジュン / ヨワイ / ツヨイ	ホスト	ヒョウジュン	乾燥ファンの強さを設定します。
フィードソクド (P.3-12)		ホスト / 10 ~ 200% ^{*2}	ホスト	100%	プリント中などにメディア送りをする速度を変更します。
MAPS (P.3-8)		OFF/ON	OFF	————	パス間のシマを軽減する設定をします。
	プリントソクド チョウセイ	-50 ~ +50%	0%	————	
オート クリーニング (P.3-10)	OFF、ページ、 キョリ、ジカン		OFF ^{*3}	————	プリント前またはプリント中に行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定します。
	ページ カンカク タイプ	1 ~ 1000 ページ ノーマル / ソフト / ハード	1 ページ ソフト	————	
	キョリ カンカク タイプ	0.1 ~ 100.0m ノーマル / ソフト / ハード	0.5m ソフト	————	
	ジカン カンカク タイプ	10 ~ 120min ノーマル / ソフト / ハード	10min ソフト	————	
				————	
				————	
ティキワイピング (P.3-11)		3 ~ 255 分, OFF	OFF	————	プリント中に行う、ワイピング動作を設定します。
ヘッドギャップ (P.2-26)		1.5 ~ 7.0mm	2.0 mm	————	ヘッド高さを設定します。

*1. 本機のタイプ登録で“ホスト”を設定しているのに、RIP ソフトウェア (ホスト) 側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合、プリント時に使用される設定値です。

*2. 100% 以上に設定した場合、プリント完了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られずに画質に影響する場合があります。

*3. Sb300 充填時のみ初期値が“距離 (20.0mm)、ソフト”になります。

ヒーターの設定をする

ヒーター (LEFT・CENTER・RIGHT) の温度を設定します。



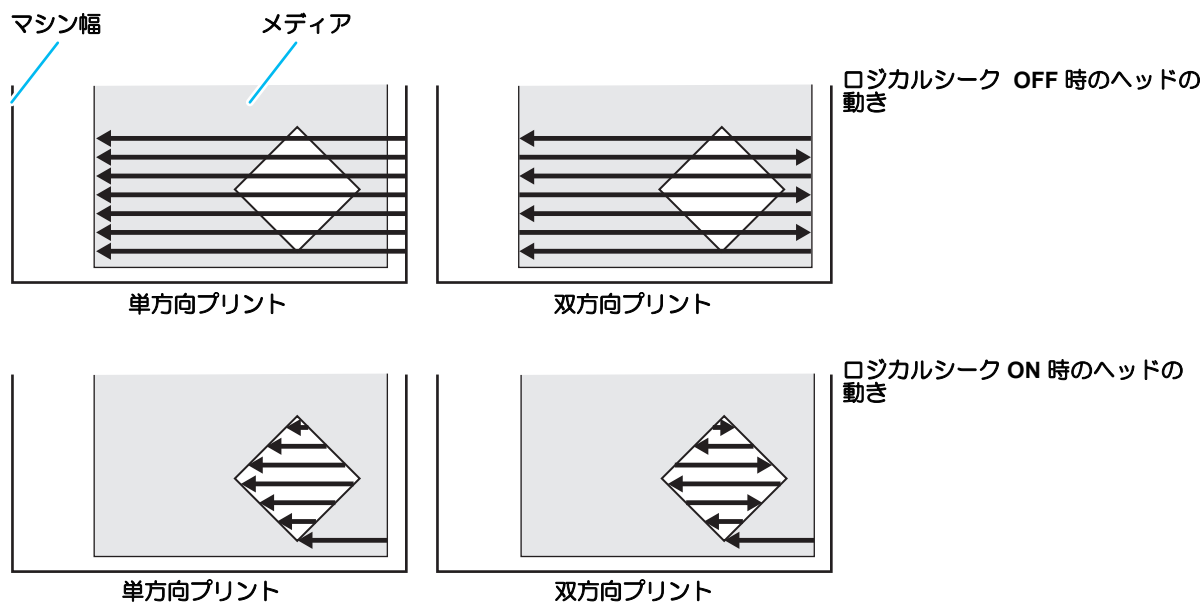
・ヒーター温度は、**HEATER** キーを押して設定することもできます。(P.2-28)

- | | | |
|----|---|-------------------------|
| 1 | ローカルで、 FUNCTION キーを押す | FUNCTION
セッテイ [ENT] |
| 2 | ENTER キーを押す | セッテイ
フィート* ホセイ [ENT] |
| 3 | ▲▼ を押して、[ヒーター]を選ぶ | セッテイ
ヒーター [ENT] |
| 4 | ENTER キーを押す
・LEFT ヒーターの温度設定画面が表示されます。 | LEFT
= OFF |
| 5 | ▲▼ を押して、LEFT ヒーターの設定温度 (20°C ~ 70°C) を選ぶ | LEFT
= 30 °C |
| 6 | ENTER キーを押す
・CENTER ヒーターの温度設定画面が表示されます。 | CENT
= OFF |
| 7 | ▲▼ を押して、CENTER ヒーターの設定温度 (20°C ~ 70°C) を選ぶ | CENT
= 30 °C |
| 8 | ENTER キーを押す
・RIGHT ヒーターの温度設定画面が表示されます。 | RIGHT
= OFF |
| 9 | ▲▼ を押して、RIGHT ヒーターの設定温度 (20°C ~ 70°C) を選ぶ | RIGHT
= 30 °C |
| 10 | ENTER キーを押す
・外部ヒーターの設定画面が表示されます。 | カ*イフ* ヒーター
=OFF |
| 11 | ▲▼ を押して、ON/OFF を選ぶ
・“ON” に設定すると、プリント中に外部ヒーターが点灯します。 | カ*イフ* ヒーター
=ON |
| 12 | ENTER キーを押す | セッテイ
ヒーター [ENT] |
| 13 | 終了するとき、 END キーを数回押す | |

ロジカルシークの設定をする

ロジカルシークの設定により、ヘッドの動作が変わります。

- 重要!** ・ロジカルシークの設定については、RasterLink 側での指定ができません。本機の設定で“ホスト”に設定した場合は、プリント時“ロジカルシーク=ON”の状態ですべてのプリントが実行されます。



1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]

2

ENTER キーを押す

セッテイ
フィード* ホセイ [ENT]

3

▲ **▼** を押して、[ロジカルシーク]を選ぶ

セッテイ
ロジ* カルシーク [ENT]

4

ENTER キーを押す

ロジ* カルシーク
: ホスト

5

▲ **▼** を押して、設定値を選ぶ
・設定値：ホスト / ON/OFF

ロジ* カルシーク
: ON

6

ENTER キーを押す

セッテイ
ロジ* カルシーク [ENT]

7

終了するとき、**END** キーを数回押す

乾燥時間の設定をする

乾燥時間の設定では、スキャン毎のインク乾燥時間を設定します。(双方向プリントの場合は、往路 / 復路のスキャン毎に設定した時間だけ一時停止する)

重要!

- RasterLink 側の設定を優先させたいときは、設定値を“ホスト”にしてください。
- RasterLink では、本機で設定する“スキャン”は“スキャン毎の乾燥時間”と表示しています。

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]

2

ENTER キーを押す

セッテイ
フィート[※] ホセイ [ENT]

3

▲ **▼** を押して、[カンソウジカン] を選ぶ

セッテイ
カンソウ シ[※]カン [ENT]

4

ENTER キーを押す

スキャン
= ホスト

5

▲ **▼** を押して、スキャン時の乾燥時間を設定する

- お使いの RIP で指定している乾燥時間を有効にする場合は“ホスト”を選択してください。
- スキャンの設定値：
ホストまたは 0.0 ～ 9.9 秒

スキャン
= ホスト

6

ENTER キーを押す

セッテイ
カンソウ シ[※]カン [ENT]

7

終了するとき、**END** キーを数回押す

3

便利な使い方

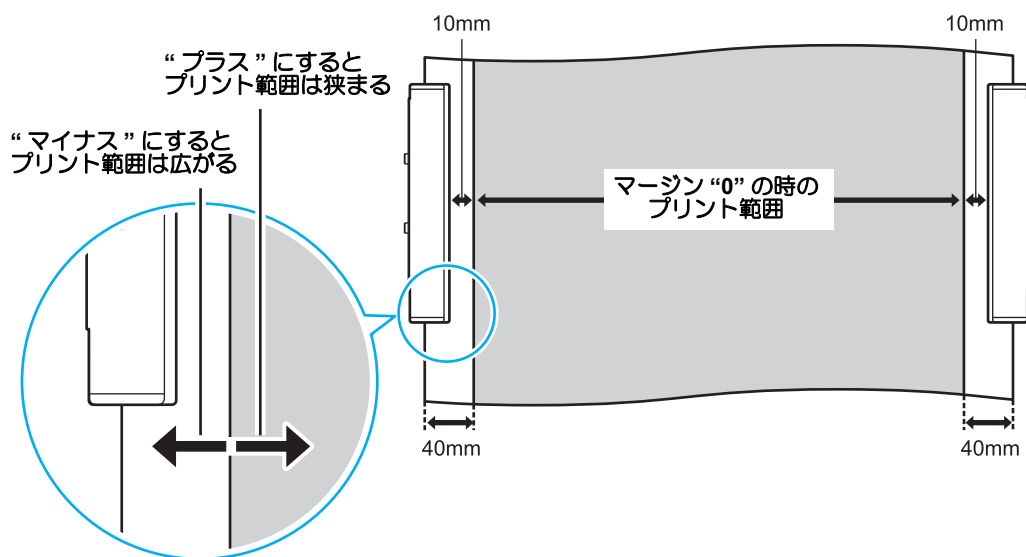
マージンの設定をする

メディアの左右の余白を設定します。

ここでは、標準マージン 15mm に対するオフセット値を設定します。

重要!

- RIP ソフトウェア側の設定を優先させたいときは、設定値を“ホスト”にしてください。
- 付属の RIP ソフトウェア (RasterLink) では、マージンの指定ができません。RasterLink をお使いの場合に本機の設定で“ホスト”にすると、プリント時には左右のマージンのオフセット値 = “0mm” の状態でプリントされます。
- 本機のプリント範囲は、メディアの左右にセットされている布押さえの位置によって、自動検出しています。マージンを設定すると、以下のようにプリント範囲が変更されます。
 - (1) マージンを “0” に設定した場合、検出したプリント範囲がそのままプリント範囲となります。
 - (2) マージンを “マイナス” に設定した場合、検出したプリント範囲よりも設定値分だけ広くなります。
 - (3) マージンを “プラス” に設定した場合、検出したプリント範囲よりも設定値分だけ狭くなります。



1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION

セッテイ

[ENT]

2

ENTER キーを押す

セッテイ

フィート

ホセイ

[ENT]

3

▲ ▼ を押して、[マージン] を選ぶ

セッテイ

マージン

[ENT]

4

ENTER キーを押す

ヒタリ

=

0mm

5

▲ ▼ を押して、左マージンを設定する

- お買い上げ時は“ホスト”(RIP ソフトウェア側の設定を優先) に設定されています。メディア左の余白を本機で設定した値にしたいとき変更してください。

設定値 : ホストまたは -10 ~ 85mm(1mm 単位で設定)

ヒタリ

=

ホスト

6

ENTER キーを押す

ミキ
= 0mm

7

▲ ▼ を押して、右マージンを設定する

- お買い上げ時は“ホスト”(RIP ソフトウェア側の設定を優先)に設定されています。メディア右の余白を本機で設定した値にしたいとき変更してください。

設定値：ホストまたは -10 ～ 85mm(1mm 単位で設定)

ミキ
= ホスト

8

ENTER キーを押す

セッテイ
マージン [ENT]

9

終了するとき、**END** キーを数回押す

パス間のシマを軽減する設定をする

フィード補正 (P.2-34) をしても送りシマが解消できない場合 “MAPS” (Mimaki Advanced PassSystem) を有効にしてください。パスの境界を分散させることにより、送りシマが目立ちにくくなります。
(ファームウェア Ver.1.10 以降に対応)



- MAPS の効果は、プリント速度の設定値で変化します。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。
- プリント速度を上げた場合、プリント時間は短くなりますが、MAPS の効果は弱くなります。
- プリント速度を下げた場合、プリント時間は長くなりますが、MAPS の効果が上がり送りシマが目立ちにくくなります。
- 以下の条件でプリントを行う場合、プリント速度を 0% 以上に設定すると MAPS が無効になり、また 0% の速度でプリントを行います。MAPS を使用したい場合、プリント速度を “マイナス (-)” に設定してください。

4 色時

解像度	パス	スキャン速度
300 x 300	1 pass	標準速
300 x 300 HQ	2 pass	標準速
300 x 450 HQ	3 pass	標準速
600 x 600	2 pass	標準速
	4 pass	高速
600 x 900	3 pass	標準速
	6 pass	高速
600 x 1200	4 pass	標準速
	8 pass	高速

6 色以上時

解像度	パス	スキャン速度
300 x 300	2 pass	標準速
300 x 300 HQ	4 pass	標準速
600 x 450	3 pass	標準速
	6 pass	高速
600 x 600	4 pass	標準速
	8 pass	高速
600 x 900	6 pass	標準速
	12 pass	高速
600 x 1200	8 pass	標準速
	16 pass	高速

1

ローカルで、**(FUNCTION)** キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]

2

(ENTER) キーを押す

セッテイ
フィート* ホセイ [ENT]

3

(▲) **(▼)** を押して、**[MAPS]** を選ぶ

セッテイ
MAPS [ENT]

4

(ENTER) キーを押す

MAPS
: OFF

5

(▲) **(▼)** を押して、**ON/OFF** を設定する

• 設定値 : ON/OFF

MAPS
: ON

6

(ENTER) キーを押す

• OFF を選択した場合、手順 9 へ進みます。

プリント ソクト* チョウセイ
= 0%

7

(▲) **(▼)** を押して、プリント速度を変更する

• 設定値 : -50 ~ +50%

プリント ソクト* チョウセイ
= 10%

重要! • 速度を変更した場合、ノズルリカバリの効果が出ない場合があります。あらかじめ確認を行った上で、使用してください。

8

ENTER キーを押す

セッテイ
MAPS

[ENT]

9

終了するとき、**END** キーを数回押す

オートクリーニングの設定をする

プリント終了後に今までプリントしたファイル数または長さまたは時間をカウントし、クリーニングが必要な場合は自動的にクリーニングを行うよう設定できます。

オートクリーニングの設定は、次の3種類から選択できます。

- ・ ページ : プリントファイル数でクリーニング間隔を設定する
- ・ キョリ : プリントした長さでクリーニング間隔を設定する
- ・ ジカン : プリントした時間でクリーニング間隔を設定する

ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した出力結果を持続することができます。

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]

2

ENTER キーを押す

セッテイ
フィート* ホセイ [ENT]

3

▲▼を押して[オートクリーニング]を選び、
ENTER キーを押す

オート クリーニング*
: OFF

4

▲▼を押して、オートクリーニングの種類を選ぶ

- ・ オートクリーニングの種類には“ページ”、“キョリ”と“ジカン”があります。
ページ: 設定した回数のプリントが終了したら、自動的にヘッドクリーニングを行う
キョリ: 設定した長さを経過したら、自動的にヘッドのクリーニングを行う
ジカン: 設定した時間を通過したら、自動的にヘッドのクリーニングを行う
- ・ オートクリーニングの設定をしない場合は、“OFF”を選んでから手順10へ進んでください。

オート クリーニング*
: キョリ

5

ENTER キーを押す

6

▲▼を押して、クリーニング間隔を設定する

- ・ 手順5で選択したオートクリーニングの種類によって、設定値は異なります。
ページの場合 : 1 ~ 1000 ページ
キョリの場合 : 0.1 ~ 100.0m (0.1m 単位で設定)
ジカンの場合 : 10 ~ 120min (10min 単位で設定)

カンカク
= 10.0m

7

ENTER キーを押す

タイプ°
: ソフト

8

▲▼を押して、クリーニングタイプを設定する

設定値 : ノーマル / ソフト / ハード

タイプ°
: ノーマル

9

ENTER キーを押す

10

終了するとき、**END** キーを数回押す

重要!

- ・ ヘッド等の状態によっては、本機能を実行してもプリント不良が復旧しない場合があります。この場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

ノズル面の清掃頻度を設定する

設定した時間が経過すると、自動的にヘッドのノズル面の清掃を行い、ノズル面に付着したインク滴を取り除きます。

飛行曲がりやノズル抜け、インク滴が落ちるなどの症状が出た場合、動作間隔を短くします。

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	ENTER キーを押す	セッテイ フィート [°] ホセイ [ENT]
3	▲ ▼ を押して、[ティキ ワイピング] を選ぶ	セッテイ ティキ ワイピ [°] ンク [°] [ENT]
4	ENTER キーを押す	ティキ ワイピ [°] ンク [°] :OFF
5	▲ ▼ を押して、動作間隔を設定する ・設定値：3～255 分，OFF ・[OFF] にすると、定期ワイピングを行いません。	ティキ ワイピ [°] ンク [°] :OFF
6	ENTER キーを押す	セッテイ ティキ ワイピ [°] ンク [°] [ENT]
7	終了するとき、 END キーを数回押す	

その他の設定

使い方に合わせて設定を変えてください。

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ

[ENT]

2

ENTER キーを押す

セッテイ

フィート* ホセイ

[ENT]

3

▲ **▼** を押して設定する項目を選ぶ

・P.3-2「設定機能一覧表」を参照して選んでください。

4

ENTER キーを押す

5

▲ **▼** を押して設定値を選ぶ

・P.3-2「設定機能一覧表」を参照して選んでください。

6

ENTER キーを押す

7

終了するとき、**END** キーを数回押す

重要!

・設定した値は、電源を“OFF”にしても保持しています。

マシン設定

本装置を快適に使用するための各種設定です。
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。

項 目		設定値	初期値	内 容
オートパワーオフ (P.3-15)		ナシ /10 ~ 600min	ナシ	設定した時間、操作がない場合、自動で電源を“OFF”にします。
クリダシ& マキトリ (P.3-16)	クリダシ	ON / OFF	OFF	巻取装置と繰出装置の使用 / 不使用を設定します。リーフメディアにプリントするときや、巻取装置のみ使いたいときなどに、クリダシとマキトリそれぞれの設定を行ってください。
	マキトリ	ON / OFF	OFF	
メディアザンリョウ (P.3-17)		ON / OFF	OFF	メディアの残量を管理することができます。
ジコクセッテイ (P.3-19)		+4h ~ -20h	日本時間	現在の日付と時刻を設定します。
タンイ (P.3-20)	温度	°C (摂氏) / °F (華氏)	°C	温度の表示単位を設定します。
	長さ	mm / inch	mm	長さ、面積の表示単位を設定します。
キープザー (P.3-21)		ON / OFF	ON	キーを押したときのブザー音を設定します。
ヘッドセンタク (P.3-22)		ALL HEAD line 1 HEAD line 2 HEAD line 3 HEAD line 1&2 HEAD line 2&3	ALL	ノズル詰まりなどのトラブルが解消しない場合、トラブルが発生していないヘッドのみを使用してプリントすることができます。
メディア ケンシュツ (P.3-24)	アツサ ケンシュツ	AUTO/MANUAL	AUTO	メディアをセットしたときに任意のメディア厚さを入力したいときや、メディア厚さセンサーに問題があるとき“MANUAL”に設定します。
	ハバ ケンシュツ	AUTO/MANUAL	AUTO	メディアをセットしたときに任意のメディア幅を入力したいときや、メディア幅センサーに問題があるとき“MANUAL”に設定します。
カンソウ フィード (P.3-25)		OFF/100 ~ 1000mm	OFF	プリントデータの後端まで均一に乾燥させるために、プリント完了後にフィードする長さを設定します。
	バック フィード	ON/OFF	ON	
ページカンヨハク (P.3-26)		OFF/10 ~ 500mm	OFF	プリント間の余白量を設定します。
ヨハクフィードハウシキ (P.3-27)		カンケツ / レンゾク	カンケツ	画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変更します。
ネット ワーク & メール	ネットワーク (P.3-28)	ネットワークの設定をします。		
		IP アドレス	現在、本装置が使用中の IP アドレスを表示します。	
		MAC アドレス	現在、本装置が使用中の MAC アドレスを表示します。	
		DHCP	オン / オフ	オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。
		AutoIP	オン / オフ	オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。
		IP アドレス*1	本装置が使用する IP アドレスを設定します。	
		デフォルト ゲート ウェイ*1	本装置が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。	
		DNS アドレス*1	本装置が使用する DNS サーバーのアドレスを設定します。	
		サブネット マスク*1	本装置が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。	

項 目			設定値		初期値	内 容
ネット ワーク & メール	イベント メール (🔧 P.3-30)	メール ソウシン	オン / オフ		オフ	設定したイベントが起こった際に、メール を送信する機能を設定します。
		ソウシン イベント センタク	プリントスタート イベント	オン / オフ	オフ	プリント開始時にメールを送信する / しない を設定します。
			プリントエンド イベント	オン / オフ	オフ	プリント終了時にメールを送信する / しない を設定します。
			エラーイベント	オン / オフ	オフ	エラー発生時にメールを送信する / しないを 設定します。
			ワーニング イベント	オン / オフ	オフ	ワーニング発生時にメールを送信する / しない を設定します。
			ソノタイイベント	オン / オフ	オフ	上記以外のイベント発生時にメールを送信 する / しないを設定します。
		メール アドレス	イベントメールを送信する メールアドレスを設定しま す。		英数字、記号（96 文字）	
		ケンメイ	イベントメールの件名に記 載する文字を設定します。		英数字、記号（8 文字）	
		サーバー セッテイ	SMTP アドレス		SMTP サーバーを設定します。	
			SMTP ポート No.		SMTP のポート番号を設定します。	
			ソウシンモト メールアドレス		メールの送信元として使用するメールアドレスを設 定します。	
			ニンショウウホウ シキ	POP before SMTP	SMTP サーバーの認証方式を設定します。	
				SMTP Auth		
				オフ		
			ユーザーメイ *2		認証に使用するユーザー名を設定します。	
			パスワード *2		認証に使用するパスワードを設定します。	
		POP3 アドレス *3		POP サーバーを設定します。		
		APOP *3		APOP の ON/OFF を設定します。		
	テスト メール ソウシン	テストメールの送信を実行します。				
	セッテイ ロック (🔧 P.3-40)	ロック (パスワード 未設定時)	0000 ～ 9999		0000	ネットワーク、メール設定を管理者以外が できないよう、任意に 4 桁のパスワードが 設定できます。
カイジョ (パスワード 設定時)						
LANGUAGE (🔧 P.3-23)			English ニホンゴ Deutsch Français Español Italiano Português		English	表示言語を変更します。
リセット (🔧 P.3-42)						すべての設定項目を初期値に戻します。

*1. [DHCP]、[AutoIP] が両方オフの場合のみ設定可能

*2. [ニンショウハウシキ] がオフでない場合のみ設定可能

*3. [ニンショウハウシキ] が POP before SMTP の場合のみ設定可能

オートパワーオフの設定をする

設定した時間、操作がない場合、自動で電源を“OFF”にします。

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]

2

▲ **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

3

ENTER キーを 2 回押す

オート パワーオフ
= 30min

4

▲ **▼** を押して、電源をオフにする時間を設定する

・設定値：ナシ，10 ～ 600 min

オート パワーオフ
= 60min

5

ENTER キーを押す

マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]

6

終了するとき、**END** キーを数回押す

重要!

・オートパワーオフした状態でパソコンからデータを受信すると電源オンしますが、自動でプリントを開始しません。

3

便利な使い方

クリダシ&マキトリの設定をする

巻取装置と繰出装置の使用 / 不使用を設定します。リーフメディアにプリントするときや、巻取装置のみ使いたいときなどに、クリダシとマキトリそれぞれの設定を行ってください。

- | | | |
|----|--|-----------------------------|
| 1 | ローカルで、 FUNCTION キーを押す | FUNCTION
セッテイ [ENT] |
| 2 | ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ | FUNCTION
マシン セッテイ [ENT] |
| 3 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT] |
| 4 | ▲ ▼ を押して、[クリダシ&マキトリ] を選ぶ | マシン セッテイ
クリダシ&マキトリ [ENT] |
| 5 | ENTER キーを押す | クリダシ
: OFF |
| 6 | ▲ ▼ を押して、ON/OFF を選ぶ | クリダシ
: ON |
| 7 | ENTER キーを押す | マキトリ
: OFF |
| 8 | ▲ ▼ を押して、ON/OFF を選ぶ | マキトリ
: ON |
| 9 | ENTER キーを押す | |
| 10 | 終了するとき、 END キーを数回押す | |

メディア残量表示の設定をする

メディア残量表示の設定をします。

メディア残量表示を ON にすると	リモートでメディア残量が表示されます。 (ただし、リーフメディアを使用した場合は、プリント長を表示します。)
メディア残量表示を OFF にすると	リモートでメディア残量は表示されません。



- プリント、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。
- メディア長 (残量初期値) はロールメディア検出時に入力します。(P.2-19)
- ここで行う設定は、設定終了後にメディア検出を行わないと有効になりません。

1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]

2 **▲** **▼** を押して、**[マシンセッテイ]** を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

3 **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]

4 **▲** **▼** を押して、**[メディアザンリョウ]** を選ぶ

マシン セッテイ
メディア サンリョウ [ENT]

5 **ENTER** キーを押す

メディア サンリョウ
: OFF

6 **▲** **▼** を押して、**ON/OFF** を選ぶ

メディア サンリョウ
: ON

7 **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ
メディア サンリョウ [ENT]

8 終了するとき、**END** キーを数回押す

メディア残量をプリントする

現在のメディア残量をプリントすることができます。



- メディア残量表示の設定を“ON”にしてください。
- メディア交換時には、今現在お使いのメディアに残量をプリントしておくことをお勧めします。あらかじめメディア残量をプリントしておくことで、交換したメディアを再度使うとき、メディア検出後のメディア残量入力画面 (P.2-19) で正確な数値を入力できます。

1

ローカルで、 を押す

- 原点設定モードになります。

ケンテン セッテイ
0.0 —

2

を押して、原点を変更したい位置へ合わせる

- でキャリッジとメディアを移動させて選びます。
- 原点を変更しない場合は、 を押さずに手順3へ進んでください。

- ここで **ENTER** キーを押すと、原点が変更されローカルに戻ります。

ケンテン セッテイ

原点位置 原点位置
(長さ) (幅)

3

REMOTE キーを押す

- を押すと、手順2の画面に戻ります。
- **END** キーを押すと、ローカルに戻ります。

メディア サンリョウ プリント
[ENT]

4

ENTER キーを押す

- メディア残量のプリントを開始します。
- プリントが終わると、ローカルに戻ります。

重要!

- 原点を変更してプリントすると、以降のデータのプリントをするときもここで設定した原点が有効になります。

ジコクの設定をする

お使いの国に合わせた時刻（時差）に設定することができます。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]
- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]
- 3 **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]
- 4 **▲** **▼** を押して、[ジコクセッテイ] を選ぶ

マシン セッテイ
ジコクセッテイ [ENT]
- 5 **ENTER** キーを押す

ジコクセッテイ
2012.10.05 21:30:00
- 6 **▲** **▼** **◀** **▶** を押して、時刻を入力する
 年月日時分の選択 : **◀** **▶** で選ぶ
 年月日時分の入力 : **▲** **▼** で入力
- 7 **ENTER** キーを押す
 ・入力した時刻が表示されます。

ジコクセッテイ
2012.10.05 15:30:00
- 8 終了するとき、**END** キーを数回押す



・ -20 ~ +4 時間の間で、設定できます。

タンイの設定をする

本装置で使用する単位を設定します。

- | | | |
|----|--|-----------------------------|
| 1 | ローカルで、 FUNCTION キーを押す | FUNCTION
セッテイ [ENT] |
| 2 | ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ | FUNCTION
マシン セッテイ [ENT] |
| 3 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT] |
| 4 | ▲ ▼ を押して、[タンイ] を選ぶ | マシン セッテイ
タンイ [ENT] |
| 5 | ENTER キーを押す | オート
: °C |
| 6 | ▲ ▼ を押して、温度の単位を選ぶ
・設定値: °C/°F | |
| 7 | ENTER キーを押す | ナカ`サ
: mm |
| 8 | ▲ ▼ を押して、長さの単位を選ぶ
・設定値: mm/inch | |
| 9 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
タンイ [ENT] |
| 10 | 終了するとき、 END キーを数回押す | |

キープザーの設定をする

キーを押したときのブザー音を消すことができます。

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]

2

▲ **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

3

ENTER キーを押す

マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]

4

▲ **▼** を押して、[キープザー] を選ぶ

マシン セッテイ
キー ブザー [ENT]

5

ENTER キーを押す

キー ブザー
:ON

6

▲ **▼** を押して、ON/OFF を選ぶ

キー ブザー
:OFF

7

ENTER キーを押す

マシン セッテイ
キー ブザー [ENT]

8

終了するとき、**END** キーを数回押す



- 設定を "OFF" にしても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。

使用ヘッドラインを選択する

ノズル詰まりなどのトラブルが解消しない場合、トラブルが発生していないヘッドを使用してプリントすることができます。

- | | | |
|---|--|-----------------------------|
| 1 | ローカルで、 FUNCTION キーを押す | FUNCTION
セッテイ [ENT] |
| 2 | ▲ ▼ を押して、 [マシンセッテイ] を選ぶ | FUNCTION
マシン セッテイ [ENT] |
| 3 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT] |
| 4 | ▲ ▼ を押して、 [ヘッドセンタク] を選ぶ | マシン セッテイ
ヘッド* センタク [ENT] |
| 5 | ENTER キーを押す | ヘッド* センタク
: ALL |
| 6 | ▲ ▼ を押して、使用するヘッドを選ぶ
設定値 : ALL/ HEAD line 1/ HEAD line 2/ HEAD line 3/
HEAD line 1&2/ HEAD line 2&3 | ヘッド* センタク
: HEAD line 1 |
| 7 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
ヘッド* センタク [ENT] |
| 8 | 終了するとき、 END キーを数回押す | |

言語の設定をする

表示言語を変更します。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
セッテイ [ENT]
- 2 **▲▼**を押して、**[マシンセッテイ]**を選ぶ
FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]
- 3 **ENTER** キーを押す
マシン セッテイ
オート ハ°ワーオフ [ENT]
- 4 **▲▼**を押して、**[LANGUAGE]**を選ぶ
マシン セッテイ
LANGUAGE [ENT]
- 5 **ENTER** キーを押す
LANGUAGE
:English
- 6 **▲▼**を押して、言語を選ぶ
LANGUAGE
:ニホンコ*
・設定値：ニホンゴ / English / Deutsch / Français / Español /
Italiano / Português
- 7 **ENTER** キーを押す
マシン セッテイ
LANGUAGE [ENT]
- 8 終了するとき、**END** キーを数回押す

メディアケンシュツの設定をする

メディアをセットしたときに任意のメディア幅を入力したいときや、メディア幅センサーに問題があるとき“MANUAL”に設定します。

- | | | |
|---|--|------------------------------|
| 1 | ローカルで、 FUNCTION キーを押す | FUNCTION
セッテイ [ENT] |
| 2 | ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ | FUNCTION
マシン セッテイ [ENT] |
| 3 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT] |
| 4 | ▲ ▼ を押して、[メディアケンシュツ] を選ぶ | マシン セッテイ
メディア ケンシュツ [ENT] |
| 5 | ENTER キーを押す | ハバ ケンシュツ
: AUTO |
| 6 | ▲ ▼ を押して、“AUTO” または “MANUAL” を選ぶ | ハバ ケンシュツ
: MANUAL |
| 7 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
メディア ケンシュツ [ENT] |
| 8 | 終了するとき、 END キーを数回押す | |

乾燥フィードの設定をする

プリントデータの後端まで均一に乾燥させるために、プリント完了後にフィードする長さを設定します。
お使いの外部ヒーターの位置に合わせ、データ後端が外部ヒーターを通過する位置までフィードするように設定してください。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
セッテイ [ENT]
- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ
FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]
- 3 **ENTER** キーを押す
マシン セッテイ
オート ハ°ワーオフ [ENT]
- 4 **▲** **▼** を押して、[カンソウフィード] を選ぶ
マシン セッテイ
カンソウ フィード° [ENT]
- 5 **ENTER** キーを押す
カンソウ フィード°
= 300mm
- 6 **▲** **▼** を押して、フィードする長さを選ぶ
・設定値：OFF/100 ～ 1000mm
カンソウ フィード°
= 600mm
- 7 **ENTER** キーを押す
ハ°ック フィード°
: ON
- 8 **▲** **▼** を押して、乾燥フィード後にバックフィード
をするか設定する
・設定値：ON/OFF
ハ°ック フィード°
: OFF
- 9 **ENTER** キーを押す
マシン セッテイ
カンソウ フィード° [ENT]
- 10 終了するとき、**END** キーを数回押す

プリント間の余白を設定する

プリント間の余白量を設定します。

- | | | |
|---|--|-----------------------------|
| 1 | ローカルで、 FUNCTION キーを押す | FUNCTION
セッテイ [ENT] |
| 2 | ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ | FUNCTION
マシン セッテイ [ENT] |
| 3 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT] |
| 4 | ▲ ▼ を押して、[ページカンヨハク] を選ぶ | マシン セッテイ
ページカンヨハク [ENT] |
| 5 | ENTER キーを押す | ページカンヨハク
= OFF |
| 6 | ▲ ▼ を押して、余白量を設定する
・設定値：OFF/10 ～ 500mm | ページカンヨハク
= 100mm |
| 7 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
ページカンヨハク [ENT] |
| 8 | 終了するとき、 END キーを数回押す | |

重要！

余白量を詰める方向へ設定した場合、プリント終了時にバックフィード動作を行います。
その場合、以下の点に注意してください。

- 装置背面の繰出装置を使用しないでロールホルダーにメディアをセットする場合、バックフィードにより次のプリントを行う際のメディアテンションが変動し、プリントする画像の前端部だけメディアの送り量が変わる場合があります。このようなときは、手でメディアを巻き戻してください。
- マシン設定の「乾燥フィード」(P.3-25) で、乾燥フィード後のバックフィードが“OFF”に設定されている場合、本機能は無効となります。
- プリントするデータに既に余白がついている場合、本機能を使うと、「データについている余白 + 本機で設定した余白量」が余白として出力されます。

余白部分のフィード方式を設定する

画像データに含まれる余白部分（プリントするデータの無い部分）のフィード方式を変更します。余白部分の多いデータをプリントする場合、“連続”に設定することで、プリント時間を短縮することができます。

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION セッテイ	[ENT]
------------------	-------

2


 を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ

FUNCTION マシン セッテイ	[ENT]
----------------------	-------

3

ENTER キーを押す

マシン セッテイ オート パワーオフ	[ENT]
-----------------------	-------

4


 を押して、[ヨハクフィードハウシキ]を選ぶ

マシン セッテイ ヨハク フィード`ハウシキ	[ENT]
---------------------------	-------

5

ENTER キーを押す

ヨハク フィード`ハウシキ =	カンケツ
--------------------	------

6


 を押して、フィード方式を設定する

カンケツ : パス分割単位での間欠フィード動作を行う
 レンゾク : データがない部分を一度にフィードする

ヨハク フィード`ハウシキ =	レンゾク
--------------------	------

7

ENTER キーを押す

マシン セッテイ ページ`カン ヨハク	[ENT]
------------------------	-------

8

終了するとき、**END** キーを数回押す

3

便利な使い方

ネットワークの設定をする

ネットワークの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を行うツール「Network Configurator」でも行うことができます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリングダウンロードページ (<http://www.mimaki.co.jp/download>) より“ドライバ/ユーティリティ”をチェックしてダウンロードしてください。

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	▲ ▼ を押して、 [マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ [ENT]
3	ENTER キーを押す	マシン セッテイ オート パワーオフ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、 [ネットワーク & メール] を選ぶ	マシン セッテイ ネットワーク & メール [ENT]
5	ENTER キーを 2 回押す	ネットワーク IP アドレス カクニン [ENT]
6	ENTER キーを押す ・現在、本装置が使用中の IP アドレスを表示します。  ・ネットワークに接続後、IP アドレスが確定するまで時間がかかります。 IP アドレス未確定の場合、「0.0.0.0」と表示します。	IP アドレス カクニン 10.16.168.235
7	ENTER キーを押す	ネットワーク IP アドレス カクニン [ENT]
8	▲ ▼ を押して、 [MAC アドレスカクニン] を選ぶ	ネットワーク MAC アドレス カクニン [ENT]
9	ENTER キーを押す ・現在、本装置が使用中の MAC アドレスを表示します。	MAC アドレス カクニン 00:0d:1b:00:00:00
10	ENTER キーを押す	ネットワーク MAC アドレス カクニン [ENT]
11	▲ ▼ を押して、 [DHCP] を選ぶ	ネットワーク DHCP [ENT]

12

ENTER キーを押す

- **▲** **▼** を押して、オン / オフを設定します。
- オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。

DHCP
: ON

13

ENTER キーを押すネットワーク
DHCP [ENT]

14

▲ **▼** を押して、[AutoIP] を選ぶネットワーク
AutoIP [ENT]

15

ENTER キーを押す

- **▲** **▼** を押して、オン / オフを設定します。
- オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。

AutoIP
: ON

16

ENTER キーを押すネットワーク
AutoIP [ENT]

17

▲ **▼** を押して次の各項目を選択する

- DHCP、AutoIP が両方オフの場合、IP アドレス / デフォルトゲートウェイ / DNS アドレス / サブネットマスクの設定ができます。それ以外の場合、手順 21 へ進みます。

18

ENTER キーを押す

19

▲ **▼** **◀** **▶** を押して設定する

20

ENTER キーを押して、設定値を確定する

21

終了するとき、**END** キーを数回押す

- ネットワークの設定を反映するには、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。

イベントメール機能の設定

プリントの開始 / 終了や、エラーによる中断などのイベントが発生した際に、設定したメールアドレスにメールを送信する機能を設定します。

イベントメールの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を行うツール「Network Configurator」でも行うことができます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリングのダウンロードページ(<http://www.mimaki.co.jp/download>) より “ドライバ / ユーティリティ” をチェックしてダウンロードしてください。

免責事項

- ・メール通知その他、インターネットの通信が発生した場合の通信費用は、お客様負担となります。
- ・イベントメール機能による通知は、インターネット環境や機器の故障、電源の故障などの要因により、不達となることがあります。不達や遅延があった場合などに置いて発生した損害について、当社では責任を負いかねます。

- 重要!**
- ・ イベントメール機能は本機を LAN 接続することによって使用できます。あらかじめ LAN ケーブルの接続をしておいてください。
 - ・ SSL 通信には対応していません。

イベントメール機能を有効にする

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	▲ ▼ を押して、 [マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ [ENT]
3	ENTER キーを押す	マシン セッテイ オート パワーオフ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、 [ネットワーク & メール] を選ぶ	マシン セッテイ ネットワーク & メール [ENT]
5	ENTER キーを押す	ネットワーク & メール ネットワーク [ENT]
6	▲ ▼ を押して、 [イベントメール] を選ぶ	ネットワーク & メール イベント メール [ENT]
7	ENTER キーを押す	イベント メール メール ソウシン [ENT]
8	ENTER キーを押す	メール ソウシン : オフ

9 ▲▼を押して、“オン”を選ぶ

メール ソウシン
: オン

10 ENTER キーを押す

イベント メール
メール ソウシン [ENT]

11 終了するとき、END キーを数回押す

イベントメールを送るイベントを設定する

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]

2 ▲▼を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

3 ENTER キーを押す

マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT]

4 ▲▼を押して、[ネットワーク & メール]を選ぶ

マシン セッテイ
ネットワーク & メール [ENT]

5 ENTER キーを押す

ネットワーク & メール
ネットワーク [ENT]

6 ▲▼を押して、[イベントメール]を選ぶ

ネットワーク & メール
イベント メール [ENT]

7 ENTER キーを押す

イベント メール
メール ソウシン [ENT]

8 ▲▼を押して[ソウシンイベントセンタク]を選択する

イベント メール
ソウシン イベント センタク [ENT]

9 ENTER キーを押す

プリントスタート イベント
: オフ

- ・プリント開始時にメールを送信する/しないを設定します。
- ・▲▼を押して、オン/オフを設定します。

10

[ENTER] キーを押す

- ・プリント終了時にメールを送信する / しないを設定します。
- ・  を押して、オン / オフを設定します。

フ° リントエント° イベント
: オフ

11

[ENTER] キーを押す

- ・エラー発生によるプリント中断時にメールを送信する / しないを設定します。
- ・  を押して、オン / オフを設定します。

エラー イベント
: オフ

12

[ENTER] キーを押す

- ・プリント中のワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定します。
- ・  を押して、オン / オフを設定します。

ワーニング° イベント
: オフ

13

[ENTER] キーを押す

- ・上記以外のイベント発生時にメールを送信する / しないを設定します。
- ・  を押して、オン / オフを設定します。

ソノタ イベント
: オフ

14

[ENTER] キーを押す

イベント メール
ソウシン イベント センタク[ENT]

15

終了するとき、[END] キーを数回押す

メールアドレスを設定する

1

ローカルで、[FUNCTION] キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]

2

  を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

3

[ENTER] キーを押す

マシン セッテイ
オート パ° ワーオフ [ENT]

4

  を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ

マシン セッテイ
ネットワーク & メール [ENT]

5

[ENTER] キーを押す

ネットワーク & メール	[ENT]
ネットワーク	

6

[▲][▼]を押して、[イベントメール]を選ぶ

ネットワーク & メール	[ENT]
イベント メール	

7

[ENTER] キーを押す

イベント メール	[ENT]
メール ソウシン	

8

[▲][▼]を押して[メールアドレス]を選ぶ

イベント メール	[ENT]
メール アドレス	

9

[ENTER] キーを押す

メール アドレス

10

[▲][▼][◀][▶]を押してアドレスを設定する

- ・イベントメールを送信するメールアドレスを設定します。
- ・英数字、記号、96文字以内で設定します。

11

[ENTER] キーを押す

イベント メール	[ENT]
メール アドレス	

12

終了するとき、[END] キーを数回押す

件名を設定する

- | | | |
|----|--|--------------------------------|
| 1 | ローカルで、 FUNCTION キーを押す | FUNCTION
セッテイ [ENT] |
| 2 | ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ | FUNCTION
マシン セッテイ [ENT] |
| 3 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
オート パワーオフ [ENT] |
| 4 | ▲ ▼ を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ | マシン セッテイ
ネットワーク & メール [ENT] |
| 5 | ENTER キーを押す | ネットワーク & メール
ネットワーク [ENT] |
| 6 | ▲ ▼ を押して、[イベントメール] を選ぶ | ネットワーク & メール
イベント メール [ENT] |
| 7 | ENTER キーを押す | イベント メール
メール ソウシン [ENT] |
| 8 | ▲ ▼ を押して [ケンメイ] を選択する | イベント メール
ケンメイ [ENT] |
| 9 | ENTER キーを押す | ケンメイ
TS500-#1 [ENT] |
| 10 | ▲ ▼ ◀ ▶ を押して件名を設定する
・イベントメールの件名に記載する文字を設定します。
・英数字、記号、8文字以内で設定します。 | |
| 11 | ENTER キーを押す | イベント メール
ケンメイ [ENT] |
| 12 | 終了するとき、 END キーを数回押す | |

サーバーを設定する

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ [ENT]
3	ENTER キーを押す	マシン セッテイ オート パワーオフ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ	マシン セッテイ ネットワーク & メール [ENT]
5	ENTER キーを押す	ネットワーク & メール ネットワーク [ENT]
6	▲ ▼ を押して、[イベントメール] を選ぶ	ネットワーク & メール イベント メール [ENT]
7	ENTER キーを押す	イベント メール メール ソウシン [ENT]
8	▲ ▼ を押して [サーバー セッテイ] を選択する	イベント メール サーバー セッテイ [ENT]
9	ENTER キーを押す	サーバー セッテイ SMTP アドレス [ENT]
10	ENTER キーを押す ・ ▲ ▼ ◀ ▶ を押して、SMTP サーバーを設定します。 ・ SMTP サーバー名を入力してください。	SMTP アドレス
11	ENTER キーを押す	サーバー セッテイ SMTP アドレス [ENT]
12	▲ ▼ を押して [SMTP ポート] を選択する	サーバー セッテイ SMTP ポート [ENT]
13	ENTER キーを押す	SMTP ポート No. : 25 [ENT]

14

▲▼を押して[SMTP ポート]を設定する

- SMTP のポート番号を設定します。

15

ENTER キーを押す

サーバー セッテイ
SMTP ポート [ENT]

16

▲▼を押して[ニンショウ ホウシキ]を選択する

サーバー セッテイ
ニンショウ ホウシキ [ENT]

17

ENTER キーを押す

サーバー セッテイ
: POP before SMTP

18

▲▼を押して認証方式を設定する

- SMTP サーバーの認証方式を設定します。
- [オフ]を選択した場合、手順 32 に進みます。

サーバー セッテイ
: POP before SMTP

19

ENTER キーを押す

サーバー セッテイ
ニンショウ ホウシキ [ENT]

20

▲▼を押して[ソウシンモトメールアドレス]を選択する

サーバー セッテイ
ソウシンモト メールアドレス[ENT]

21

ENTER キーを押す

- ▲▼◀▶を押して、送信元メールアドレスとして使用するアドレスを設定します。
- 英数字、記号、64 文字以内で設定します。



- 使用するサーバーによっては、アカウントに対応したメールアドレスを設定しないとメールを送信できない場合があります。

ソウシンモト メールアドレス

22

ENTER キーを押す

サーバー セッテイ
ソウシンモト メールアドレス[ENT]

23

▲▼を押して[ユーザーメイ]を選択する

サーバー セッテイ
ユーザー メイ [ENT]

24

ENTER キーを押す

- ▲▼◀▶を押して、認証に使用するユーザー名を設定します。
- 英数字、記号、30 文字以内で設定します。

ユーザー メイ

25

ENTER キーを押す

サーバー セッテイ
ユーザー メイ [ENT]

26   を押して [パスワード] を選択する

サーバー セッテイ
パスワード [ENT]

27  キーを押す

-     を押して、認証に使用するパスワードを設定します。
- 英数字、記号、15 文字以内で設定します。



- パスワードの設定画面では、現在入力中の値のみ確認が可能です。

パスワード

28  キーを押す

- 手順 16 で [POP before SMTP] を選択した場合、手順 27 ～ 31 を設定します。

サーバー セッテイ
パスワード [ENT]

29   を押して [POP3 アドレス] を選択する

サーバー セッテイ
POP3 アドレス [ENT]

30  キーを押す

-     を押して、POP サーバーを設定します。
- POP サーバー名を入力してください。

POP3 アドレス

31  キーを押す

サーバー セッテイ
POP3 アドレス [ENT]

32   を押して [APOP] を選択する

サーバー セッテイ
APOP [ENT]

33  キーを押す

-   を押して、APOP のオン / オフを設定します。

APOP
: オン

34  キーを押す

サーバー セッテイ
APOP [ENT]

35 終了するとき、 キーを数回押す

テストメールを送信する

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ [ENT]
3	ENTER キーを押す	マシン セッテイ オート パワーオフ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ	マシン セッテイ ネットワーク & メール [ENT]
5	ENTER キーを押す	ネットワーク & メール ネットワーク [ENT]
6	▲ ▼ を押して、[イベントメール] を選ぶ	ネットワーク & メール イベント メール [ENT]
7	ENTER キーを押す	イベント メール メール ソウシン [ENT]
8	▲ ▼ を押して [テストメールソウシン] を選択する	イベント メール テストメール ソウシン [ENT]
9	ENTER キーを押す	テストメール ソウシン シッコウ :ent
10	ENTER キーを押す	テストメール ソウシン カンリョウ
	- 送信結果を表示します。 - テストメールの送信に失敗した場合、エラーコードを表示します。次ページを参照し、対処してください。	テストメール ソウシン シッパ°イ : 12345 :ent エラーコード
11	終了するとき、 END キーを数回押す	

重要!

- テストメールの送信結果は、本装置がメールサーバーに対して行ったメール送信処理の結果です。メールが宛先に届いたことを示すものではありません。
- メールを受信する端末側で迷惑メールフィルタなどを設定している場合、「ソウシンカンリョウ」となってもメールが届かない場合があります。
- テストメールの送信に失敗した場合、以下のエラーコードを表示します。
- エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してみてください。
- サーバーの設定等については、ネットワーク管理者またはプロバイダにご相談ください。

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワーク接続エラー	• 装置がネットワークに接続されていることを確認してください。 • 装置の IP アドレスが正しいことを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません	• 正しいメールアドレスを入力してください。
11003 11004	POP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません	• POP サーバーのアドレスを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
11021	POP サーバーに接続できません	• POP サーバーの設定を確認してください。 • ファイアーウォールの設定を確認してください。
12010	POP サーバーからエラーが返答されました	• POP サーバーの設定を確認してください。
13000	POP 認証に失敗しました	• ユーザー名とパスワードを確認してください。 • APOP の設定を確認してください。 • 認証方式を確認してください。
10013 10014	SMTP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません。	• SMTP サーバーのアドレスを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
10021	SMTP サーバーに接続できません	• SMTP サーバーの設定を確認してください。 • SMTP ポート番号を確認してください。 • ファイアーウォールの設定を確認してください。
10*** 11*** 20*** 21***	SMTP サーバーからエラーが返答されました	• SMTP サーバーの設定を確認してください。 • SSL 通信が必須のサーバーとは通信できません。 • プロトコルフィルターの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです	• ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
13***	メールの宛先が見つかりません	• メールアドレスを確認してください。 • メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。
22000 22008	SMTP 認証エラー	• 認証方式を確認してください。
23*** 24*** 25***	SMTP 認証に失敗しました	• ユーザー名とパスワードを確認してください。

“***” はメールサーバーから返答されたエラーコード

設定ロックの設定をする

ネットワーク、メール設定を管理者以外ができないよう、任意に4桁のパスワードが設定できます。

ネットワーク、イベントメール機能のパスワードを設定する

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ [ENT]
3	ENTER キーを押す	マシン セッテイ オート パワーオフ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ	マシン セッテイ ネットワーク & メール [ENT]
5	ENTER キーを押す	ネットワーク & メール ネットワーク [ENT]
6	▲ ▼ を押して、[セッテイロック] を選ぶ	ネットワーク & メール セッテイ ロック [ENT]
7	ENTER キーを押す	セッテイ ロック ロック : 0000
8	任意のパスワード(4桁)を設定し、 ENTER キーを押す ・設定開始通知を一定時間表示します。	セッテイ ロック ロック カイン : ????
9	終了するとき、 END キーを数回押す	

ネットワーク、イベントメール機能のパスワードを解除する

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
セッテイ [ENT]
- 2 **▲▼**を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ
FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]
- 3 **ENTER** キーを押す
マシン セッテイ
オート ハ°ワーオフ [ENT]
- 4 **▲▼**を押して、[ネットワーク & メール]を選ぶ
マシン セッテイ
ネットワーク & メール [ENT]
- 5 **ENTER** キーを押す
ネットワーク & メール
ネットワーク [ENT]
- 6 **▲▼**を押して、[セッテイロック]を選ぶ
ネットワーク & メール
セッテイ ロック [ENT]
- 7 **ENTER** キーを押す
セッテイ ロック
カイシ°ヨ :*****
- 8 4桁のパスワードを入力し、**ENTER** キーを押す
セッテイ ロック
カイシ°ヨ セイコウ
・解除が成功すると、右の画面を表示します。
セッテイ ロック
カイシ°ヨ シツハ°イ
・解除が失敗すると、右の画面を表示してお知らせします。
- 9 終了するとき、**END** キーを数回押す

重要!

- ・パスワードを忘れてしまった場合には、手順7の画面を表示中に**FUNCTION**キーを押すことで、パスワード強制解除画面となります。
- ・**ENTER**キーを押すとパスワードの強制解除はできますが、ネットワーク & イベントメールで設定した項目も初期化してしまいますので、再設定が必要となりますのでご注意ください。

セッテイ ロック
カイシ°ヨ & ショキカ [ENT]



カイシ°ヨ & ショキカ
ショキカ シマスカ ? [ENT]

設定した内容を初期状態に戻す

「セッテイ」「メンテナンス」「マシンセッテイ」で設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ [ENT]
3	ENTER キーを押す	マシン セッテイ オート ハ°ワーオフ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、[リセット] を選ぶ	マシン セッテイ リセット [ENT]
5	ENTER キーを押す	セッテイチ スペ°テリセットサレマス ヨロシイデ°スカ? [ENT]
6	ENTER キーを押す ・設定を初期化します。	リセット シ°ッコウ [ENT]
7	終了するとき、 END キーを数回押す	

装置情報を確認する

本装置の装置情報を確認できます。
確認できる装置情報は、次の項目です。

項 目		内 容
エラー履歴		現在までに発生したエラー、ワーニング履歴を表示します。 ◀▶を押して、発生順に発生日時（年月日時分）とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。
シヨウ ジョウキョウ	ワイピング	装置の使用状況を確認します。
	プリント チョウ	
	プリント メンセキ	
	シヨウ ジカン	
バージョン		装置のファームウェアバージョンを確認します。
リスト		装置の設定内容をプリントします。
インクコウカンレポート		装置で使用したインクの履歴をプリントします。

装置の使用状況を確認する

ワイピング情報や本機でプリントした長さなど、装置の情報を確認できます。

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]

2

◀▶を押して、[シヨウホウ]を選ぶ

FUNCTION
シ`ョウホウ [ENT]

3

ENTER キーを押す

シ`ョウホウ
シヨウ シ`ョウキョウ [ENT]

4

ENTER キーを押す

- ワイピング情報を表示します。
- ENTER** キーを押すごとに、次の装置情報が順次が表示されます。

ワイピング

ワイピング情報
を表示

ワイピ`ング`
= 0

プリント面積

これまでにプリン
トした面積を表示

プ`リント メンセキ
= 0m²

プリント長

これまでにプリン
トした長さを表示

プ`リント チョウ
= 0m

使用時間

装置の使用時間
情報を表示

シヨウ シ`カン
= 0h



- ワイパーの使用カウントをリセットしたい場合、ワイピング表示中に **MAINT.** キーを押します。
ENTER キーを押すと、ワイピング回数をリセットします。

ワイピ`ング`
クリア シマスガ? [ENT]

3

便利な使い方

装置のバージョン情報を確認する

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	▲ ▼ を押して、 [ジョウホウ] を選ぶ	FUNCTION シ`ョウホウ [ENT]
3	ENTER キーを押す	シ`ョウホウ シヨウ シ`ョウキョウ [ENT]
4	▲ ▼ を押して、 [バージョン] を選ぶ	シ`ョウホウ ハ-ジ`ョ-ン [ENT]
5	ENTER キーを押す ・装置のバージョン情報を表示します。	Tx500-1800 V2.20 MRL-III V1.90

エラー履歴を確認する

エラー履歴の見方を説明します。

エラー履歴		バージョン	
発生年月日を 表示	[00000] 2014/09/26 22:13:00	F/W などの バージョン 情報を表示	Tx500-1800 V2.20 MRL-III V2.00
エラー内容を 表示	ERROR 12a ***** HDC SPEED		

本機の情報を表示する

1

ローカルで、**ENTER** キーを押す

Sb300	12345678
サンリョウ	99999999

2

ENTER キーを押すごとに、順次情報が表示される

・以下のような情報が表示されます。

インク残量		エラー表示 (インクエラー発生時)	ワーニング表示 (ワーニング発生時)
Sb300	MMBBYYKK	インク IC ナン	ワーニング
サンリョウ	99999999		ワイパー コウカン [MNT]
メディア幅		ヘッドギャップ	メディアアツサ
メディア幅	1000mm	ヘッドギャップ	メディアアツサ
=		=	=
		2.0mm	0.1mm
シリアル番号		バージョン	ノズルリカバリ
シリアル No.	:*****	Tx500-1800	ノズルリカバリ
		MRL-III	カクニン [MNT]
		V2.20	
		V2.00	

MAINT. キーを押して詳細を確認

3

ENTER キーを押して、ローカルに戻る

3

便利な使い方

第4章 お手入れ



この章では ...

日常行っていただくお手入れ方法やインクユニットのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ	4-2	ヘッド周辺の清掃	4-18
お手入れ上のご注意	4-2	ノズル詰まりが復旧しない場合	4-20
メンテナンス洗浄液について	4-2	ヘッドノズルの洗浄	4-20
外装のお手入れ	4-2	ノズル抜けが直らないとき、かわりの	
折り返しバー（巻取側）の清掃	4-3	ノズルでプリントする	4-22
引っ張りローラーの清掃	4-3	オートメンテナンス機能	4-26
プレーキローラーの清掃	4-3	リフレッシュ間隔を設定する	4-26
プラテンの清掃	4-4	クリーニング間隔を設定する	4-27
グリットローラーのお手入れ	4-6	Y モーターの清掃	4-28
布押さえの清掃	4-8	消耗品の交換	4-29
キャッピングステーションのメンテナンス	4-9	ワイパーを交換する	4-29
ワイパー周辺の清掃	4-9	廃インクタンク確認メッセージが	
ワイパーインク受けの清掃	4-12	表示されたら	4-30
インク排出路の洗浄			
（ハイロセンジョウ）	4-14		
長期間使用しない場合			
（ホカンセンジョウ）	4-15		

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本装置のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

	メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。
	本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。また、お手入れは電源ボタン・主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
	本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
	- 本装置はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用（出力）されないときには、定期的に微量のインクを吐出（フラッシング）させる必要があります。 - 長時間使用されないときには、前面の電源ボタンのみを OFF とし、側面の主電源スイッチは ON（↑の状態）およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。
	- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。 - 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。 - メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

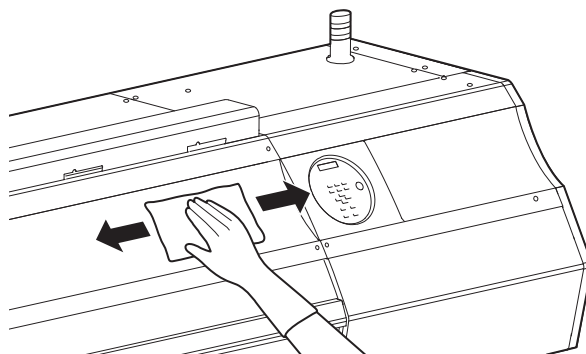
メンテナンス洗浄液について

メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス洗浄液
昇華転写インク	洗浄液 03 メンテナンスキット (ML003-Z-K1)

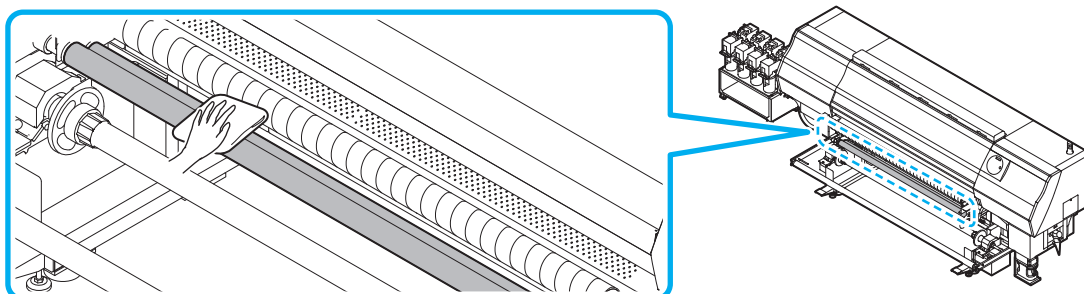
外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



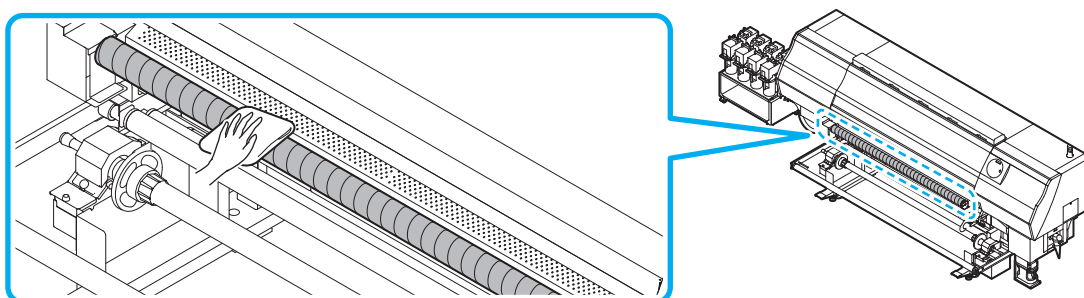
折り返しバー (巻取側) の清掃

装置前面にある、メディア巻取時に使用する折り返しバーに付着したインクなどの汚れを取り除きます。柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



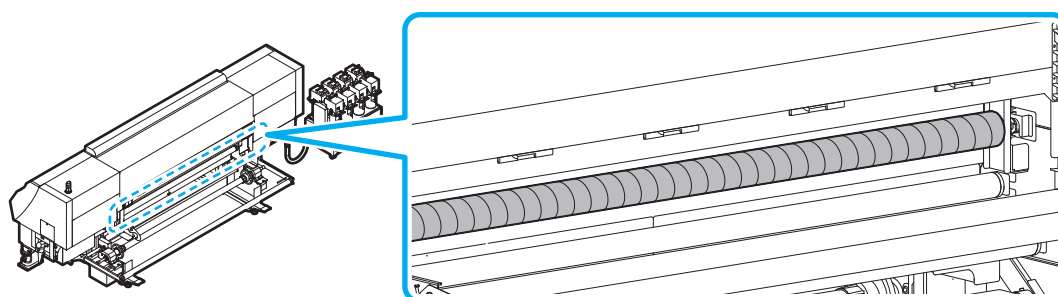
引っ張りローラーの清掃

装置前面にある引っ張りローラーに付着したインクなどの汚れを取り除きます。柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



ブレーキローラーの清掃

装置背面にあるブレーキローラーに付着した繊維クズなどの汚れを取り除きます。ブレーキローラーの表面についている繊維クズを、粘着テープなどで貼り付けて清掃してください。



プラテンの清掃

目の粗い布にプリントすると、インクの一部が布を通過しプラテンに付着します。インク汚れが気になるときは、次のようにして付着したインクをプラテンを水洗いしてください。(1週間に1回程度)

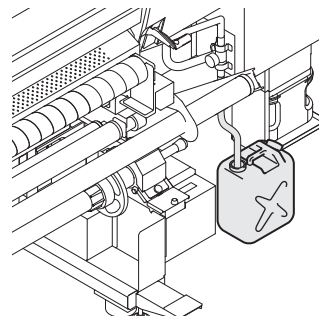
重要!

- ・プラテンの清掃には、水洗いした汚水を排出するためのタンクが必要になります。本機に汚水排出用のポリタンクは付属されていないので、お客様でご用意いただく必要があります。

1

汚水排出用のタンクをセットする

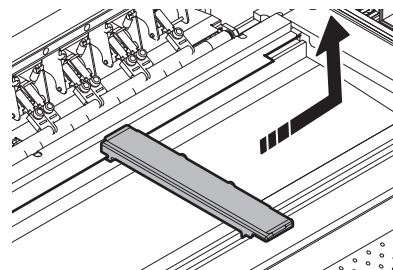
- ・汚水排出用のホースは本体の右側にあります。ホースの先端にポリタンク等をセットしてください。



2

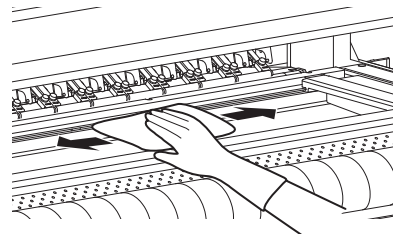
布押さえを外す

- ・布押さえをプラテンの端までスライドさせ、取り外します。



3

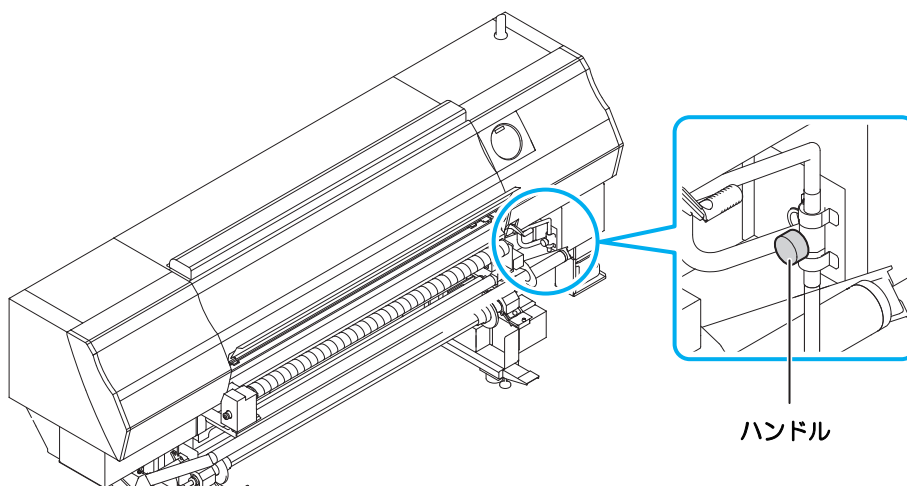
プラテンを水洗いする



4

プラテンに溜まった汚水を排出する

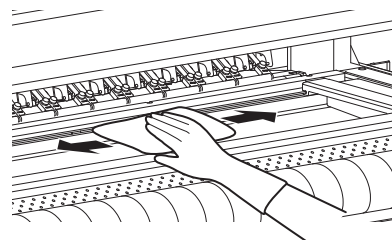
- ・汚水排出用のホースに付いているハンドルを時計方向に回して、プラテンに溜まった汚水を排出します。



ハンドル

5

プラテン上に残った汚水を、ウェスなどで拭き取る



6

汚水排出用のハンドルを締め、タンクを取り外す

・タンクに溜まった汚水は、お住まいの地域の条例に従って廃棄してください。

7

布押さえを取り付ける

4

お手入れ

グリットローラーのお手入れ

グリットローラーに付着した前処理剤や繊維クズを樹脂ブラシで定期的に取り除いてください。

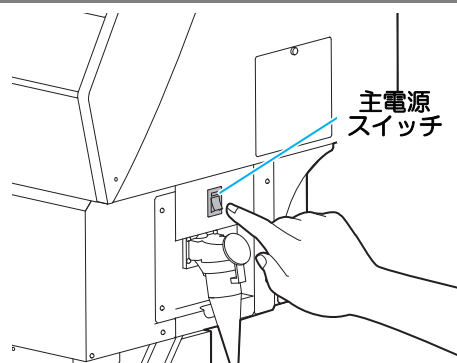
重要!

- ・グリットローラーは定期的にお手入れを行ってください。
- ・ご使用のメディア前処理剤によっては、グリットローラーに付着したまま放置しておくと、サビの原因となる場合があります。
- ・グリットローラーにサビが発生すると、メディアを正常にフィードさせることができなくなる恐れがあります。

1

本装置の電源を切る

- ・電源スイッチを「O」側に倒します。



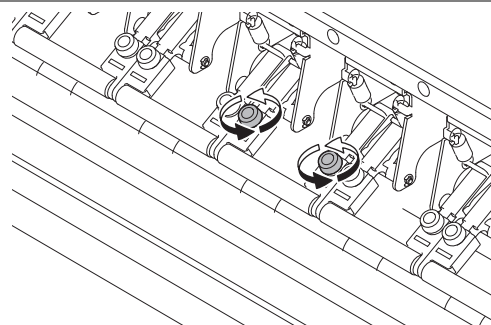
2

フロントカバーを開け、クランプレバーを上げる

3

ピンチローラーを取り外す

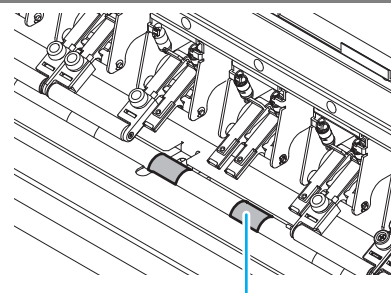
- ・ツマミネジ (2箇所) を緩めてから手前に引きます。



4

ブラシを使ってグリットローラーの表面をこすり、汚れを除去する

- ・軽く数回グリットローラーの表面をこすってください。
- ・指でグリットローラーを回しながら全周をブラッシングしてください。
- ・汚れたブラシ先端は、乾いた布で拭き取ってください。



グリットローラー

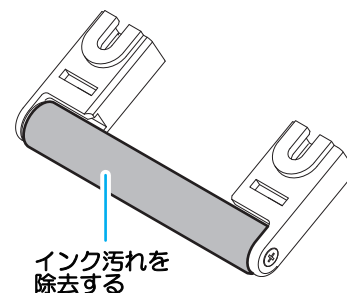
重要!

- ・グリットローラーのお手入れは、必ず樹脂ブラシで行ってください。布や紙などで拭くと凹凸部に繊維クズが付着してしまいます。また、硬い金属ブラシ等を使用すると、グリットローラーに傷を付けてしまいます。
- ・ブラッシング時に水や洗浄液を付けないでください。錆を促進させる原因になります。

5

ピンチローラの汚れを除去する

- ・ピンチローラの表面を布等で拭いて、インク汚れを除去してください。



6

ピンチローラを取り付ける

- ・ピンチローラを取り付ける時は、取付側の凸部分に合わせて取り付けてください。

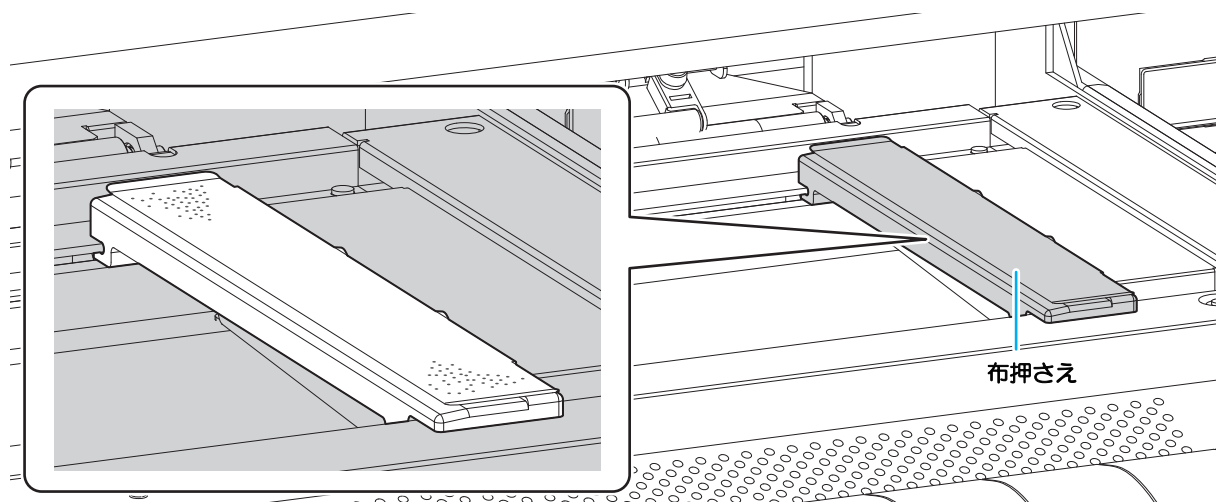
7

本装置の電源を入れ、正常に動作可能か確認する

- (1) ローカルモードで **ST.MAINT** キーを押す
- (2) **▼** **▲** を押し、[キャリッジアウト] を選ぶ
- (3) **ENTER** キーを押す
 - ・キャリッジが、プラテン上に移動します。
- (4) フロントカバーを開ける
- (5) キャリッジを手で押して、左端まで移動させ、キャリッジとピンチローラが干渉していないことを確認する
 - ・ピンチローラとキャリッジが干渉している場合は、ピンチローラーの取り付けをやり直して干渉がないか、再度確認してください。
- (6) 問題ないことを確認したら、フロントカバーを閉める。
- (7) **ENTER** キーを押す
 - ・初期動作後、メディア選択画面に戻ります。

布押さえの清掃

布押さえに付着したインクなどの汚れを洗浄したいとき、取り外して洗浄できます。



キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパー、ワイパーブレード等のメンテナンスをします。
(ステーションメンテナンス)

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。

- ・ワイパー : ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- ・インクキャップ : ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する
- ・ワイパーブレード : ワイパーに付着したインクを取り除く

本装置を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。
ヘッドクリーニングを実行 (☞ P.2-33) しても、ノズル抜けが解消されない場合は、洗浄液 03 メンテナンス
キット とクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに 必要な道具	・洗浄液 03 メンテナンスキット (品番 : ML003-Z-K1)		
	・クリーンスティック (品番 : SPC-0527)	・手袋	・ゴーグル



- ・キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- ・キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、**(MAINT.)** キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(☞ P.4-9 手順 1 ~ 2)
- ・キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパーは、必ず毎日メンテナンスをおこなってください。汚れたままにした場合、ノズル面に汚れが付着したり、ノズルにゴミや凝固インクをこすりつけ、吐出不良が発生する恐れがあります。

ワイパー周辺の清掃

画質や本装置の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

重要!

- ・1日の作業終了後に、ワイパーと周辺の清掃をしてください。
- ・ワイパーの汚れ、曲がりなどがひどい場合は、新しいワイパーと交換してください。(☞ P.4-29)
- ・清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。

1

ローカルで、**(MAINT.)** キーを押す

キャリッジ アウト

[ENT]

2

(ENTER) キーを押す

イトゥ イチ

: ステーション メンテナンス

3

(▲) (▼) を押して、**[ステーション メンテナンス]** を選ぶ

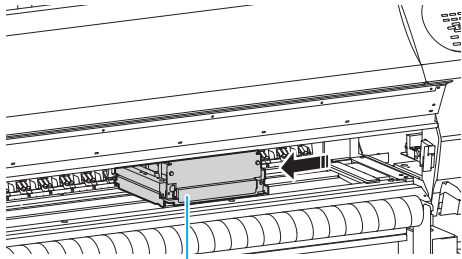
イトゥ イチ

: ステーション メンテナンス

4

(ENTER) キーを押す

- ・キャリッジがプラテン上に移動します。



キャリッジ

4

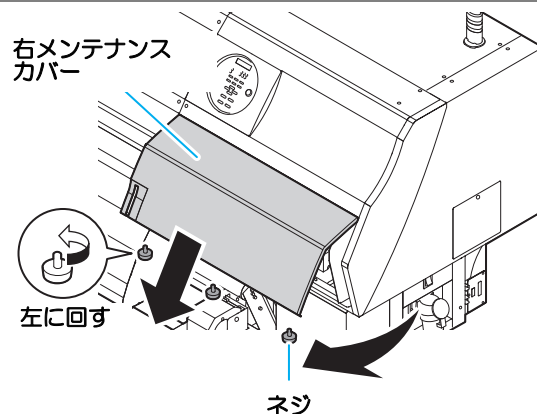
お
手
入
れ

5

右メンテナンスカバーを開ける

- (1) 右メンテナンスカバー下のネジ (3箇所) を左に回して取り除く
- (2) 右メンテナンスカバーの下側を持ち、手前に引く
- (3) 下に引くようにして、右メンテナンスカバーを取り外す

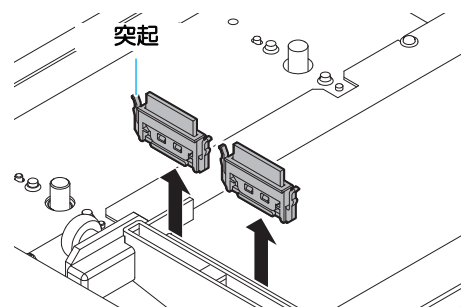
・右メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。



6

ワイパーを取り出す

- ・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



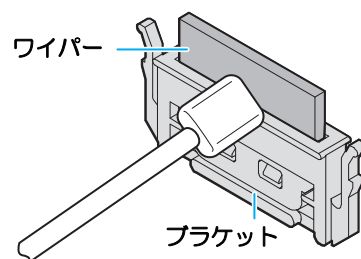
7

ワイパーとブラケットを清掃する

- ・ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。

重要!

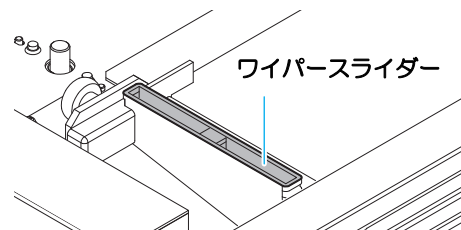
- ・右の写真のような状態になるまで、清掃してください。
- ・清掃後はブラケットとワイパーが水平になっていることを確認してください。



8

ワイパーライダーを清掃する

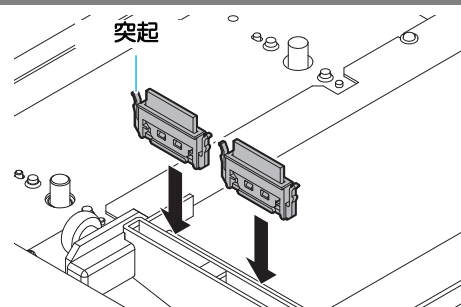
- ・ワイパーライダーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



9

ワイパーを元の位置に戻す

- ・ワイパーの両端を持って差し込みます。

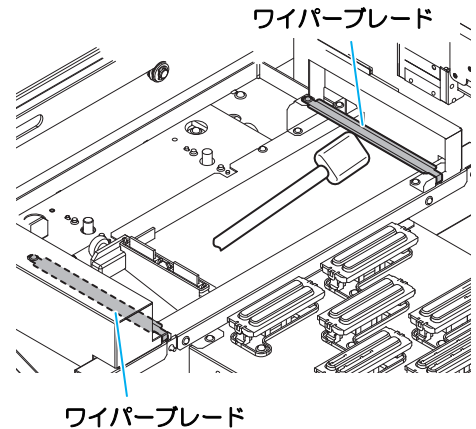
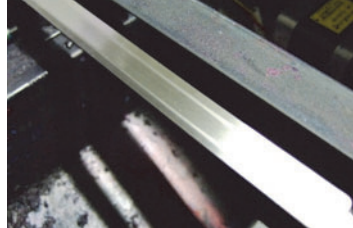


10 ワイパーブレードを清掃する

- ・クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、ワイパーブレードに付着したインクを拭き取ります。

重要!

- ・ワイパーブレードのエッジ部分に注意し、ワイパーが接触する側（裏側）を念入りに清掃してください。
- ・下の写真のような状態になるまで、清掃してください。

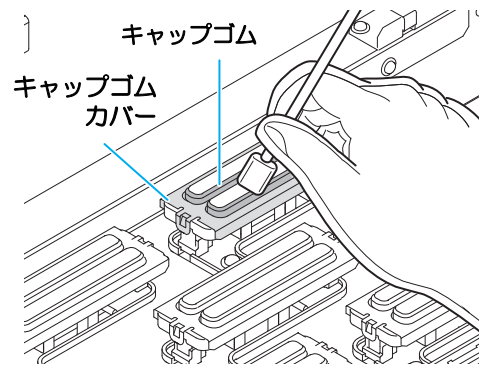
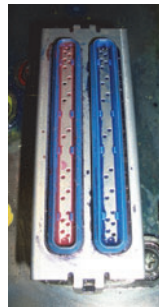


11 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

- ・キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。

重要!

- ・右の写真のような状態になるまで、清掃してください。
- ・清掃後は、キャップゴムやキャップ内メッシュが外れていないことを確認してください。



12 清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

カバー シメテクターサイ
シュウリョウ [ENT]

13 右メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

- ・初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

MAINT. を使わないでステーションメンテナンスをするには

MAINT. キーを押さなくても、ローカルから **FUNCTION** キーを使ってステーションメンテを選ぶことができます。

ローカルで **FUNCTION** を
押す

▲ ▼ を押して [メ
ンテナンス] を選ぶ

ENTER を 2 回押す

- ・ローカルから **MAINT.** を押したときと同じ状態になります。

ワイパーインク受けの清掃

水性インクは流動性が悪く、乾燥し固着したインクが堆積します。ワイパー下のインク受けに溜まったインクは、ゴムヘラ等を使用してこまめに廃路へ流してください。

1

ローカルで、**MAINT.** キーを押す

キャリッジ アウト

[ENT]

2

ENTER キーを押す

イトゥ イチ

: ステーション メンテナンス

3

▲ **▼** を押して、[ステーション メンテナンス] を選ぶ

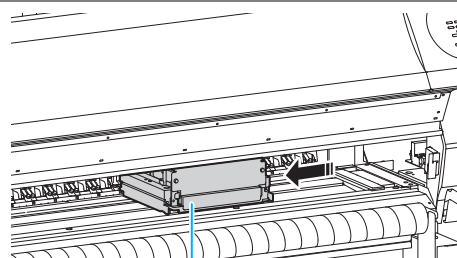
イトゥ イチ

: ステーション メンテナンス

4

ENTER キーを押す

• キャリッジがプラテン上に移動します。



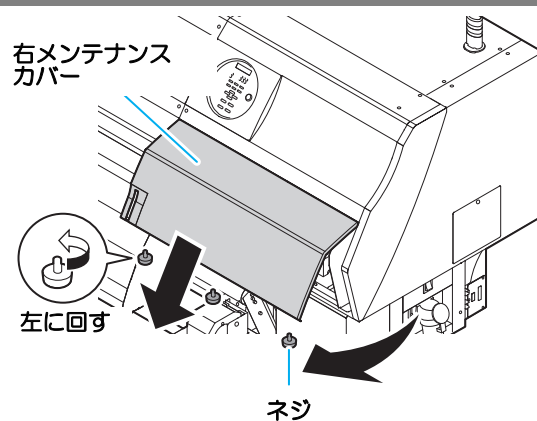
キャリッジ

5

右メンテナンスカバーを開ける

- (1) 右メンテナンスカバー下のネジ (3箇所) を左に回して取り除く
- (2) 右メンテナンスカバーの下側を持ち、手前に引く
- (3) 下に引くようにして、右メンテナンスカバーを取り外す

• 右メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。



右メンテナンス
カバー

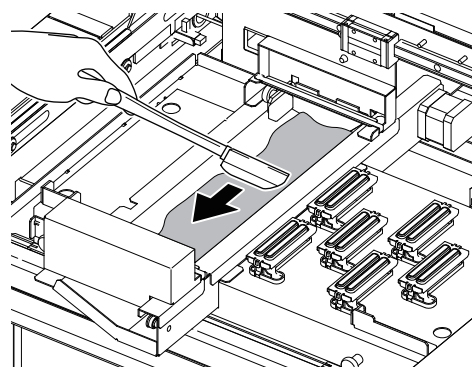
左に回す

ネジ

6

ワイパーインク受けを清掃する

• ワイパー下のインク受けに溜まったインクを、ゴムヘラ等を使用してこまめに廃路へ流してください。



7

清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

カバー シメテクター サイ
シュウリョウ [ENT]

8

右メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

・初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

インク排出路の洗浄 (ハイロセンジョウ)

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的にインク排出路の洗浄をしてください。

1

ローカルで、**(MAINT.)** キーを押す

キャリッジ アウト

[ENT]

2

(▲) **(▼)** を押して、[ハイロ センジョウ] を選ぶ

ハイロ センジョウ

[ENT]

3

(ENTER) キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。
- 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

ハイロ センジョウ
シュウリョウ(ツキヘ)

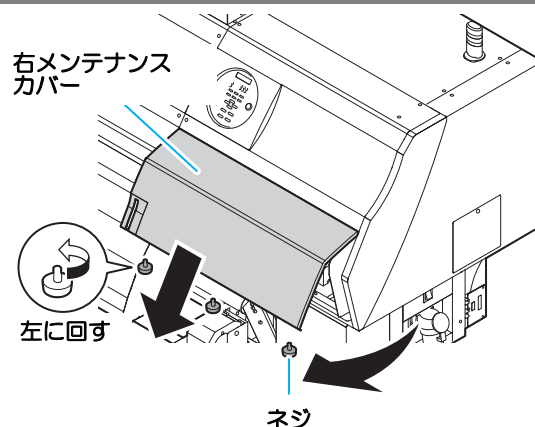
[ENT]

4

右メンテナンスカバーを開ける

- (1) 右メンテナンスカバー下のネジ (3箇所) を左に回して取り除く
- (2) 右メンテナンスカバーの下側を持ち、手前に引く
- (3) 下に引くようにして、右メンテナンスカバーを取り外す

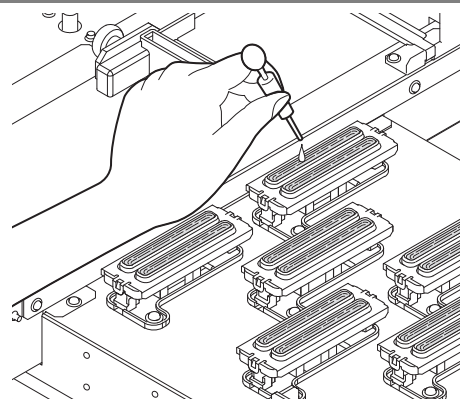
- 右メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。



5

スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



6

右メンテナンスカバーを閉じ、**(ENTER)** キーを押す

- 30 秒間空吸引を実行した後、手順 2 の表示に戻ります。

ハイロ センジョウ
シバラク オマチクタサイ

長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ)

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排出路をクリーニングしてください。その後、本装置を保管してください。

事前に確認
してください

[インクエンド]は表示していませんか？

- ・洗浄動作の際に、インクの吸引を行います。
このとき、インクエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。
- ・インクエンドを、未検出のインクボトルに交換してください。

1

ローカルで、**MAINT.** キーを押す

キャリッジ アウト

[ENT]

2

▲ ▼ を押して、[ホカンセンジョウ]を選ぶ

ホカン センジョウ

[ENT]

3

ENTER キーを押す

- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

ワイパー クリーニング
シュウリョウ

[ENT]

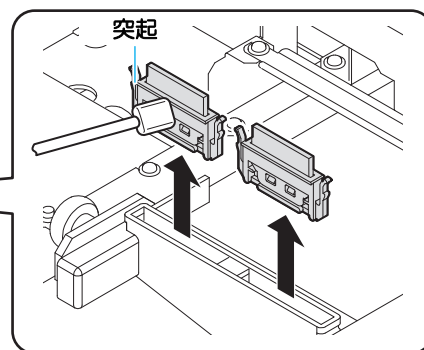
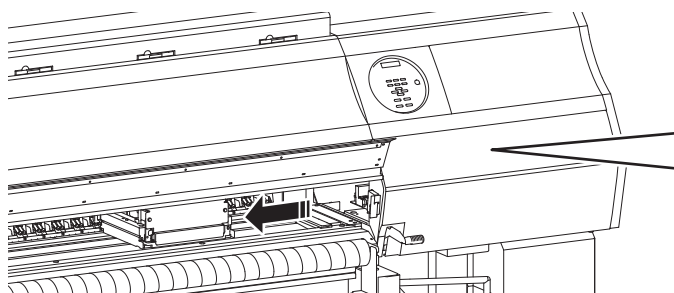
重要！

- ・ワイパーとブラケットの清掃が終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ (ツギへ) :ENT] が表示されます。手順 4 の作業が完了してから **ENTER** キーを押してください。クリーニングが終了する前に **ENTER** キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4

ワイパーとブラケットを清掃する

- (1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (ML003-Z-K1)
メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



4

お
手
入
れ

5

ENTER キーを押す

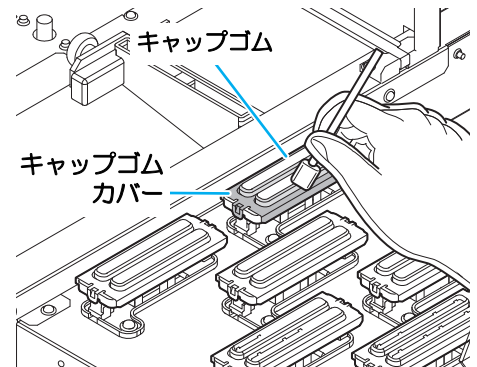
キャップ° クリーニング°
シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

- 重要!** ・ キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ) :ENT]が表示されます。手順6の作業が完了してから**ENTER**キーを押してください。クリーニングが終了する前に**ENTER**キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

6

キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

- ・ キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- ・ このとき、自動的に排出路が洗浄されます。



7

ENTER キーを押す

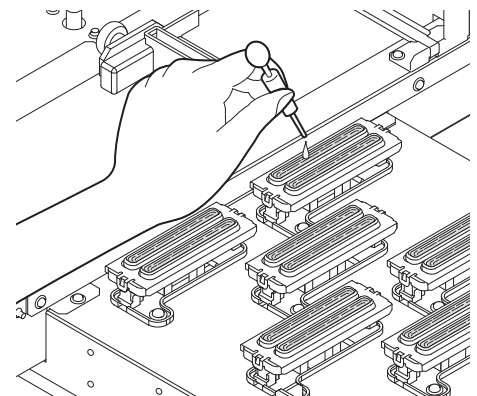
センシ° ヨウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

- 重要!** ・ 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ) :ENT]が表示されます。手順8の作業が完了しフロントカバーを閉じてから**ENTER**キーを押してください。洗浄液を満たす前に**ENTER**キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

8

スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- ・ キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



9

右メンテナンスカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

ホカン センシ° ヨウ
ホウチ シ° カン : 1 min

10

▲ ▼ を押して、洗浄液の放置時間を設定する

- ・ 設定値 : 1 ~ 99 分 (1 分単位)

ホカン センシ° ヨウ
ホウチ シ° カン : 2 min

11

ENTER キーを押す

- ・ノズルの洗浄を実行します。
- ・ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

シハラク オマチクタサイ
00:00



** クリーニング **
シハラク オマチクタサイ

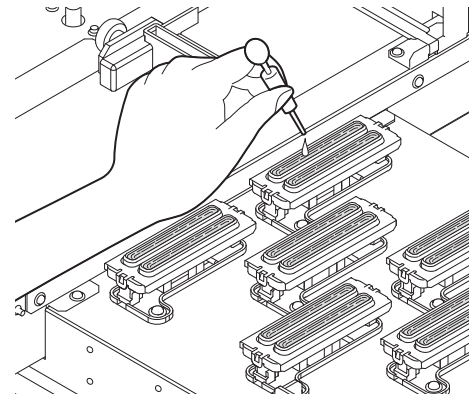
12

右メンテナンスカバーを開ける

13

スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- ・キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



14

右メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

- ・初期動作後、手順 2 の表示に戻ります。

ハイロ センシヨウ
シハラク オマチクタサイ

ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。
スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	・クリーンスティック (SPC-0527)	・手袋	・ゴーグル
----------	-----------------------	-----	-------



- ・清掃を行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- ・インクが皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。
- ・キャリッジ下面がインクやホコリの付着により汚れないように、必ず毎日清掃をおこなってください。汚れたままの状態にしておくと、ヘッドクリーニング時のワイブ動作でノズルにゴミや凝固インクをこすり付けてしまう恐れがあります。
- ・キャリッジ下面を清掃する場合、ノズル面をこすらないよう、十分に注意してメンテナンスをおこなってください。

1

ローカルで、**MAINT.** キーを押す

キャリッジ アウト

[ENT]

2

ENTER キーを押す

イトゥ イチ

:ステーション メンテナンス

3

▲ ▼ を押して、[ヘッド メンテナンス] を選ぶ

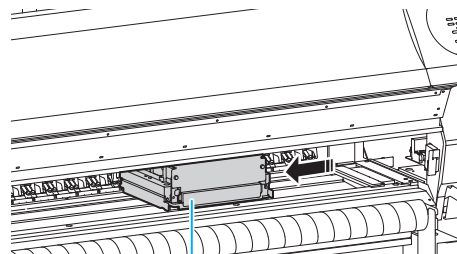
イトゥ イチ

:ヘッド メンテナンス

4

ENTER キーを押す

- ・キャリッジが、本装置の左端まで移動します。



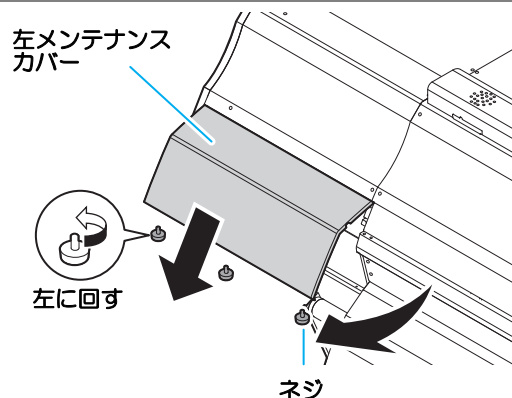
キャリッジ

5

左メンテナンスカバーを外す

- (1) 左メンテナンスカバー下のネジ (3 箇所) を左に回して取り除く
- (2) 左メンテナンスカバーの下側を持ち、手前に引く
- (3) 下に引くようにして、左メンテナンスカバーを取り外す

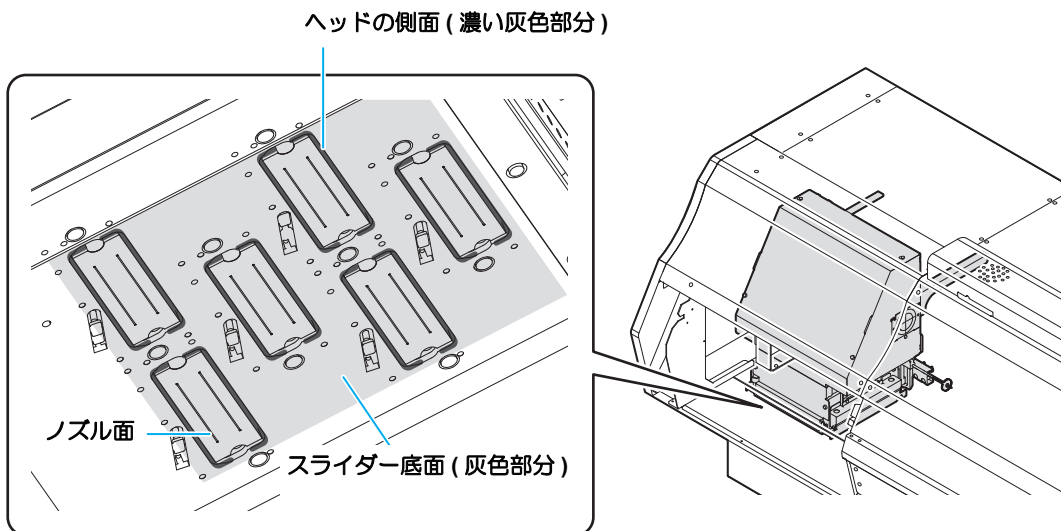
- ・左メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。



6

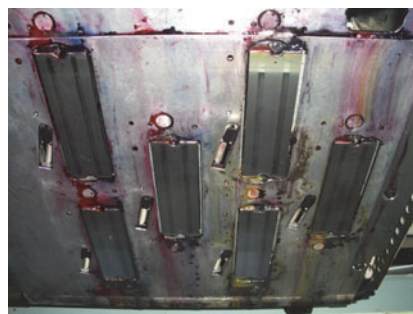
クリーンスティックまたはウェスにメンテナンス洗浄液を含ませ、ヘッドの側面、スライダー底面に溜まったインクを拭き取る

- ・ノズル部分は、手順7で清掃するのしてください。



重要!

- ・右の写真のような状態になるまで、清掃してください。



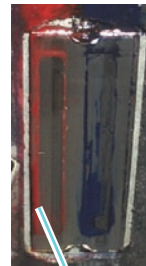
7

コットンシーガル® にメンテナンス洗浄液を含ませ、奥から手前に向かってノズル面に付着したキャップゴム跡を拭き取る

コットンシーガル®



【清掃前】



【清掃後】



キャップ跡

重要!

- ・メンテナンス洗浄液がしたたり落ちるくらい十分に含ませてください。
- ・コットンシーガル® が乾いた状態で、ノズル面を拭かないでください。
- ・コットンシーガル® がケバ立ってきたら交換してください。
- ・コットンシーガル® にインクの固形物が付着した場合、清掃面を変えるか、コットンシーガル® を交換してください。

8

清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

- ・左メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER** キーを押してください。

カバー シメテクタ® サイ
シュウリョウ

[ENT]

4

お手入れ

ノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング (☞ P.2-33) をしても、ノズル詰まりが改善しない場合、次の 2 機能を実行してください。

ノズルセンジョウ	・ヘッドノズルを洗浄します。(☞ P.4-20)
ノズルリカバリ	・ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルで作図します。(☞ P.4-22)

ヘッドノズルの洗浄

インクの凝固によるインク詰まりのを防止するため、ヘッドノズルの洗浄を行います。

事前に確認 してください	[インクエンド]は表示していませんか？ ・洗浄動作の際に、インクの吸引を行います。 このとき、インクエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。 ・インクエンドを検出していない、新品のインクボトルに交換してください。
-----------------	---

1

ローカルで、**(MAINT.)** キーを押す

キャリッジ アウト

[ENT]

2

(▲) **(▼)** を押して、**[ノズルセンジョウ]** を選ぶ

ノズル センジョウ

[ENT]

3

(ENTER) キーを押す

・キャリッジがプラテン上に移動します。

ワイパー クリーニング
シュウリョウ(ツギへ)

[ENT]

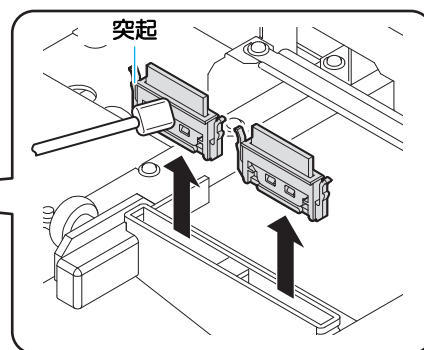
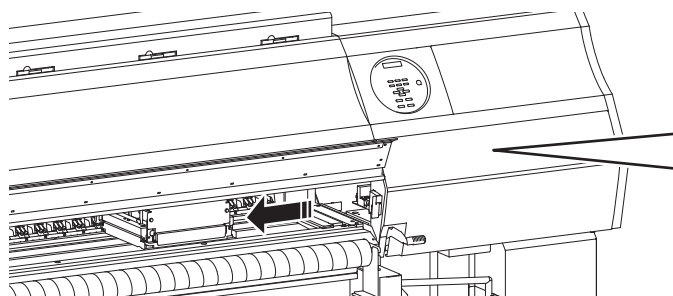
(重要！)

・ワイパーのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには**[シュウリョウ(ツギへ):ENT]**が表示されます。手順 4 の作業が完了してから**(ENTER)** キーを押してください。クリーニングが終了する前に**(ENTER)** キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4

ワイパーとブラケットを清掃する

- (1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (ML003-Z-K1)
メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



5

(ENTER) キーを押す

キャップ クリーニング
シュウリョウ(ツギへ)

[ENT]

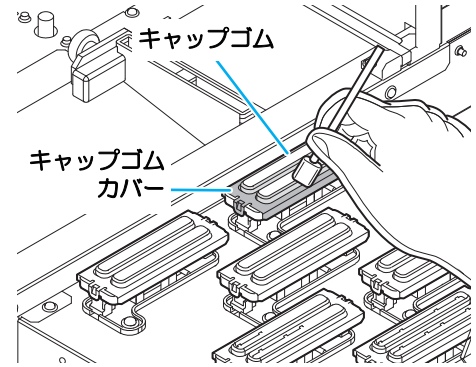
(重要！)

・キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには**[シュウリョウ(ツギへ):ENT]**が表示されます。手順 6 の作業が完了してから**(ENTER)** キーを押してください。クリーニングが終了する前に**(ENTER)** キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

6

キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排出路が洗浄されます。



7

[ENTER] キーを押す

センシ ョウエキ ラ ミタス
シュウリョウ(ツギへ) [ENT]

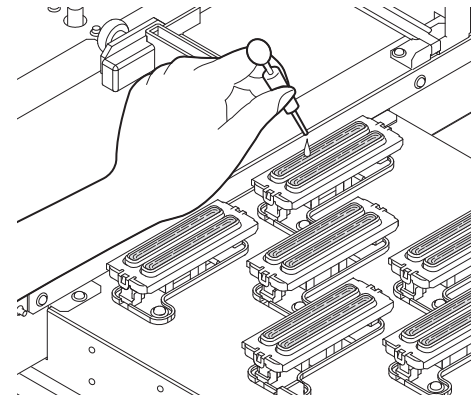
重要!

- 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギへ) :ENT]が表示されます。手順8の作業が完了しフロントカバーを閉じてから[ENTER]キーを押してください。洗浄液を満たす前に[ENTER]キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

8

スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



9

右メンテナンスカバーを閉め、[ENTER] キーを押す

ホウチ シ`カン
= 1min

10

[▲][▼]を押して、洗浄液の放置時間を設定する

設定値:1～15分(1分単位)

ホウチ シ`カン
= 2min

11

[ENTER] キーを押す

- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- 手順10で設定した時間だけ、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎると、手順2の表示に戻ります。

シハ`ラク オマチクタ`サイ
00:00



** クリーニング **
シハ`ラク オマチクタ`サイ

重要!

- この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡(サービスコール)ください。

4

お手入れ

ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントする

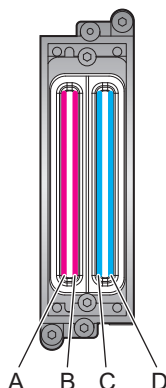
特定ノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルをかわりに使用 (ノズルリカバリ) してプリントすることができます。

本機のヘッドは右のように構成されています。
ノズルリカバリ機能では、H1-2(ヘッド 1-2)、H3-4(ヘッド 3-4)、H5-6(ヘッド 5-6) それぞれのノズル列を指定して、リカバリの設定をすることができます。

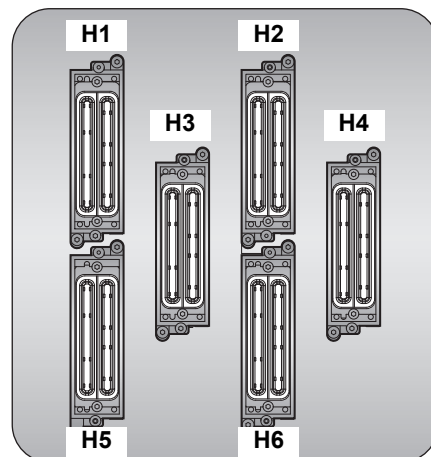


ノズル列について

- 本機は、1つのヘッドに対して4つのノズル列 (A列・B列・C列・D列) で構成されています。



装置
背面側



1

メンテナンスメニューの[ノズルリカバリ]を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

2

▲ **▼** を押して [プリント] を選び、**ENTER** キーを押す

ノズルリカバリ
: フォント



ヘッド センタク
: H1-2

3

▲ **▼** を押してノズルリカバリをするヘッド (H1-2/H3-4/H5-6) を選ぶ

ヘッド センタク
: H3-4

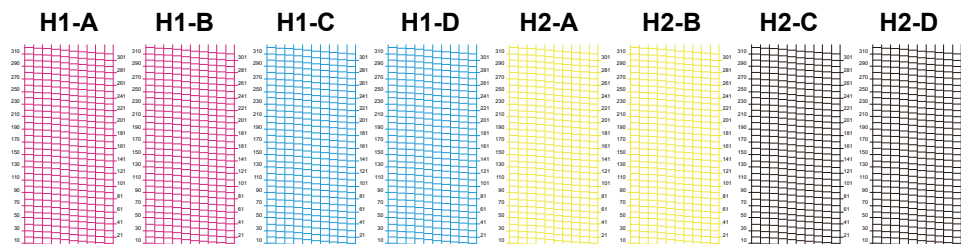
4

ENTER キーを 2 回押す

- 選んだユニットのノズルパターンがプリントされます。
- 手順 2 で [トウロク] を選択したときは、ノズルパターンのプリントをしないでノズル列選択手順 (手順 5) に移ります。

** フォント **
シバラク オマチクタサイ

H1-2 を選択した場合の
ノズルパターン



5

▲▼を押してノズルリカバリをするノズル列を選び、ENTER キーを押す

ノズルセンタク
: H1 - A

ノズル列 : A,B,C,D

ヘッド番号 : H1~H2

6

リカバリが必要なノズル番号を登録し、ENTER キーを押す

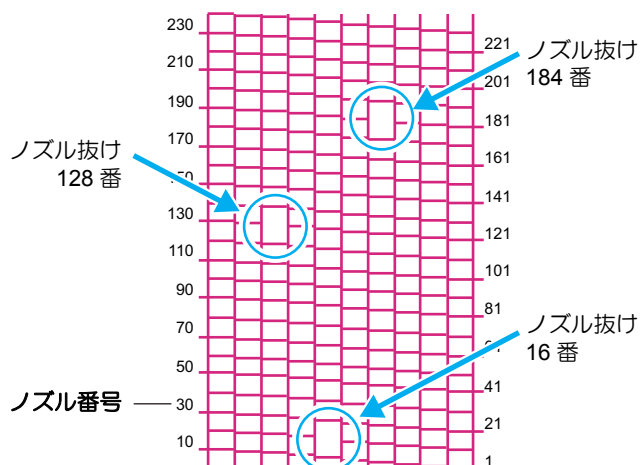
- (1) ▲▼を押して登録番号(1~10)を選択し、ENTER キーを押す
- (2) ▲▼を押してリカバリするノズル番号を登録し、ENTER キーを押す
 - ・登録したノズルがリカバリできない場合、P.4-24「ノズルリカバリできないプリント条件を確認する」の手順3の画面が表示されます。

H1-A
No. 1 184

リカバリノズル番号
(1 ~ 320) または OFF

登録番号 : 1~10

リカバリノズル登録例



登録番号	リカバリノズル番号	状態
1	16	ノズルリカバリする
2	128	ノズルリカバリする
3	184	ノズルリカバリする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

7

終了するとき、END キーを数回押す

重要!

- ・1 ノズル列あたり 10 個までノズルを登録できます。
- ・本機能を使用しても、作図時間は変わりません。
- ・作図モードの最低パス数では、ノズルリカバリ機能は無効です。
- ・ノズルリカバリを登録しても、テストプリントなどのパターンはリカバリされません。

4

お
手
入
れ

ノズルリカバリできないプリント条件を確認する

登録したノズルによっては、リカバリが反映されないモードがあります。リカバリできないプリント条件を確認してください。



- 登録されているノズルが多い場合、チェック結果を表示するまでに時間がかかります。

1

メンテナンスメニューの[ノズル リカバリ]を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

2

▲ **▼** を押して [チェック] を選ぶ

ノズルリカバリ
: チェック

3

ENTER キーを押す

- ノズルリカバリが無効なモードを表示します。
- ノズルリカバリが無効なモードがない場合、「ナシ」と表示します。

リカバリ フカ ショウケン
: 600 x 900 6 p / H

解像度

パス数

スキャン速度

4

終了するとき、**END** キーを数回押す

設定値をクリアする

1

メンテナンスメニューの[ノズルリカバリ]を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION**キーを押す
- (2) **▲** **▼**を押して[メンテナンス]を選び、**ENTER**キーを押す
- (3) **▲** **▼**を押して[ノズルリカバリ]を選ぶ
- (4) **ENTER**キーを押す

2

▲ **▼**を押して[クリア]を選び、**ENTER**キーを押すノズルリカバリ
: クリアヘッド センタク
: H1-2

3

▲ **▼**を押してノズルリカバリの設定をクリアする
ヘッド (H1-2/H3-4/H5-6) を選ぶヘッド センタク
: H3-4

4

ENTERキーを押すクリアノズル センタク
: H1-A

5

▲ **▼**を押して、設定値をクリアするノズル列を選
び、**ENTER**キーを押すクリアノズル センタク
: H1-AH1-A クリア?
シッコウ [ENT]

6

ENTERキーを押す

7

終了するとき、**END**キーを数回押す

4

お手入れ

オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。
ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。
定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。
(オートメンテナンス機能)
オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

- 重要!** ・手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。

機能名	説明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング	クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します。

- 重要!** ・右のメッセージが表示されている場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。必要に応じて P.4-30 の操作をしてください。
・装置前面の電源ボタンをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。

<ローカル>
ハイ インクタンク フル

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの【オート メンテナンス】を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [オート メンテナンス] を選ぶ

2 **ENTER** キーを押す

オート メンテナンス
リフレッシュ [ENT]

3 **ENTER** キーを押す

リフレッシュ
: Lv. 1

4 **▲** **▼** を押して、リフレッシュ間隔を設定する

- ・設定値 : OFF、Lv.1、Lv.2、Lv.3
- ・レベルを上げるごとに動作間隔は短くなります。

リフレッシュ
: Lv. 1

5 **ENTER** キーを押す

オートメンテナンス
リフレッシュ [ENT]

6 終了するとき、**END** キーを数回押す

クリーニング間隔を設定する

クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1

メンテナンスメニューの[オート メンテナンス]を選ぶ

- (1) ローカルで、**[FUNCTION]**キーを押す
- (2) **[▲]****[▼]**を押して[メンテナンス]を選び、**[ENTER]**キーを押す
- (3) **[▲]****[▼]**を押して[オート メンテナンス]を選ぶ
- (4) **[ENTER]**キーを押す

2

[▲]**[▼]**を押して、[クリーニング]を選ぶ

オート メンテナンス
クリーニング* [ENT]

3

[ENTER]キーを押す

クリーニング*
: レベル1

4

[▲]**[▼]**を押して、クリーニングを行う間隔を設定する

クリーニング*
: Lv. 1

- ・設定値：OFF、Lv.1、Lv.2、Lv.3
- ・レベルを上げることにより動作間隔は短くなります。

5

[ENTER]キーを押す

- ・手順4で“OFF”以外に設定したとき、クリーニングタイプの選択画面が表示されます。

タイプ°
: ノーマル

6

[▲]**[▼]**を押して、クリーニングタイプを選ぶ

- ・設定値：ノーマル、ソフト、ハード

タイプ°
: ソフト

7

[ENTER]キーを押す

オート メンテナンス
クリーニング* [ENT]

8

終了するとき、**[END]**キーを数回押す

4

お手入れ

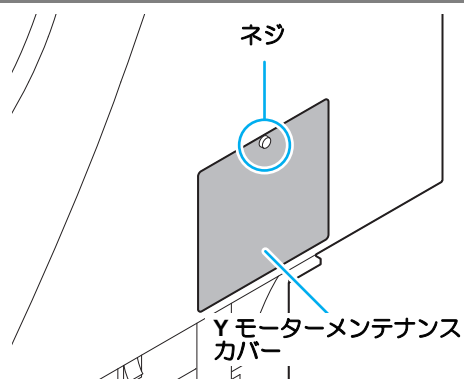
Y モーターの清掃

ワーニングメッセージ [Y モーターセイソウ] が表示されたら、次の手順で Y モーターの清掃をしてください。

1

電源を切ってから、Y モーターメンテナンスカバーを開ける

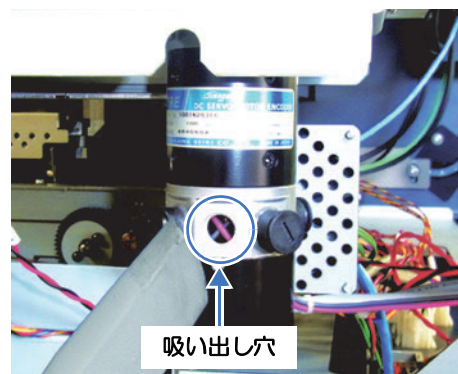
- Y モーターメンテナンスカバーのネジを外して、カバーを開けてください。



2

摩耗粉吸い出し用のフタを開け、摩耗粉吸い出し穴に溜まった摩耗粉を掃除機で吸い出す

- マイナスドライバーを使って、フタを開けてください。



3

摩耗粉吸い出し用のフタを元の状態に戻し、電源を入れる

- ディスプレイにはワーニングメッセージ [Y モーターセイソウ] が表示されます。

4

MAINT. キーを押して、ワーニングメッセージをクリアする

- ローカルに戻ります。

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。右のメッセージが表示されたら、速やかにワイパーを交換してください。
また、スライダー下面に付着したインクの清掃をしてください。

<ローカル>
ワイパー コウカン [MNT]

重要!

- ・クリーニングワイパー (SPA-0193) は別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

1

メッセージが表示されたら、**MAINT.** キーを押す

ワイパー コウカン
シッコウ [ENT]

2

ENTER キーを押す

- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

ワイパー コウカン
シュウリョウ [ENT]

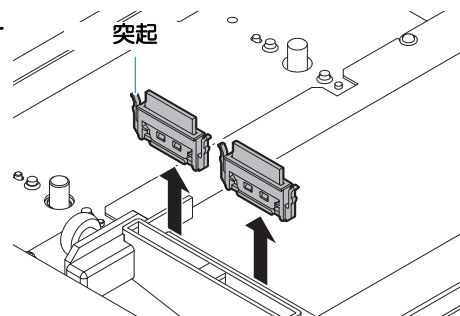
重要!

- ・交換作業が終了するまで、ディスプレイには[シュウリョウ :ENT]が表示されます。手順3までの作業が完了し右メンテナンスカバーを閉じてから**ENTER** キーを押してください。

3

右メンテナンスカバーを開けて、ワイパーを取り出す

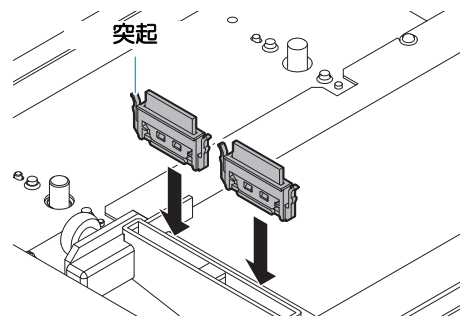
- ・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



4

新しいワイパーを差し込む

- ・ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。



5

右メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

- ・初期動作後、ローカルに戻ります。

* ショキカ チュウ *
シハラク オマチクタサイ

4

お手入れ

廃インクタンク確認メッセージが表示されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本装置の右下にある廃インクタンクにたまります。本装置では、インクの排出量をセンサーで監視し、一定の量になったら確認を促すメッセージを表示します。(廃インクタンク交換の目安としてお使いください。)

ローカルでの確認メッセージ

1 右のメッセージが表示される

<ローカル>
ハイインクタンク フル マチ`カ

または

<ローカル>
ハイインクタンク フル

または

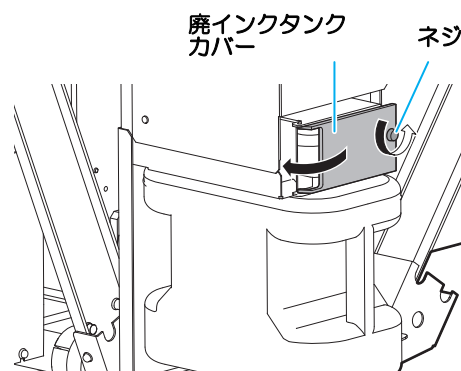
<ローカル>
ハイインクタンク ナシ

2 廃インクタンクを確認する

廃インクタンクを交換する

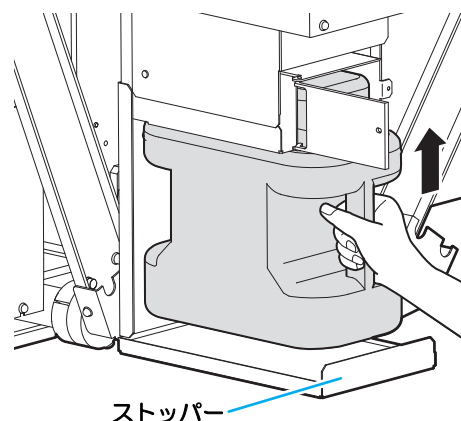
1 廃インクタンクカバーを開く

- 廃インクタンクカバーについているネジを取り外し、カバーを手前に開けます。



2 廃インクタンクを少し持ち上げる

- ストッパーに当たらない程度まで、廃インクタンクを持ち上げてください。

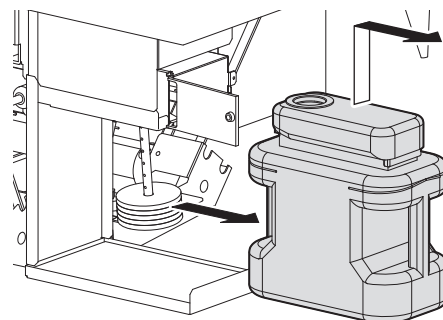
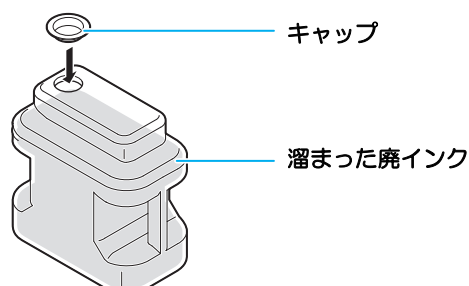


3

廃インクタンクを取り出す

- (1) 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引き出す
- (2) 廃インクタンクを持ち上げて、取り出す

・取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。



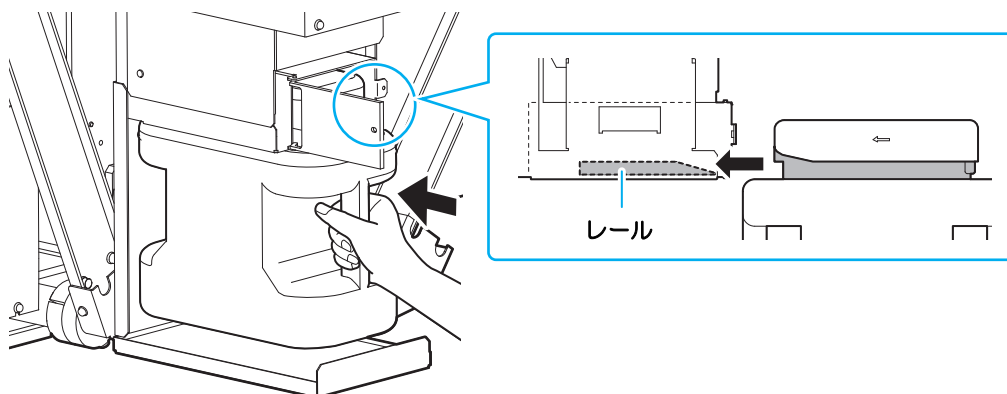
4

廃インクタンクを交換する

- (1) 新しい廃インクタンク (SPC-0197) を用意する
- (2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、レールに沿って差し込む
- (3) 廃インクタンクを持ち上げる



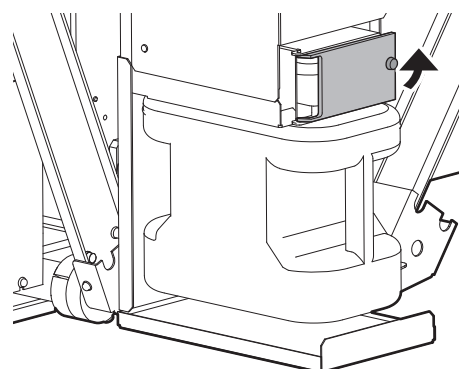
・手順3で取り出した廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。



5

廃インクタンクカバーを閉じる

- ・新しい廃インクタンクを認識したら、ワーニングメッセージが解除されます。



4

お手入れ

第5章

困ったときは



この章では ...

故障かな？と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

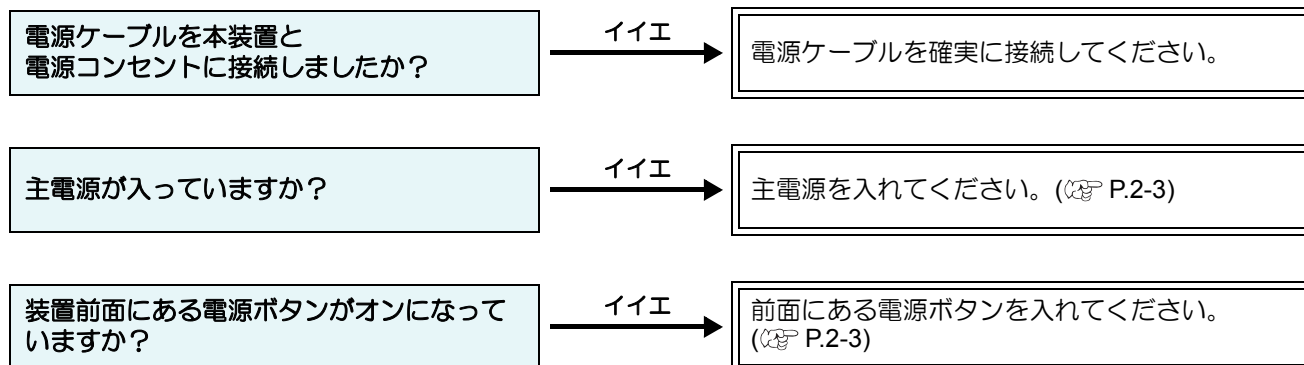
故障？と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる	5-3
[HEAT] ランプ, [CONSTANT] ランプが点灯しない	5-3
画質不良が発生したときは	5-4
ノズル詰まりを解消したいとき	5-4
インクボトルに異常が発生したら	5-5
サブタンク関連のエラー (エラー 618 ~ 61b) が発生したら	5-6
インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら	5-7
圧力異常が発生したら	5-9
ヘッド故障エラーを表示したら	5-11
メッセージを表示するトラブル	5-13
ワーニングメッセージ	5-13
エラーメッセージ	5-17

故障？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

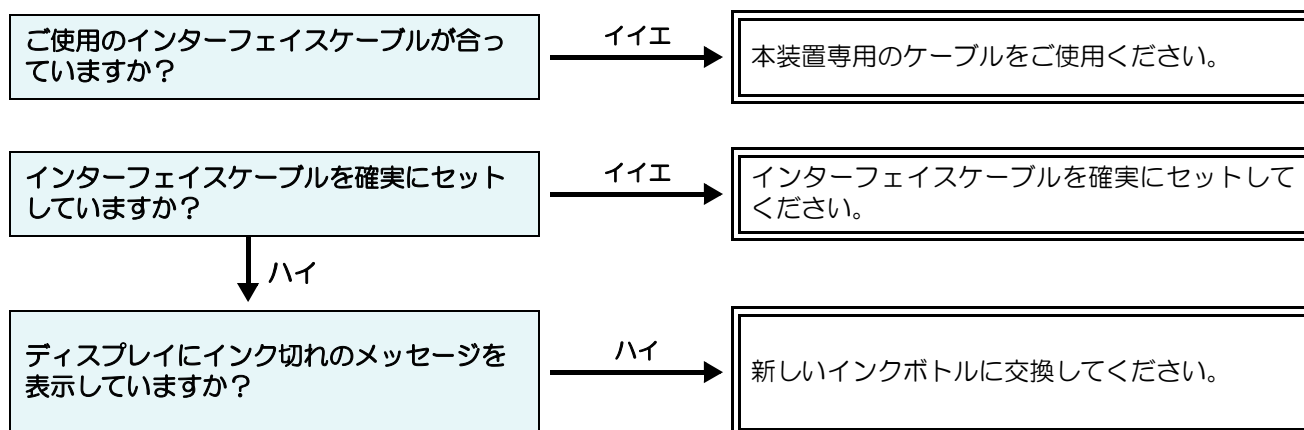
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。



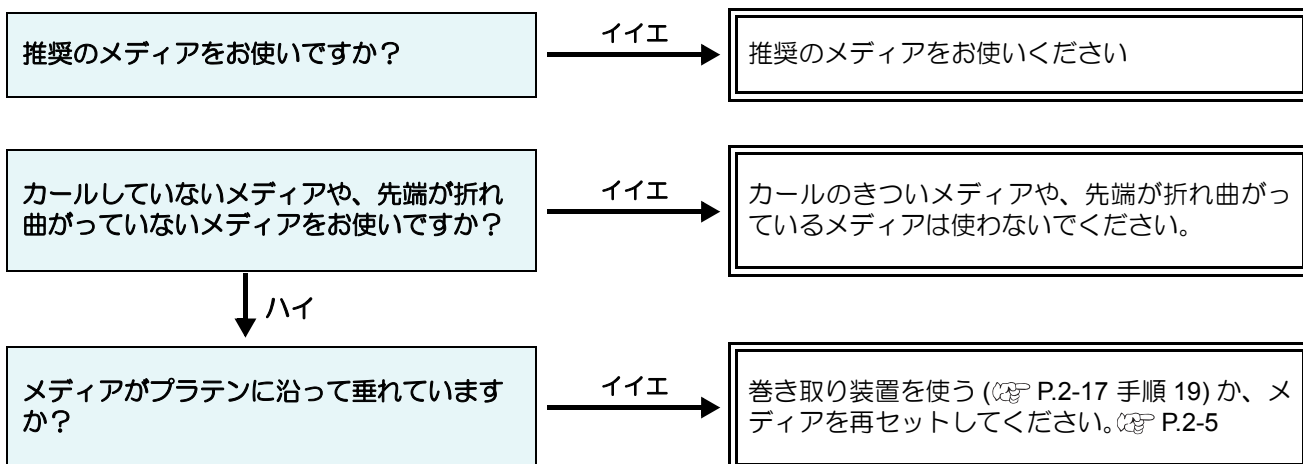
プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



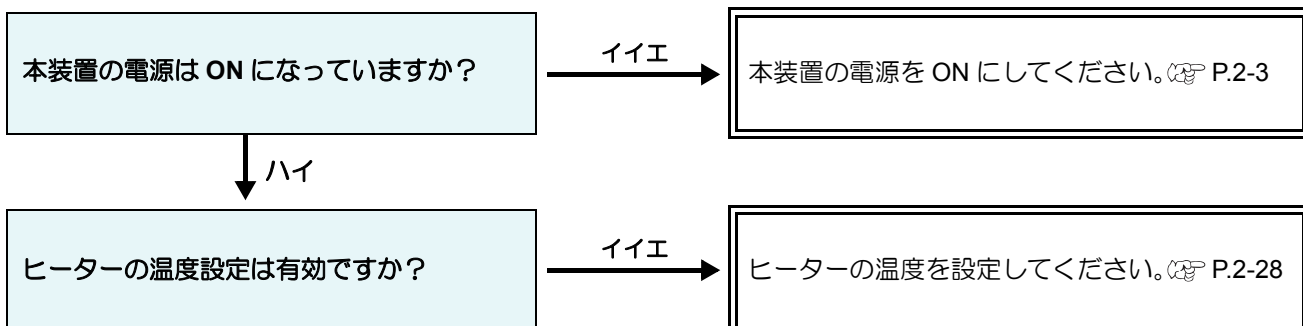
メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。



[HEAT] ランプ, [CONSTANT] ランプが点灯しない

基本操作を確認してください。



画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現 象	対処方法
白スジ / カスレ / 色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向）	(1) ヘッドクリーニングを行ってください。☞ P.2-33 (2) ステーション内部のメンテナンスをしてください。☞ P.4-9 (3) 「フィード補正」機能を実行してください。☞ P.2-34 (4) メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
文字が用紙送り方向に 2 重、3 重にブレる	(1) 「フィード補正」機能を実行してください。 ☞ P.2-34
往復印字でズレが発生する	(1) 「ドット位置補正」機能を実行してください。 ☞ P.2-38
プリント中にインク滴が落ちる	(1) ワイパーを清掃してください。☞ P.4-9 (2) インクキャップのクリーニングをしてください。 ☞ P.4-9 (3) ヘッドの周辺を清掃してください。☞ P.4-18 (4) ヘッドクリーニングの [ノーマル] を実行してください。 ☞ P.2-33 (5) ティキワイピングの動作間隔を、短く設定してください。 ☞ P.3-11

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-33 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の 2 つの項目を確認してください。

- P.4-20 の操作をして、ヘッドノズルの洗浄をしてください。
- P.4-22 の操作をして、ノズルリカバリをしてください。

インクボトルに異常が発生したら

インクボトルに異常が発生したら、インクボトルランプが「赤」点灯し、ワーニングメッセージを表示します。プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。

異常が発生したときは、次のようにしてください。

- ・インクカバーにセットしている IC チップが正しくセットされているか確認してください。
- ・速やかに新しいインクボトルに交換してください。

重要!

- ・インクボトル異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

インクボトル異常の詳細を表示する

次の操作をして、インクボトル異常の内容を確認できます。

1

ローカルモードで、**ENTER** キーを押す

Sb300	12345678
サンリョウ	34567899

2

ENTER キーを押す

インク IC ナシ
12345678

- ・複数のインクボトル異常が発生している場合、**ENTER** キーまたは、**◀▶** を押すと、順番に表示します。

サブタンク関連のエラー (エラー 618 ~ 61b) が発生したら

エラー 618 ~ 61b は、サブタンクに関するエラーです。
サブタンク関連のエラーが発生した場合、またはクリーニングでノズル詰まりが解消しない場合に、実行してください。

1 メンテナンスメニューの [サブタンク] を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [サブタンク] を選ぶ

2

ENTER キーを押す

サブ`タンク センタク
: 1 2 3 4 5 6 7 8

3

▲ **▼** **◀** **▶** を押して、メンテナンスするサブタンクを選ぶ

サブ`タンク センタク
: 1 2 3 4 _ 6 7 8

- **◀** **▶** : サブタンクを選択
- **▲** **▼** : メンテナンスする / しないを選択
- エラー 61b が発生した場合には、該当するサブタンクが選択されていますので、そのまま **ENTER** キーを押してください。

4

ENTER キーを押す

サブ`タンク
シ`ッコウ [ENT]

5

ENTER キーを押す

- 自動で排出、充填動作を行います。
- その後、クリーニングを行います。

** シ`ユウテン **
シハ`ラク オマチクタ`サイ

** クリーニング` **
シハ`ラク オマチクタ`サイ

6

終了するとき、**END** キーを数回押す

インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら

ヘッド内でインクが混色してしまった場合や空気の混入によるノズル抜けが発生した場合は、ヘッド内のインクや混入してしまった空気をポートから押し出してください。

- 重要!** ・以下の作業をしている間に、キャップ部からインクが漏れることがあります。
ウエスなどを使って、バルブ部のインク汚れ防止をしてください。

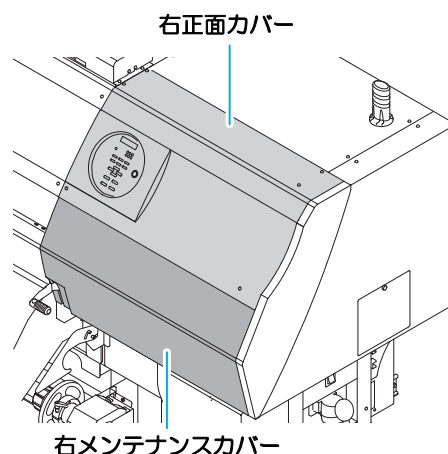
1 メンテナンスメニューの【クウキヌキ】を選ぶ

- (1) □ーカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して【メンテナンス】を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して【クウキヌキ】を選ぶ

2 **ENTER** キーを押す

クウキヌキ シュンヒ
カンリョウ [ENT]

3 右正面カバーと右メンテナンスカバーを外し、ヘッドカバーを外す



4 **ENTER** キーを押す

クウキヌキ
カイシ [ENT]

5 Yポートのバルブからインクを排出する

- ・Yポートのバルブにシリンジを差し込み、10cc程度のインクをゆっくりと吸い出します。

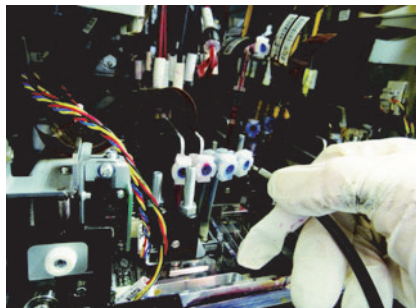
- 重要!** ・作業をするときは、インクが飛び散らないようにご注意ください。
・基板が近くにありますので、ウエスなどで養生してください。



6

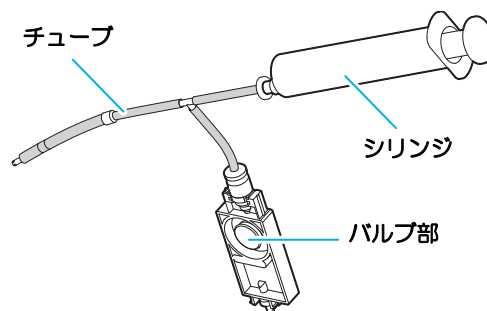
インクポートのバルブへ、加圧ダンパ付きシリンジをセットする

- インクポートのバルブに加圧ダンパ付きシリンジを差し込み、5cc 程度のインクをゆっくりと (1cc あたり 3 秒くらいの速さで) 吸い出します。



重要!

- 加圧ダンパ付きシリンジのバルブ部分は押さないでください。インクの吸引ができなくなります。
- シリンジ内にたまったインクを廃棄するときは、シリンジ部分をチューブから取り外してから廃棄してください。シリンジ部分を取り外すと、チューブ内に残ったインクが流れ落ちます。周囲を汚さないようにウェス等で養生してから作業することをお勧めします。



7

混色したインクや混入した空気を排出させる

- 排出したインクや空気はエア抜き治具のボトルの中に溜まります。
- 混色したインクや混入した空気が完全に無くなるまで排出させてください。完全に排出されると、混色していないインクが排出されます。

8

空気抜きを行う全てのポートに対して、手順 5 ～ 7 の作業を行う

9

全ての作業が終わったら、**ENTER** キーを押す

クウキヌキ
シュウリョウ [ENT]

10

ENTER キーを押して空気抜きを終了する

- ポートを閉じます。
- 空気抜きをし忘れたポートがある場合、**▶** を押すと手順 4 に戻ります。

クウキヌキ
シュウリョウ < > リトライ

11

◀ キーを押す

- クリーニングを行います。

** クリーニング **
シハﾞラク オマチクタ`サイ

12

終了するとき、**END** キーを数回押す



- 空気抜き作業中のまま長時間放置すると、キャップ部からインクが漏れる場合がありますのでご注意ください。
- 本機は、空気抜き作業が 20 分以上経過すると、インクあふれ防止のため空気抜き作業を強制終了します。

圧力異常が発生したら

使用環境や経年変化により、本機で管理している圧力が制御範囲を超えてしまう場合があります。圧力異常に関するエラーが発生した場合、以下を実施してください。

重要! ・圧力異常が発生したら、速やかに次の手順で圧力を調整し、正常な値に戻してください。

1

メンテナンスメニューの[アツリョク チョウセイ]を選ぶ

- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [アツリョク チョウセイ] を選ぶ

2

▲ **▼** を押して、セイアツ/フアツを選ぶ

アツリョク チョウセイ
: フアツ

3

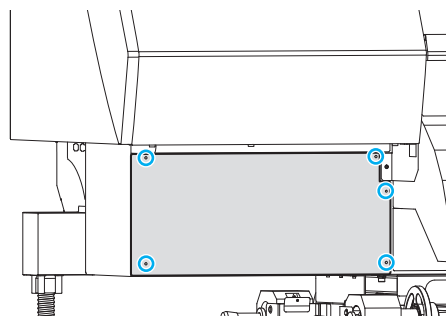
ENTER キーを押す

スロットル バルブ フ カイホウ
シュウリョウ [ENT]

4

左メンテナンスカバー下のカバーを取り外す

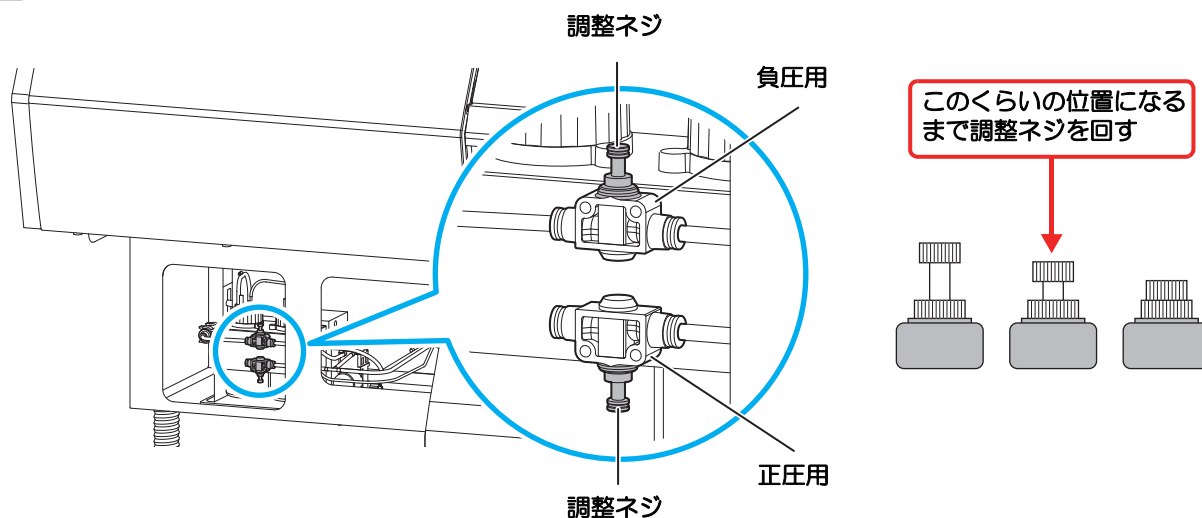
- ・図の丸部分のネジ (5箇所) を外して、カバーを取り外します。



5

スロットルバルブの調整ネジを回し、空気が流れるように開放する

- ・スロットルバルブの調整ネジが中間地点に来るまで回してください。



5

困ったときは

6

ENTER キーを押す

- センサの調整が始まります。

** チョウセイ **
シハ`ラクオマチクタ`サイ

7

スロットバルブ調整ネジを回して、圧力が適正値になるように調整する

- 負圧の適正値：-4.00kPa
正圧の適正値：15.00kPa
- 負圧では ± 0.1 kPa の範囲で変動するため、中間値が目標の圧力になるように調整してください。

アツリヨク
-4.00 kPa (-4.00)
現在の圧力値 目標圧力値

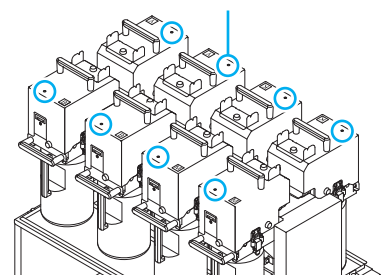


- 圧力はディスプレイ表示以外にも、ブザーとインクボトルランプでお知らせします。
- 負圧では ± 0.1 kPa の範囲でブザーが停止します。正圧では ± 1.0 kPa の範囲でブザーが停止します。

- 各圧力値でのランプとブザーの状態

	圧力		インクボトルランプ	ブザー
	正圧	負圧		
高い	～ 8.49	～ -3.35	○○○○○ ○○○●	鳴動
	8.50 ～ 9.49	-3.36 ～ -3.45	○○○○○ ○○●●	
	9.50 ～ 10.49	-3.46 ～ -3.55	○○○○○ ○○●●	
	10.50 ～ 11.49	-3.56 ～ -3.65	○○○○○ ●●●●	
	11.50 ～ 12.49	-3.66 ～ -3.75	○○○○○ ●●●●	
	12.50 ～ 13.49	-3.76 ～ -3.85	○○○○○ ●●●●	
	13.50 ～ 13.49	-3.86 ～ -3.95	○○●●● ●●●●	停止
適正値	14.50 ～ 15.49	-3.96 ～ -4.05	Y Y K K ●●●● B B M M	停止
低い	15.50 ～ 16.49	-4.06 ～ -4.15	●●●●● ●●●●	停止
	16.50 ～ 17.49	-4.16 ～ -4.25	●●●●● ●●●●	鳴動
	17.50 ～ 18.49	-4.26 ～ -4.35	●●●●● ●●●●	
	18.50 ～ 19.49	-4.36 ～ -4.45	●●●●● ●●●●	
	19.50 ～ 20.49	-4.46 ～ -4.55	●●●●● ●●●●	
	20.50 ～ 21.49	-4.56 ～ -4.65	●●●●● ●●●●	
	21.50 ～ 22.49	-4.66 ～ -4.75	●●●●● ●●●●	
	22.50 ～ 23.49	-4.76 ～ -4.85	●●●●● ●●●●	
	23.50 ～	-4.86 ～	●●●●● ●●●●	

インクボトルランプ



8

ENTER キーを押す

- エラーが解除され、負圧制御が始まります。

シハ`ラクオマチクタ`サイ

重要!

- 圧力調整を実施してもエラーが発生する場合、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

ヘッド故障エラーを表示したら

本機の電源を入れたとき、ディスプレイに次のようなヘッド故障エラーが表示したときの対処方法を説明します。

対象となるヘッド故障エラー

ここに掲載していないヘッド故障エラーが表示した場合は、一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

エラー番号	原因	エラー番号	原因
ERROR 108 (HD CONNECT)	ヘッドの接続が確認できなかった。	ERROR 1ab (HD THERMIS)	ヘッドの温度が読み取れなかった
ERROR 12e (HEAD Failed/ HDD)	ヘッド、波形ドライバの異常が発生した。	ERROR 1ad (HD TYPE)	ヘッドタイプが異なる
ERROR 1ac (HD MEM EMP)	ヘッドメモリにデータがない		

重要!

ヘッド故障エラー発生中には、使用可能なヘッドのみを使用して、引き続き機能を継続できます。

- ヘッドの一部が故障している場合
 - ⇒ 故障していないヘッドを使用して、引き続きプリントできます。
 - ⇒ メディア補正 (P.2-34)・ドット位置補正 (P.2-38)・テストプリント (P.2-31) は、故障ヘッドを使用しないでテストパターンのプリントを行います。
 - ⇒ 故障したヘッドでのフラッシング動作は行いません。
- 全てのヘッドが故障している場合
 - ⇒ クリーニング等のメンテナンスのみ行うことができます。
 - ⇒ 故障したヘッドでのフラッシング動作は行いません。
 - ⇒ オートメンテナンス機能 (P.4-26) の“リフレッシュ”は使用できなくなります。
(クリーニングは行います。)

エラーが発生したときの対処方法

1 ディスプレイにエラー番号が表示される

```

ERROR 108
HD CONNECT[123456 ]

```



```

ERROR 108
[ENT]ヲ オンテクタ*サイ

```

2 **ENTER** キーを押す

```

ト*ウサ セイケン
ヘット* センタク [ENT]

```

- 重要!** ・全てのヘッドが使用できない場合は、右の画面を表示します。
 この場合、メンテナンス動作のみ可能となります。

```

ト*ウサ セイケン
フ*リント フカ [ENT]

```

3 **ENTER** キーを押す
 ・ヘッドラインの選択画面が表示されます。

```

ヘット* センタク
: HEADline1&2

```

4 **▲** **▼** を押して、使用するヘッドラインを選択する

- ・エラーのあるヘッドは選択できません。
 (ヘッドライン2が故障している場合、“HEADline1&3”は選択できません)

```

ヘット* センタク
: HEADline1&2

```

5 メディア選択画面を表示し、使用可能な状態となる

```

メディア センタク
ロール < > リーフ

```

- 重要!** ・プリント中は、故障ヘッドを含むヘッドラインは“X”で表示されます。

```

1200x1200 R/MP /12X
16/B/V/x2/W1 10.00m

```


メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

操作を実行したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
シッコウ テキマセン : カバーオープン	フロントカバーまたはメンテナンスカバーが開いている。	・フロントカバー、メンテナンスカバーを確認してください。 カバーを閉めても、再度表示する場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
シッコウ テキマセン : メディア ミケンシュツ	メディア未検出。	・メディア検出を行ってください。
シッコウ テキマセン : MOTOR POWER OFF	カバーオープン後など、モーターが OFF している。	・フロントカバーやメンテナンスカバー(左右)を閉めてください。
シッコウ テキマセン : インク エラーアリ	インクエラーが発生している。	・表示しているカラーに対応する供給経路のインクボトルを確認してください。
シッコウ テキマセン : プリントエラーアリ	データを受信している。	・データクリアを実行してください。 (P.2-41)

ローカルで表示されるメッセージ

表示	原因	対処方法
<ローカル> プリントフカ/インクボトル[ENT]	複数のインクエラー(使用不可インク)が発生している。 インクの供給(プリントやクリーニングなど)が行えない。	・ ENTER キーを押して、該当インクボトルとエラー内容を確認し、使用可能インクボトルと交換してください。
<ローカル> ハイインクタンク フル	廃インクタンクがフル状態。	・廃インクタンクを確認してください。
<ローカル> ハイインクタンク フル マチカ	廃インクタンクがフル間近。	
<ローカル> ハイインクタンク ナシ	廃インクタンクがセットされていない。	・廃インクタンクをセットしてください。
<ローカル> ワイパー コウカン [MNT]	キャッピングステーションのワイパー交換時期 (ワイピング回数が規定値に達した。)	・ MAINT. キーを押して、ワイパーを交換してください。(P.4-29)
<ローカル> *メディアカ* アリマセン*	メディアがセットされていない。 センサーの故障。	・メディアをセットしてください。(P.2-5) 再度表示される場合は、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
<ローカル> プリントエラーアリ	データ受信済み。	・ REMOTE キーを押してプリントを実施してください。 またはデータクリアを実行してください。

表示	原因	対処方法
ローカル ファツ イシ ヨウ	負圧センサーの値が異常になっている。	メンテナンスの「アツリョクチョウセイ (P.5-9)」を実施してください。正常な値に調整できない、または実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ローカル セイアツ イシ ヨウ	正圧センサーの値が異常になっている。	
ローカル ファツ チョウセイ	圧力調整が必要になっている。	
ローカル インク ニアエント [ENT]	インクボトルのインクが少なくなった。	ENTER キーを押し、該当するインクボトルを確認してください。間もなくインクエンドとなるので、注意してください。
ローカル インク キゲンキレ [ENT]	インクボトルの使用有効期限が切れている。	消費期限を過ぎました。ただし、翌月末まで使用することができます。
ローカル キゲンキレ (1M) [ENT]	インクボトルの使用有効期限が切れている (期限切れから 1 ヶ月経過)。	消費期限より 1 か月以上過ぎています。ただし、当月末まで使用することができます。 (インクボトルランプが赤点減します)
ローカル キゲンキレ (2M) [ENT]	インクボトルの使用有効期限が切れている (期限切れから 2 ヶ月経過)。	消費期限より 2 か月以上過ぎています。ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
ローカル インク キョウキュウ : MMBBYYKK	サブタンクへのインク補充に失敗した。	メンテナンスの「サブタンク (P.5-6)」を実施してください。またインクボトル内のインク残量も確認してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ローカル サブタンク センサー : MMBBYYKK	サブタンクの液面センサの異常を検出した。	1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ローカル インクオーバーフロー : MMBBYYKK	サブタンクからのオーバーフローを検出した。	メンテナンスの「サブタンク (P.5-6)」を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ローカル タンクセンサー High : MMBBYYKK	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー High に変化がない。	
ローカル タンクセンサー Low : MMBBYYKK	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー Low に変化がない。	
ローカル タツキモジュール コウカン	インク経路内の脱気モジュールが交換間近になった。(使用開始より 1 年が経過)	脱気モジュールを交換する必要があります。販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ローカル ソウチオント / タカイ*** °C	装置の温度が高い。	使用環境の温度を調整してください。
ローカル ソウチオント / ヒクイ*** °C	装置の温度が低い。	
ローカル Y モーター セイソウ [MNT]	Y モーターの清掃時期になった。	- 電源を OFF にし、Y モーターの吸い出し窓から摩耗粉を吸い取ってください。(P.4-28) - 清掃後、MAINT. キーを押してください。
ローカル Y モーター フラシ コウカン	Y モーターのブラシ交換時期になった。	Y モーターのブラシ交換時期になりました。販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。

表示	原因	対処方法
<ローカル> ヒーター イシ ヨウ	外部ヒーターの異常を検出した。	• 販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。 • 外部ヒーターを使用しない場合は、セッテイモードの「ヒーター」(P.3-3) で外部ヒーターの設定を“OFF”にすると、プリントができるようになります。
<ローカル> ヒーター セツソク イシ ヨウ	外部ヒーターが正しく接続されていない。	• 本機と外部ヒーターの接続を確認してください。 • 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。 • 外部ヒーターを使用しない場合は、セッテイモードの「ヒーター」(P.3-3) で外部ヒーターの設定を“OFF”にすると、プリントができるようになります。
<ローカル> マキトリ カバー OPEN	メディア巻取装置のカバーオープンを検出した。	• メディア巻取装置のカバーを確認してください。カバーを閉めても再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> マキトリ LIMIT ケンシュツ	メディア巻取装置の制御リミットセンサーを検出した。	• 巻取側のテンションバーの位置を下げてください。下げても再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> マキトリ イシ ヨウ	メディア巻取装置の巻取状態に異常が発生した。	• メディアがメディア巻取装置に正しくセットされているか確認してください。 • メディア巻取用の紙管が空回りしていないか確認してください。
<ローカル> クリタシ カバー OPEN	メディア繰出装置のカバーオープンを検出した。	• メディア繰出装置のカバーを確認してください。カバーを閉めても再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> クリタシ LIMIT ケンシュツ	メディア繰出装置の制御リミットセンサーを検出した。	• 繰出側のテンションバーの位置を下げてください。下げても再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> クリタシ イシ ヨウ	メディア繰出装置の巻取状態に異常が発生した。	• メディアがメディア繰出装置に正しくセットされているか確認してください。 • ロールメディアの紙管が空回りしていないか確認してください。
ミスト フィルター ヲ コウカン シテクタサイ [ENT]	ミストフィルターの交換時期になった。	• 別冊の「日常のお手入れのお願い」を参照して、ミストフィルターの交換をしてください。
!レフトヒータ タンセン !センターヒータ タンセン !ライトヒータ タンセン	乾燥用ヒータが断線している。	• 1度主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。

インクエラー

インクエラーは、ローカルガイダンスでも表示されます。(P.3-45)

表示	原因	対処方法
インク IC ナシ :----- YYKK	インクボトルの IC チップが正常に読み込めない。	- ワーニングが発生している IC チップを再挿入してください。 - ワーニングが解消しない場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
インク IC イシ[〃]ヨウ :----- YYKK		
インク シュレイ :----- YYKK	インクボトルのインク種類が、充填してあるインクと異なる。	- ワーニングが発生しているインクボトルのインク種類を確認してください。 - IC チップの確認をしてください。
インク カラー :----- YYKK	インクボトルのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	- ワーニングが発生しているインクボトルのインクカラーを確認してください。 - IC チップの確認をしてください。
インクボ[〃]トル イシ[〃]ヨウ :----- YYKK	インクボトルの IC チップ情報に異常が生じた。	ワーニングが発生しているインクボトルを交換してください。
インクボ[〃]トル ナシ :----- YYKK	インクボトルが外部インク供給ユニットにセットされていない。	ワーニングが発生しているボトルホルダーにインクボトルをセットしてください。
インクボ[〃]トル エント[〃] :----- YYKK	インクボトルのインクがなくなった。	ワーニングが発生しているインクボトルを交換してください。
インクボ[〃]トル ニア エント[〃] :----- YYKK	インクボトルのインクが少なくなった。	ワーニングが発生しているインクボトルを交換してください。
インクボ[〃]トル カクニン :----- YYKK	十分なインク量があるのに、インクエンドが検出された。	インクボトルのセット状態を確認してください。
インク キケ[〃]ンキ[〃]レ :----- YYKK	インクボトルの使用有効期限が切れている。	消費期限を過ぎました。 ただし、翌月末まで使用することができます。
インク キケ[〃]ンキ[〃]レ(1カケ[〃]ツ) :----- YYKK	インクボトルの使用有効期限が切れている(期限切れから1ヶ月経過)。	消費期限より1か月以上過ぎています。 ただし、当月末まで使用することができます。(インクボトルランプが赤点減します)
インク キケ[〃]ンキ[〃]レ(2カケ[〃]ツ) :----- YYKK	インクボトルの使用有効期限が切れている(期限切れから2ヶ月経過)。	消費期限より2か月以上過ぎています。 ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

表示	原因	対処方法
ERROR 108 HD CONNECT[12345678]	ヘッドの接続が確認できなかった。	- 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 - 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 108 HD THERMIS[12345678]	ヘッドの温度が読み取れなかった。	
ERROR 12a HDC SPEED	インク吐出波形に異常が発生した。	
ERROR 12e HeadFaild /HDC[xxxx]	ヘッド、波形ドライバの異常が発生した。	
ERROR 122 CHECK:SDRAM	PRAM がない。	
ERROR 128 HDC FIFO OVER	- データ転送が速すぎる - 制御基板に異常が発生した	
ERROR 128 HDC FIFO UNDER	- データ転送が遅すぎる - 制御基板に異常が発生した	弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 129 バッテリー コウカン	内部時計の電池切れを検出した。	
ERROR 130 HD DATA SEQ	ヘッドデータ 転送エラーが発生した。	
ERROR 146 E-LOG SEQ	イベントログのシーケンシャルナンバー異常が発生した。	
ERROR 151 Main PCB V1R2	メイン基板 1.2V 電源に異常が発生した。	
ERROR 152 Main PCB V2R5	メイン基板 2.5V 電源に異常が発生した。	
ERROR 153 Main PCB V3R3	メイン基板 3.3V 電源に異常が発生した。	
ERROR 154 Main PCB V05	メイン基板 5V 電源に異常が発生した。	
ERROR 155 Main PCB V36-1	メイン基板 36-1V 電源に異常が発生した。	
ERROR 156 Main PCB V5B	メイン基板 5VB 電源に異常が発生した。	
ERROR 157 Main PCB VTT	メイン基板 VTT 電源に異常が発生した。	
ERROR 158 Main PCB V36-2	メイン基板 36-2V 電源に異常が発生した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 16e Main PCB V3R3B	メイン基板 3.3VB 電源に異常が発生した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 18a Main PCB V_CORE	メイン基板 VCORE 電源に異常が発生した。	
ERROR 18b Main PCB V1R5B	メイン基板 1.5V 電源に異常が発生した。	
ERROR 18c Main PCB V12	メイン基板 12V 電源に異常が発生した。	
ERROR 15f HEAD DRIVE HOT	COM ドライバが高温になっている。	
ERROR 171 NEW HEAD CONNECT	新しいヘッドの接続を認識した。	
ERROR 172 Main PCB Q6 Check	メイン基板 Q6 が故障（ショートモード）している。	
ERROR 186 HDC OVERFLOW	印字している波形の異常を検出した。	
ERROR 186 HDC UNDERFLOW		
ERROR 187 HDC SLEW RATE		
ERROR 188 HDC MEMORY		
ERROR 18e FLS NOT COMP [12__]	フラッシング制御異常	
ERROR 18f OFFSET START [12__]	ヘッド電圧制御異常	
ERROR 18f OFFSET END [12__]		
ERROR 19d HDC V36 [xxxx]	HDC 基板電圧に異常が発生した。	
ERROR 201 COMMAND	コマンドデータ以外のデータを受信した。	• インターフェイスクーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスクーブルを使用してください。
ERROR 202 PARAMETER	数値範囲外のパラメーターを受信した。	
ERROR 203 Ment Command	メンテナンスコマンドの動作に失敗した。	
ERROR 304 USB INIT ERR	USB デバイスの初期化に失敗した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

表示	原因	対処方法
ERROR 305 USB TIME OUT	USB デバイスにタイムアウトエラーが発生した。	- 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 - 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 401 モーターアラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 402 モーターアラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 403 X オーバーカレント	X モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 404 Y オーバーカレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 423 マキトリ テンションバー	プリント開始時のメディアセットチェックで、巻取テンションバーに異常を検出した。	メディアセット状態を確認し、問題を取り除いてください。
ERROR 424 クリタシ テンションバー	プリント開始時のメディアセットチェックで、繰出テンションバーに異常を検出した。	メディアセット状態を確認し、問題を取り除いてください。
ERROR 425 マキトリ イシヨウ	巻取装置の巻取状態に異常が発生した。	- メディアが巻取装置に正しく巻き取られているか確認してください。 - メディアを巻き取っている紙管が空回りしていないか確認してください。
ERROR 426 クリタシ イシヨウ	繰出装置の繰出状態に異常が発生した。	- メディアが繰出装置に正しく巻き取られているか確認してください。 - メディアが空回りしていないか確認してください。
ERROR 427 マキトリ カバー OPEN	プリント中に巻取カバーが開いた。	巻取カバーを閉めてください。
ERROR 428 クリタシ カバー OPEN	プリント中に繰出カバーが開いた。	繰出カバーを閉めてください。
ERROR 429 マキトリ LIMIT ケンシュツ	プリント中に巻取リミットセンサーを検出した。	テンションバーを下げるか、退避してください。
ERROR 42a クリタシ LIMIT ケンシュツ	プリント中に繰出リミットセンサーを検出した。	テンションバーを下げるか、退避してください。
ERROR 44d ステーション イチ イシヨウ	ステーション位置に異常が発生した。	- 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 - 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

表示	原因	対処方法
ERROR 505 メディアアシyam	メディア詰まりが発生した。	・メディアを取り除き、再セットしてください。
ERROR 50c メディアハハセンサー カクニン	メディア幅を正しく検出できなかった。	・メディアのセット位置を確認してください。(P.2-11、P.2-24)
ERROR 509 HDC POSCNT	HDC ポジションカウンターエラーが発生した。	・一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 50a Y ケンテン ケンシュツ	Y 原点検出ができなかった。	
ERROR 50f L-SCALE BLACK	リニアスケール異常が発生した。	
ERROR 519 ファツ センサー イシヨウ	負圧センサーの値が異常になっている	・メンテナンスの「アツリョクチョウセイ (P.5-9)」を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 51a セイファツ センサー イシヨウ	正圧センサーの値が異常になっている	
ERROR 617 サブタンク センサー: 12345678	サブタンクの液面センサ異常を検出した。	・一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 618 タンクサニリョウH : 12345678	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー High に変化がない。	・メンテナンスの「サブタンク (P.5-6)」を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 619 タンクサニリョウL : 12345678	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー Low に変化がない。	
ERROR 61a インクオーバーフロー: 12345678	サブタンクからのオーバーフローを検出した。	
ERROR 61b インク キョウキュウ : 12345678	サブタンクへのインク供給ができなかった。	・メンテナンスの「サブタンク (P.5-6)」を実施してください。またインクボトル内のインク残量も確認してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 61c ファツ セイキョ	負圧制御開始異常	・メンテナンスの「アツリョクチョウセイ (P.5-9)」を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 61d ファツ イシフソク	負圧を維持できなかった	
ERROR 61e ファツ イシオーバー		
ERROR 61f セイファツ セイキョ	正圧制御開始異常	

表示	原因	対処方法
ERROR 620 セイアツ イシ`フソク	正圧を維持できなかった	メンテナンスの「アツリョクチョウセイ (P.5-9)」を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 621 セイアツ イシ`オーハ`ー		
ERROR 627 インクボ`トル セット	一定時間以上インクボトルが挿入されていないスロットがある。	インクボトルをセットしてください。
ERROR 637 インクモレ 1`ー	インク供給経路内のインク漏れを検出した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 649 ファツ チョウセイ	圧力調整が必要になっている。	メンテナンスの「アツリョクチョウセイ (P.5-9)」を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 702 サーミスタ イシ`ヨウ	サーミスタ異常が発生している。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 707 !HD ヒー`タ タ`ンセン	ヘッドのヒーターが断線している。	
ERROR 901 シ`ツコウ テ`キマセン	実行できない操作を実行しようとした。	
ERROR 902 ミサクス` テ`ータ アリ	プリントデータが残っている。	データクリアを実行してください。(P.2-41)
ERROR 90d ヘッ`ト センタク ナシ	搭載ヘッド数が0となっている。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 910 シツオン ヒクイ	環境温度が使用可能温度範囲外 (低い) になっている。	設置環境の温度を調整してください。
ERROR 911 シツオン タカイ	環境温度が使用可能温度範囲外 (高い) になっている。	

SYSTEM HALT

表示	対処方法
SYSTEM HALT (*). 000: メッセ`ジ`	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。番号を確認のうえ、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。("000" はエラー No.)

第6章 付録



この章では ...

本機の仕様一覧表や、 機能の一覧表を記載しています。

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
インク種によるセットの違いについて	6-4
インクボトルのセット順	6-4
お問い合わせシート	6-5
警告ラベルについて	6-6
機能フローチャート	6-8

本体仕様

項 目		仕 様
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	6 ヘッド : 3 スタガ 2 インライン配列
プリントモード (スキャンxフィード)	4 色	300x300 : 双方向 / 単方向 1/2/4 pass (ノーマルモードのみ) 300x300HQ : 双方向 / 単方向 2/4/8 pass (ノーマルモードのみ) 300x450HQ : 双方向 / 単方向 3/6/12 pass (ノーマルモードのみ) 600x600 : 双方向 / 単方向 4/8/16 pass 600x900 : 双方向 / 単方向 6/12/24 pass 600x1200 : 双方向 / 単方向 8/16/32 pass
	6 色以上	300x300 : 双方向 / 単方向 2/4/8 pass (ノーマルモードのみ) 300x300HQ : 双方向 / 単方向 4/8/16 pass (ノーマルモードのみ) 600x450 : 双方向 / 単方向 6/12/24 pass 600x600 : 双方向 / 単方向 8/16/32 pass 600x900 : 双方向 / 単方向 12/24/48 pass 600x1200 : 双方向 / 単方向 16/32/64 pass
使用可能インク	4 色	Sb300 インク (Y,M,B,K)
	6 色	Sb300 インク (Y,M,B,K,Lb,Lm)
インク供給		2L x 8 ボトル供給 (4 色時は UISS 切替可能 / 6 色時は Y,K のみ UISS 切替可能 / 使用済みインクボトルの残インクは、新ボトルに継足可)
インク容量	4 色	2L ボトル各色 2 本
	6 色	M,B,Lm,Lb,:2L ボトル各色 1 本 Y,K:2L ボトル各色 2 本
使用可能メディア		転写紙前処理済みポリエステル素材
最大プリント範囲		1820mm
ロール メディアサイズ	最大幅	1910mm
	最小幅	297mm
	厚さ	0.2mm 以下
	ロール外径	Φ300mm 以下
	ロール重量 *1	60kg 以下
	紙管内径	3 インチ
	プリント面	内巻き / 外巻き不問
	巻終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着
リーフメディア サイズ	最大幅	1910mm
	最小幅	297mm
プリントマージン	リーフメディア	左右 : 15.0 mm (デフォルト値) 前 :150.0 mm 後 : 400 mm
	ロールメディア	左右 : 15.0 mm (デフォルト値) 前 :150.0 mm 後 : 0 mm
距離精度	絶対精度	± 0.3 mm または指定距離の ± 0.3 % の大きい方
	再現性	± 0.2 mm または指定距離の ± 0.1 % の大きい方
直角度		± 0.5 mm / 1000 mm
メディアスキュー		5 mm 以下 / 10 m
ヘッド高さ調整		1.5mm ~ 7mm 無段階ユーザー設定 (メディア厚み自動認識)
排紙		ロール巻き取り装置標準 (内巻き / 外巻き 切替可能) 3 インチ専用
廃インクタンク		ボトル式 (3200 cc) / センサーによる検出を行う
インターフェイス		USB 2.0
コマンド		MRL- Ⅲ

項 目		仕 様
騒音 *2	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, ETL, CE マーキング (EMC 指令、低電圧指令、機械指令), CB レポート, RoHS 対応
電源仕様		AC200 - 240±10%, 50/60Hz±1Hz, 20A 以下
消費電力 *3		4800 W
設置環境	使用可能温度	20 °C ~ 30 °C (68°F ~ 86°F)
	相対湿度	35 ~ 65% Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20 °C ~ 25 °C (68°F ~ 77°F)
	温度勾配	±10 °C / h 以下
	粉塵	0.15mg/m ³ (オフィス相当)
	最高動作高度	2000 m
重量	プリンタ本体	750 kg
	外部インク供給ユニット	30 kg
外形寸法 *4	プリンタ本体	3830 mm(W) x 1440 mm(D) x 1700mm(H)
	外部インク供給ユニット	775 mm(W) x 490 mm(D) x 785mm(H)

*1. ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと。

*2. 67.7dB(A), 動作条件：全負荷 測定方法：機械指令 2006/42/EC の 1.7.4.2 項に準じる。

*3. 本体とヒーターを含む。

*4. 巻取装置 / 繰出装置が水平になっている場合

インク仕様

項 目		仕 様
形態		2L インクボトル
色	4 色	ブラックインク ブルーインク マゼンタインク イエローインク
	6 色	ブラックインク ブルーインク マゼンタインク イエローインク ライトブルーインク ライトマゼンタインク
インク容量		2 リットル
有効期限		有効期限は、インクボトルに記載されている通り。 ただし、開封後は期限内であっても 3ヶ月以内。
保存温度	保存時	1 ~ 40 °C (40 °C の場合、1ヶ月以内)
	輸送時	1 ~ 60 °C (60 °C の場合 120 時間以内、40 °C の場合 1ヶ月以内)

重要!

●インクボトルを分解しないでください。

●インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。

- ・万が一インクが凍結したときは、室温 (25 °C) で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
ただし、解凍したインクを使用すると、インクの変質によりプリント品質が劣化します。インクが凍結しない環境で保管してください。

インク種によるセットの違いについて

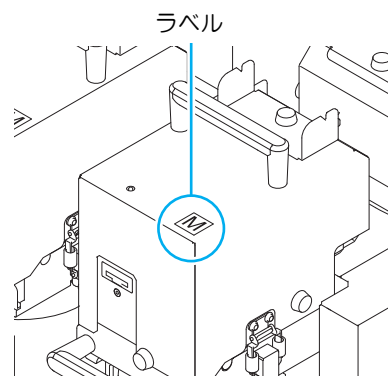
ご使用になるインク種によって、設定値やインクボトルのセット順が異なります。

インクボトルのセット順

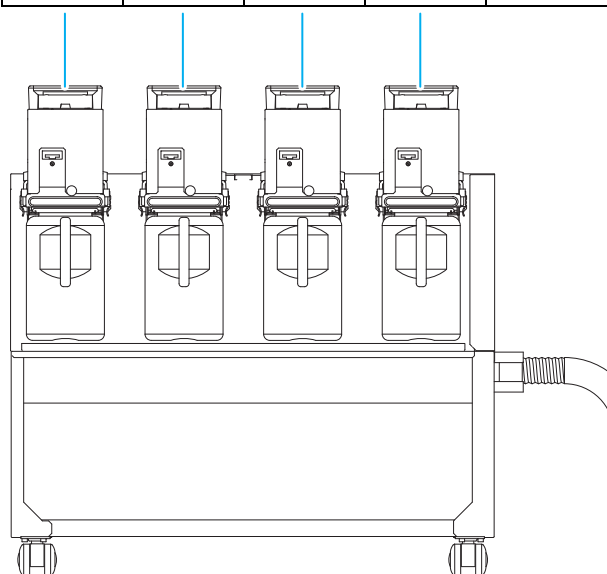
お使いになるインクセットによって、インクステーションにセットするインクボトルの順番が異なります。



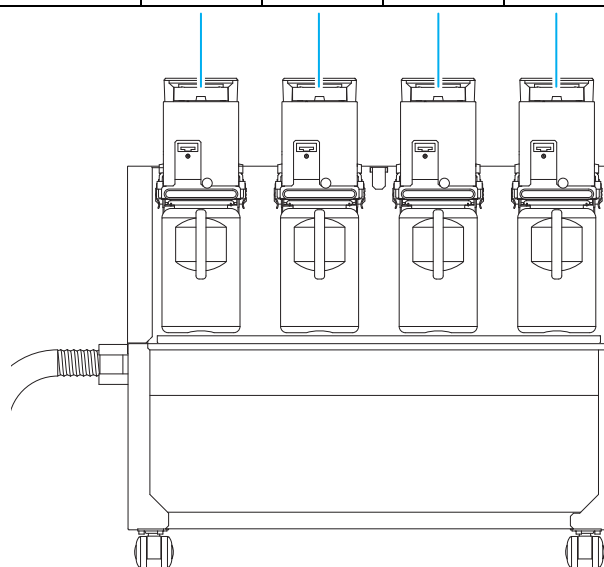
- ・インクカバーの天面に貼り付けてあるラベルに合わせ、インクボトルをセットしてください。



B	B	M	M	4色モデル	K	K	Y	Y
Lb	B	Lm	M	6色モデル	K	Y	K	Y



正面側



背面側

お問い合わせシート

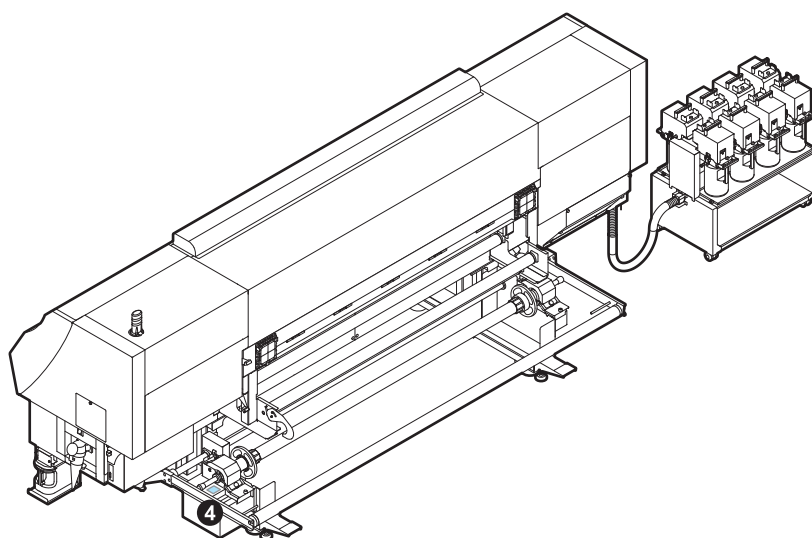
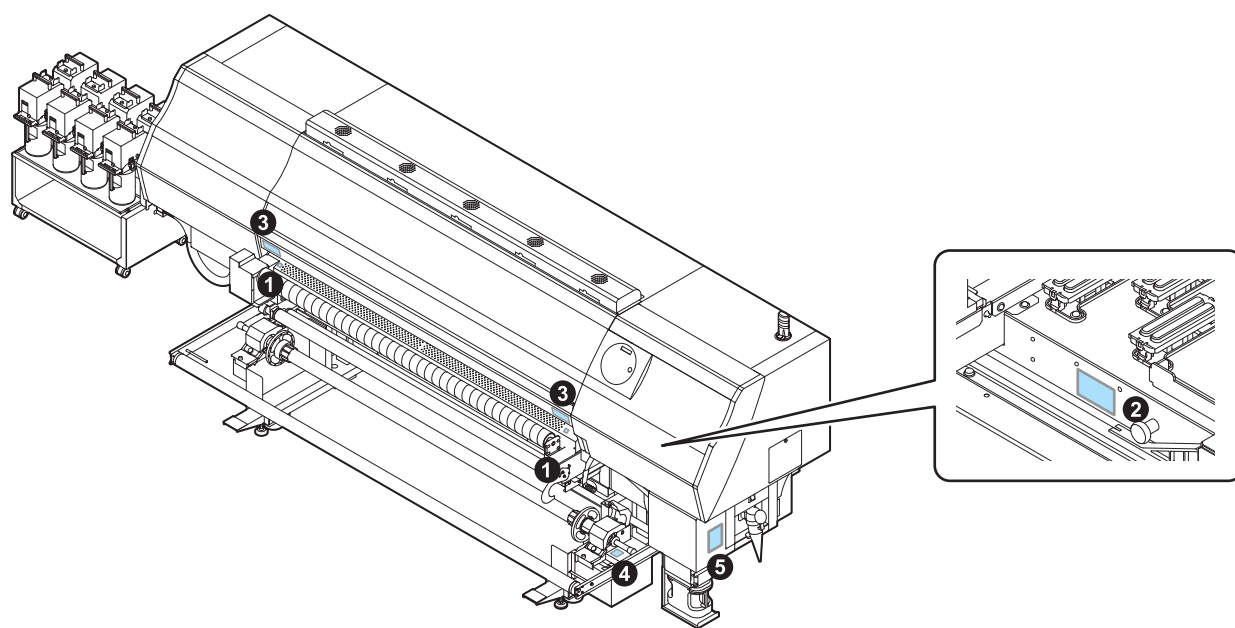
プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの OS	
マシン情報 ^{*1}	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

^{*1}。「第 3 章 便利な使い方」の、「装置情報を確認する」をご覧ください。(P.3-43)

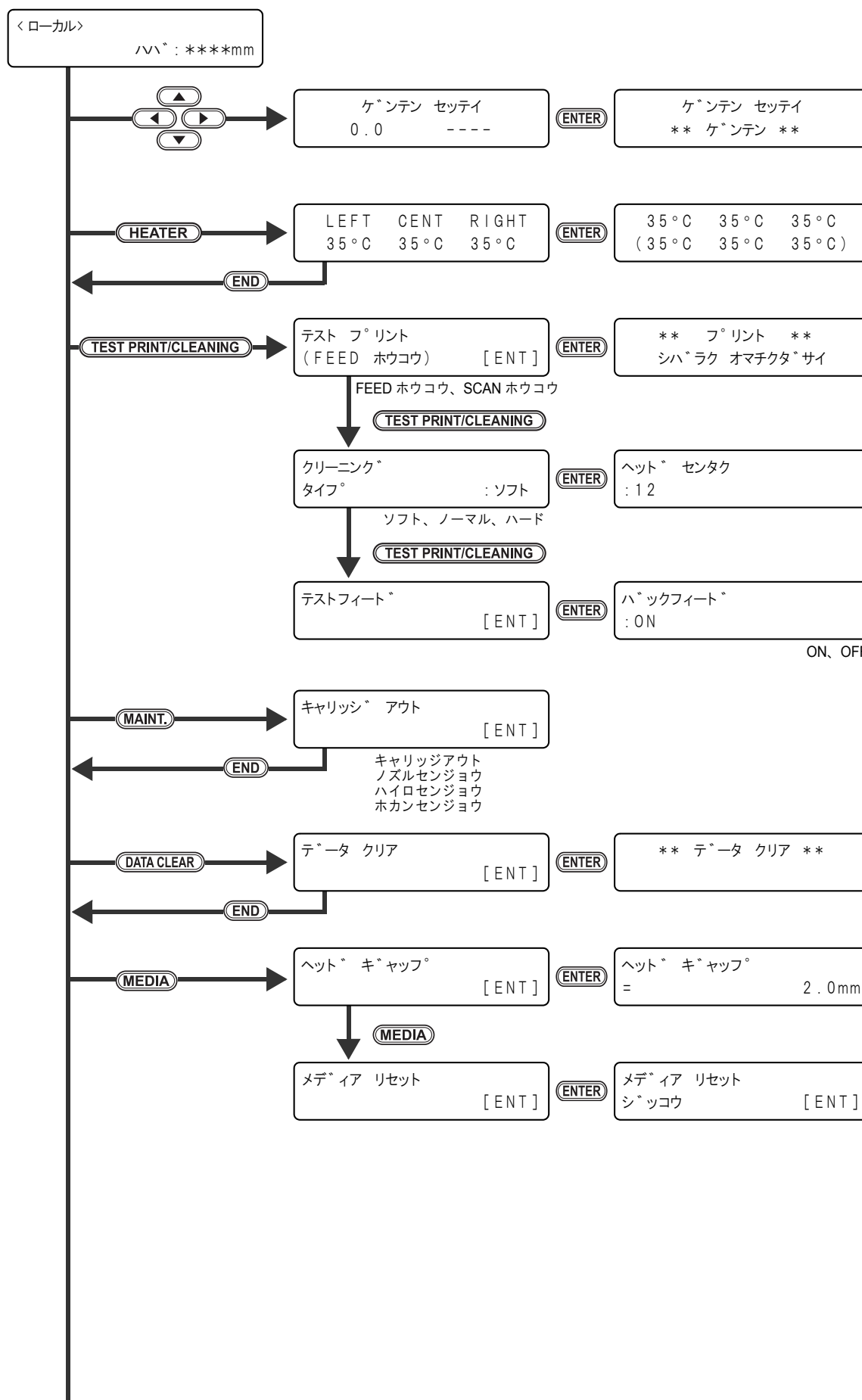
警告ラベルについて

本装置には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。



1: 注文番号 .M903239	2: 注文番号 .M903330										
											
3: 注文番号 .M901549											
<table> <tr> <th> 注意</th><th> 注意</th><th> CAUTION</th><th> ACHTUNG</th><th> ATTENTION</th></tr> <tr> <td>滾輪转动时, 请勿将手插入前盖外盖的内部。</td><td>キャリッジ動作中は、フロントカバーの中に指を入れないでください。</td><td>-MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area</td><td>-Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen.</td><td>-CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone. (S)</td></tr> </table>	 注意	 注意	 CAUTION	 ACHTUNG	 ATTENTION	滾輪转动时, 请勿将手插入前盖外盖的内部。	キャリッジ動作中は、フロントカバーの中に指を入れないでください。	-MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area	-Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen.	-CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone. (S)	
 注意	 注意	 CAUTION	 ACHTUNG	 ATTENTION							
滾輪转动时, 请勿将手插入前盖外盖的内部。	キャリッジ動作中は、フロントカバーの中に指を入れないでください。	-MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area	-Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen.	-CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone. (S)							
4: 注文番号 .M903404	5: 注文番号 .M908973										
											

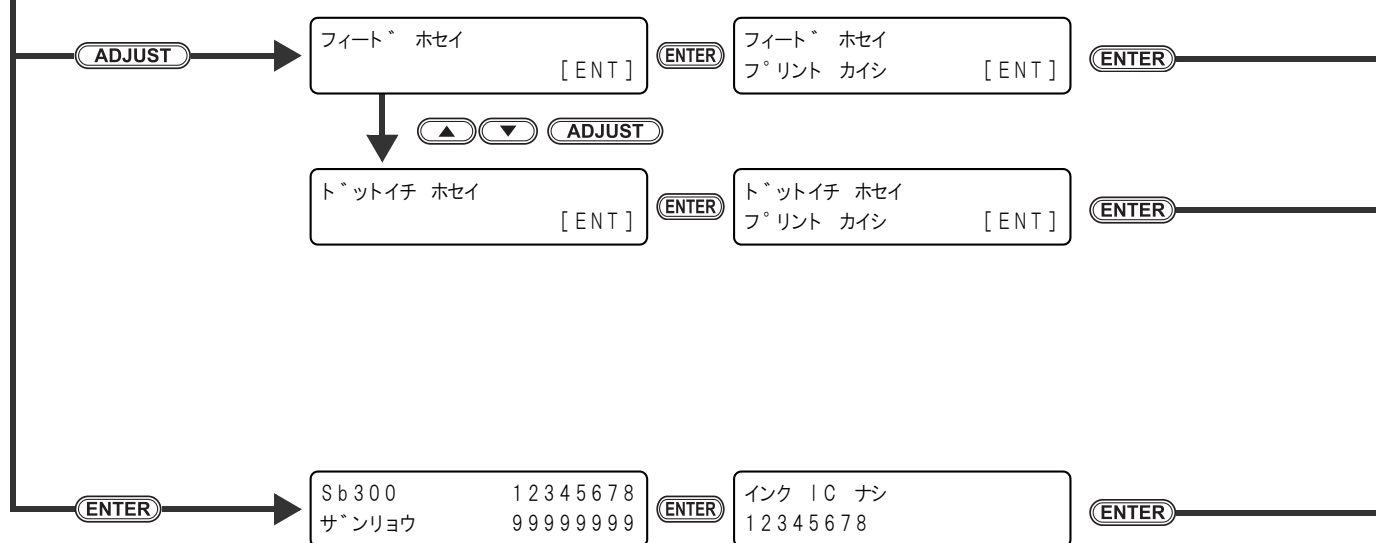
機能フローチャート

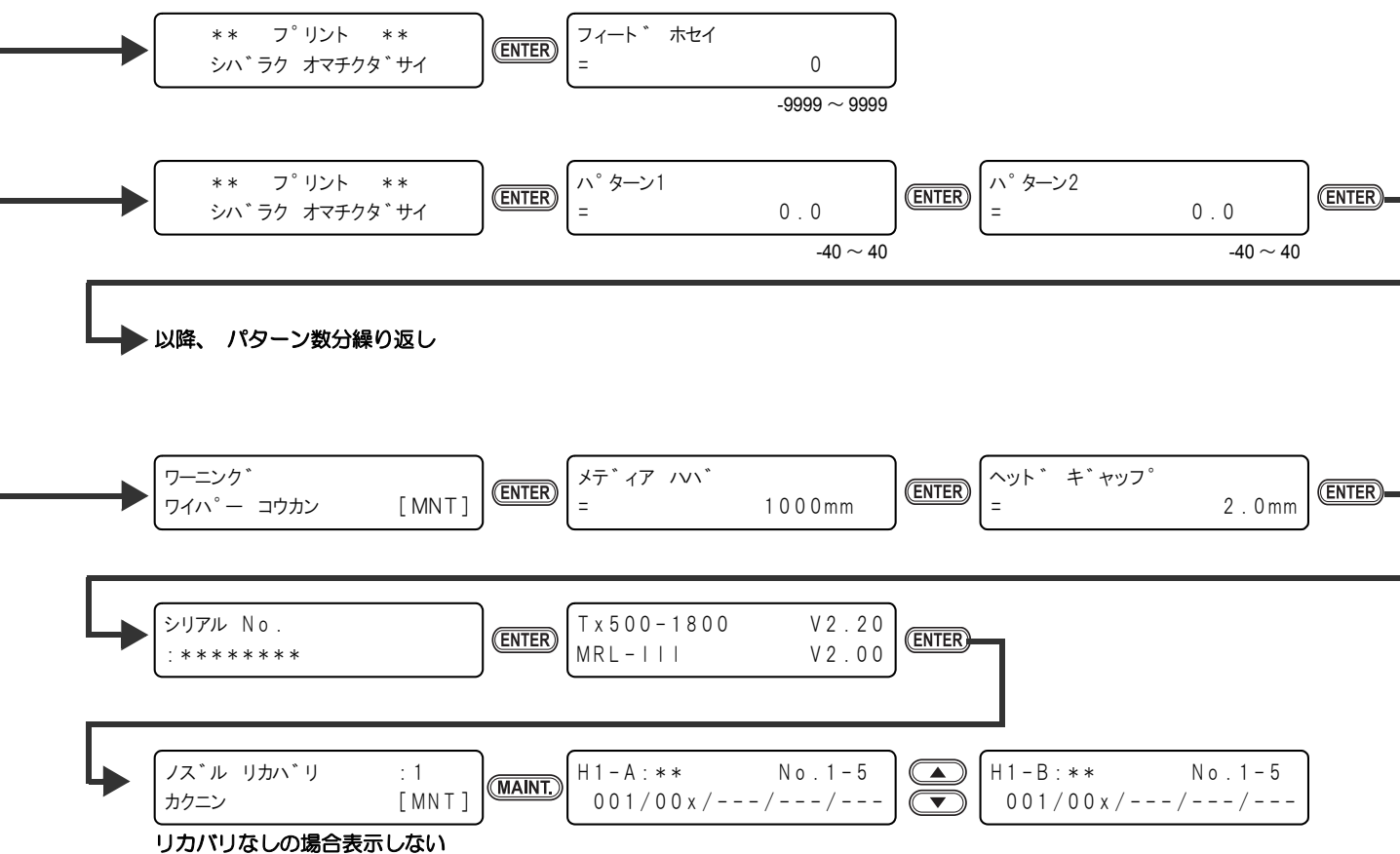


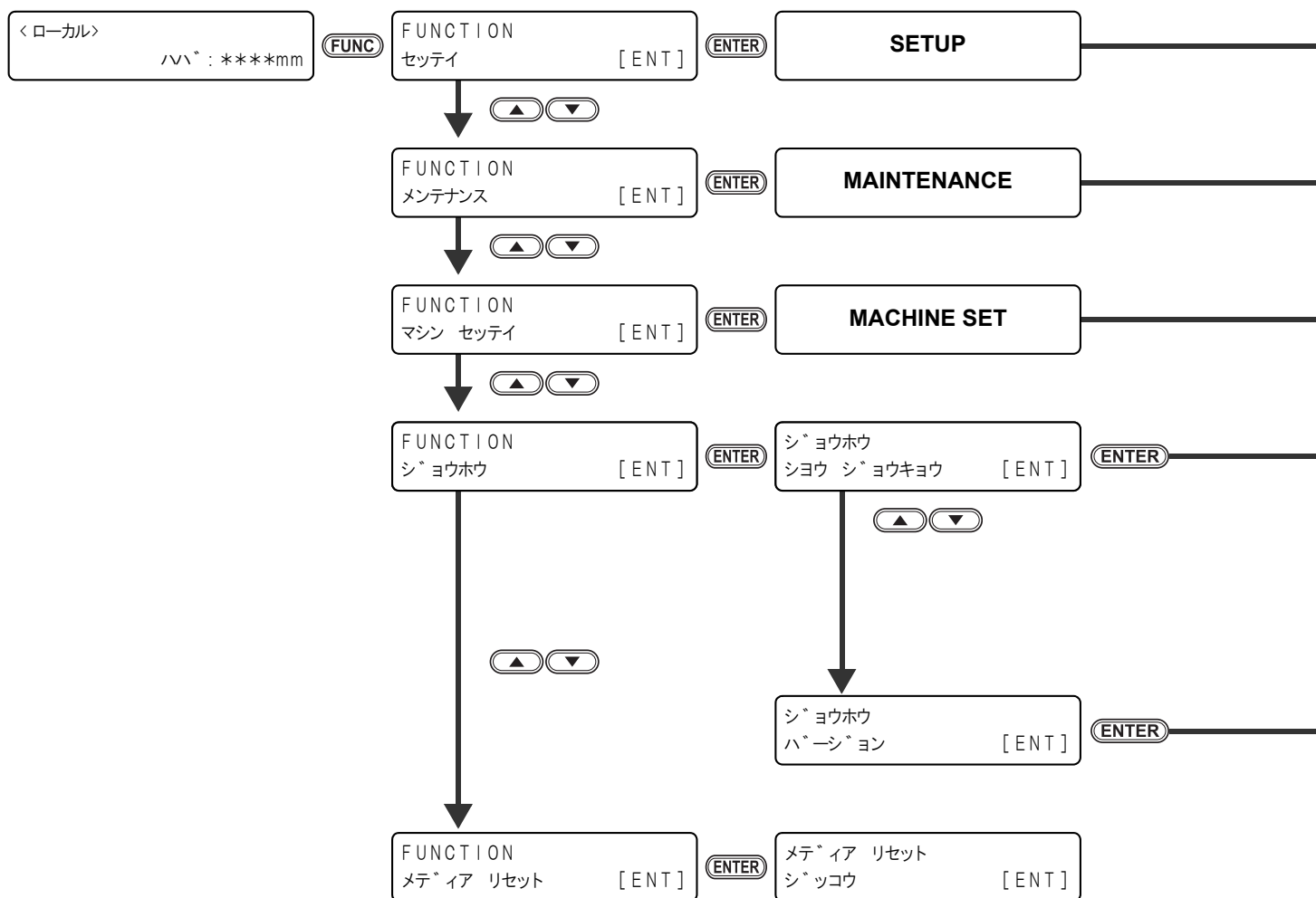
P.6-10 へ

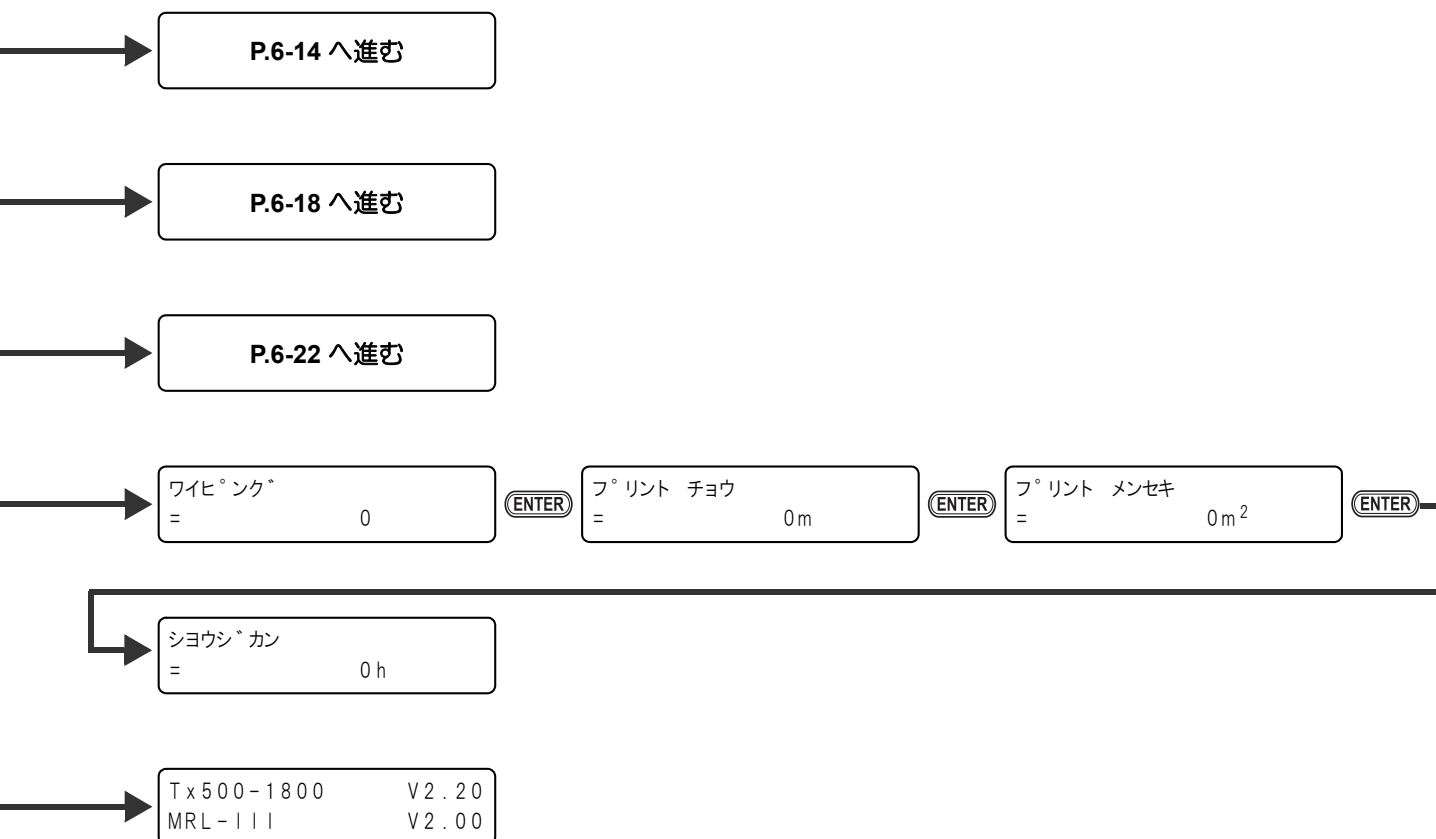


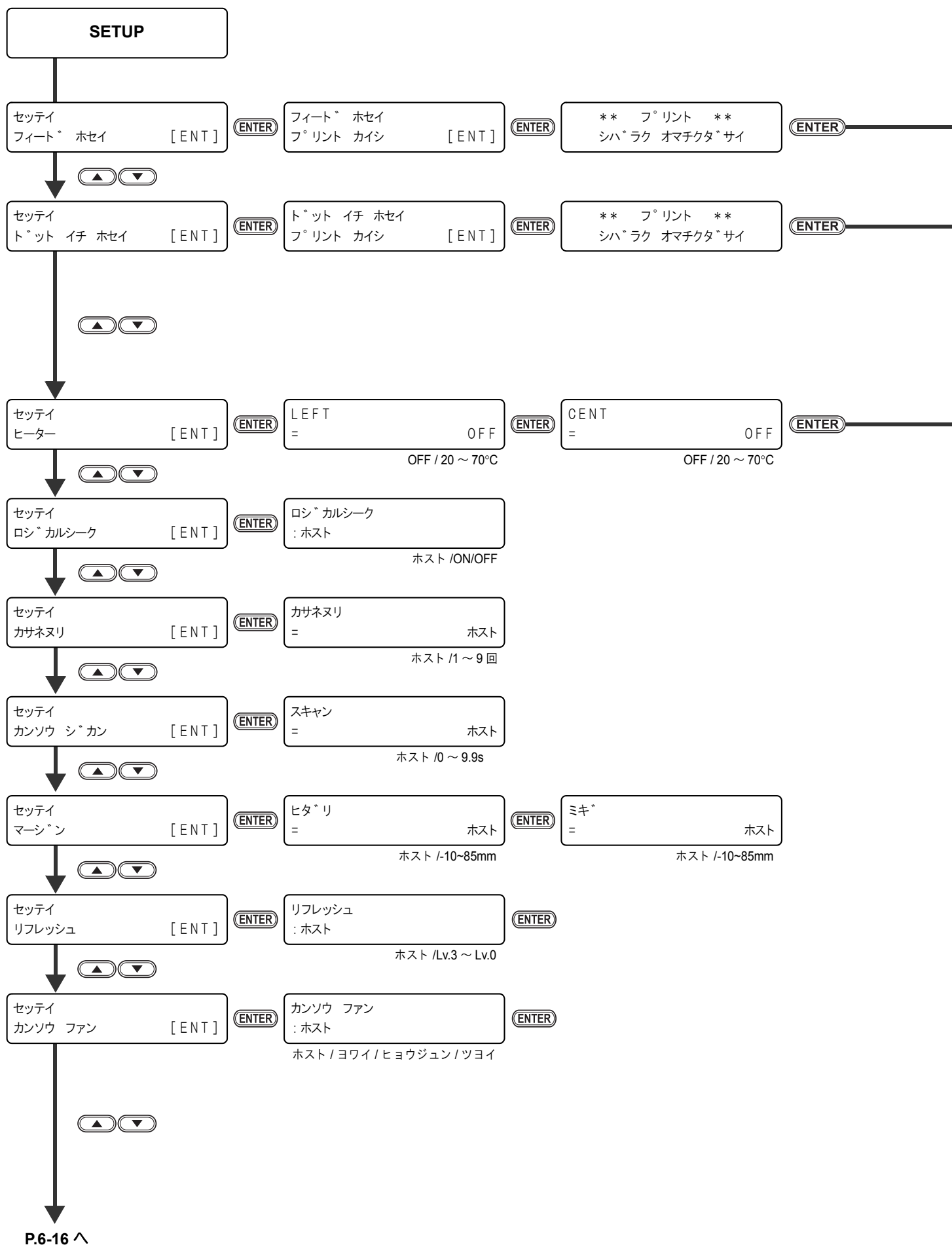
P.6-8 から

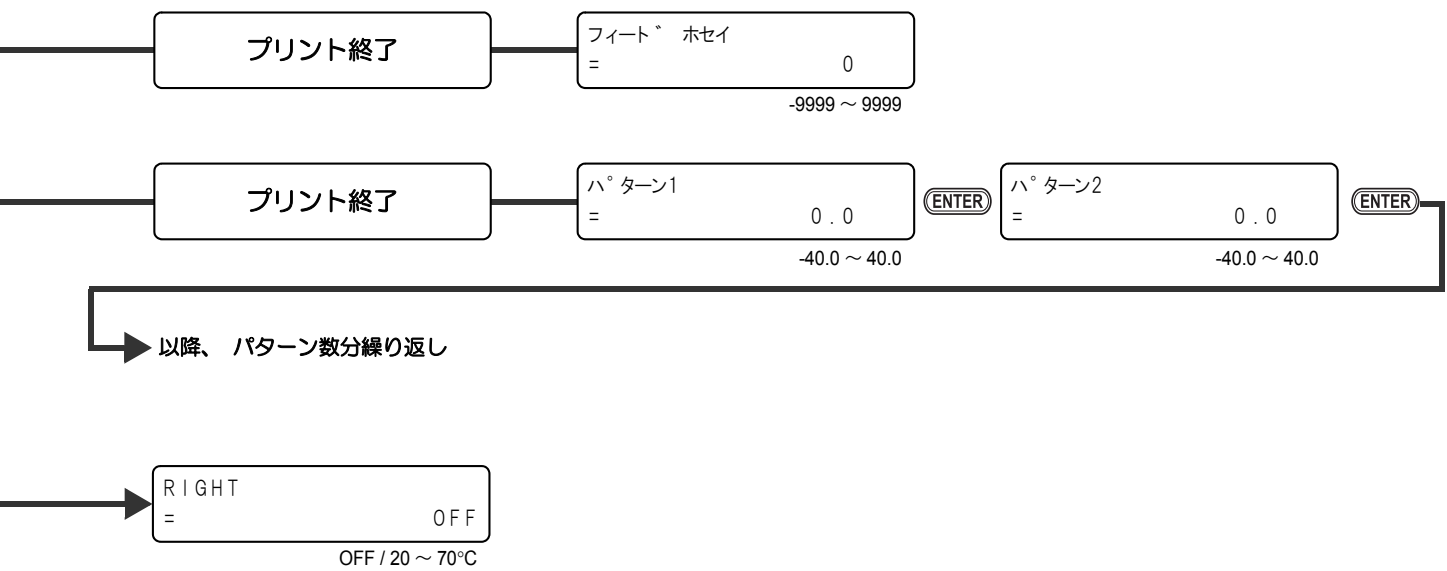




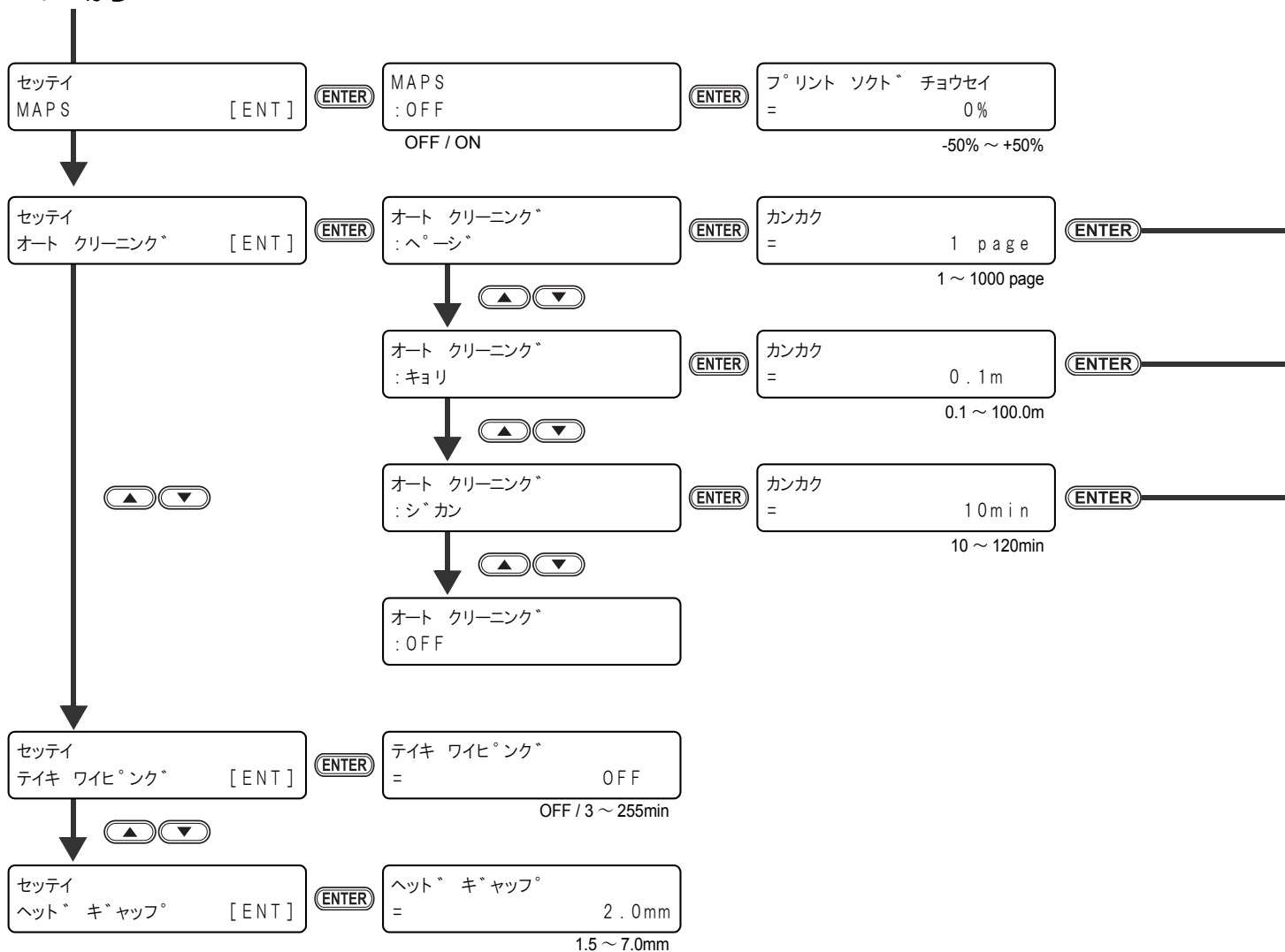


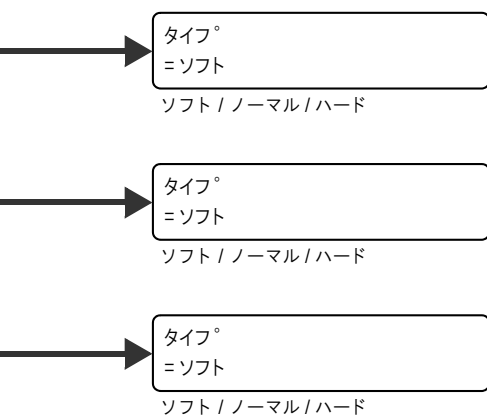


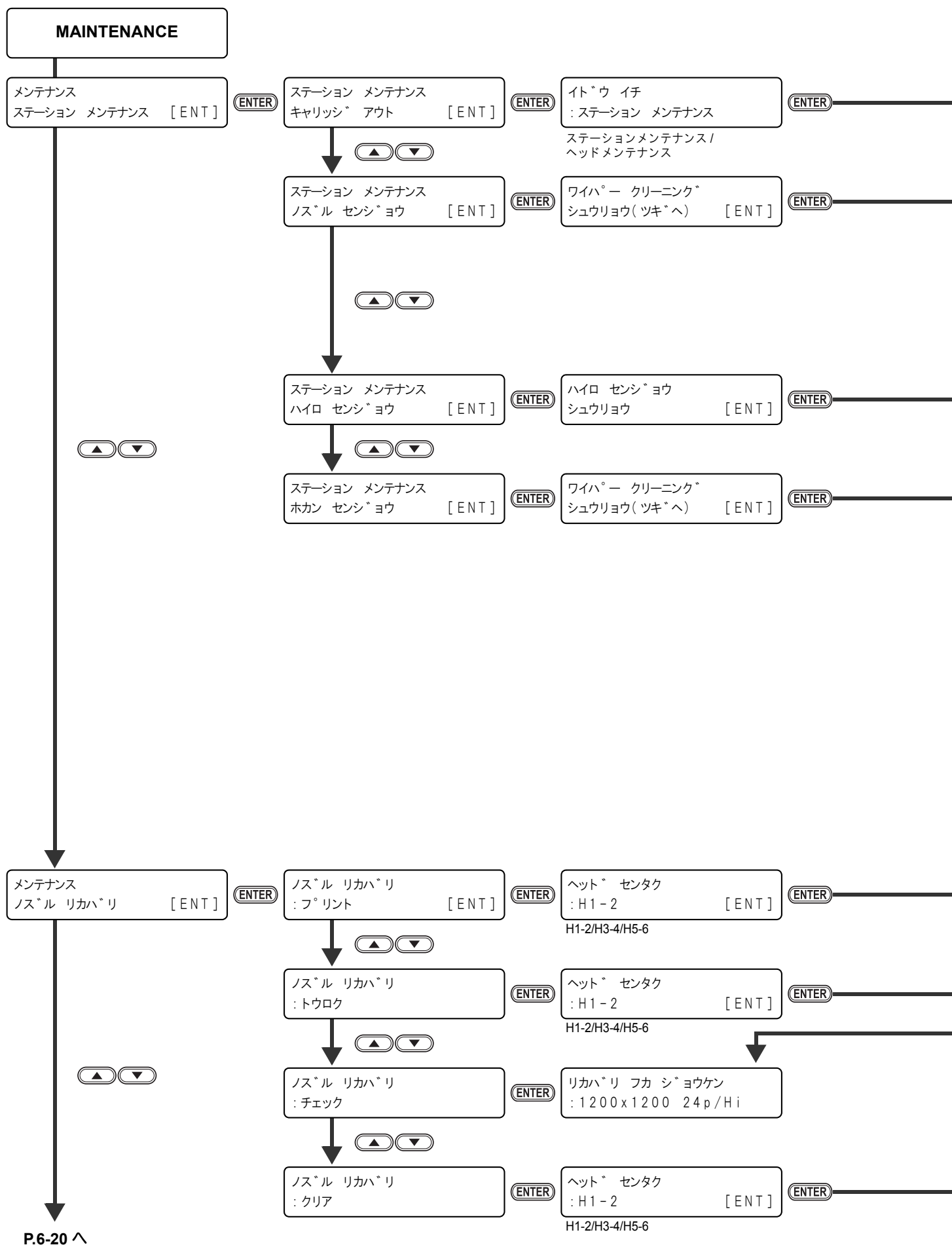


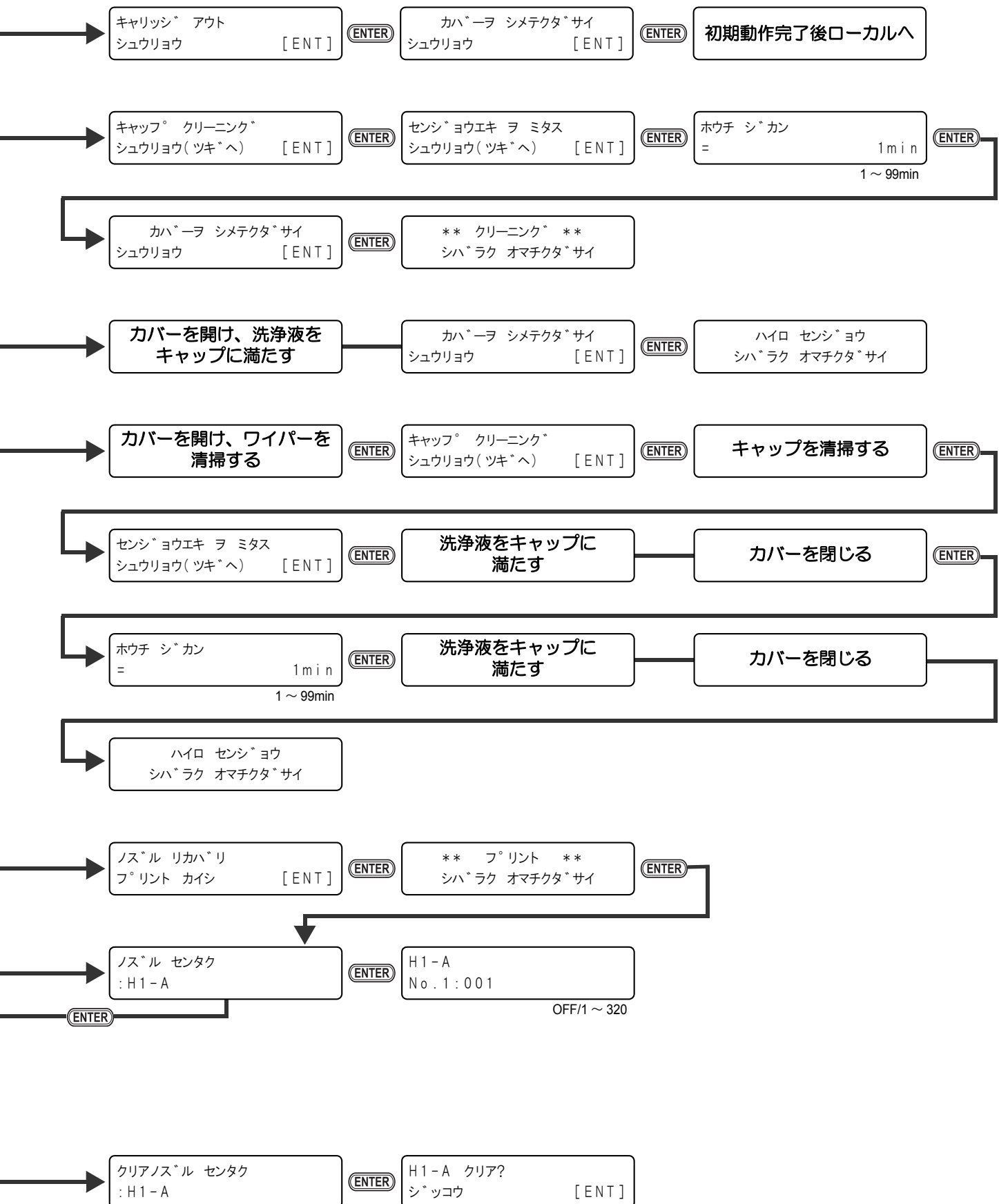


P.6-14 から

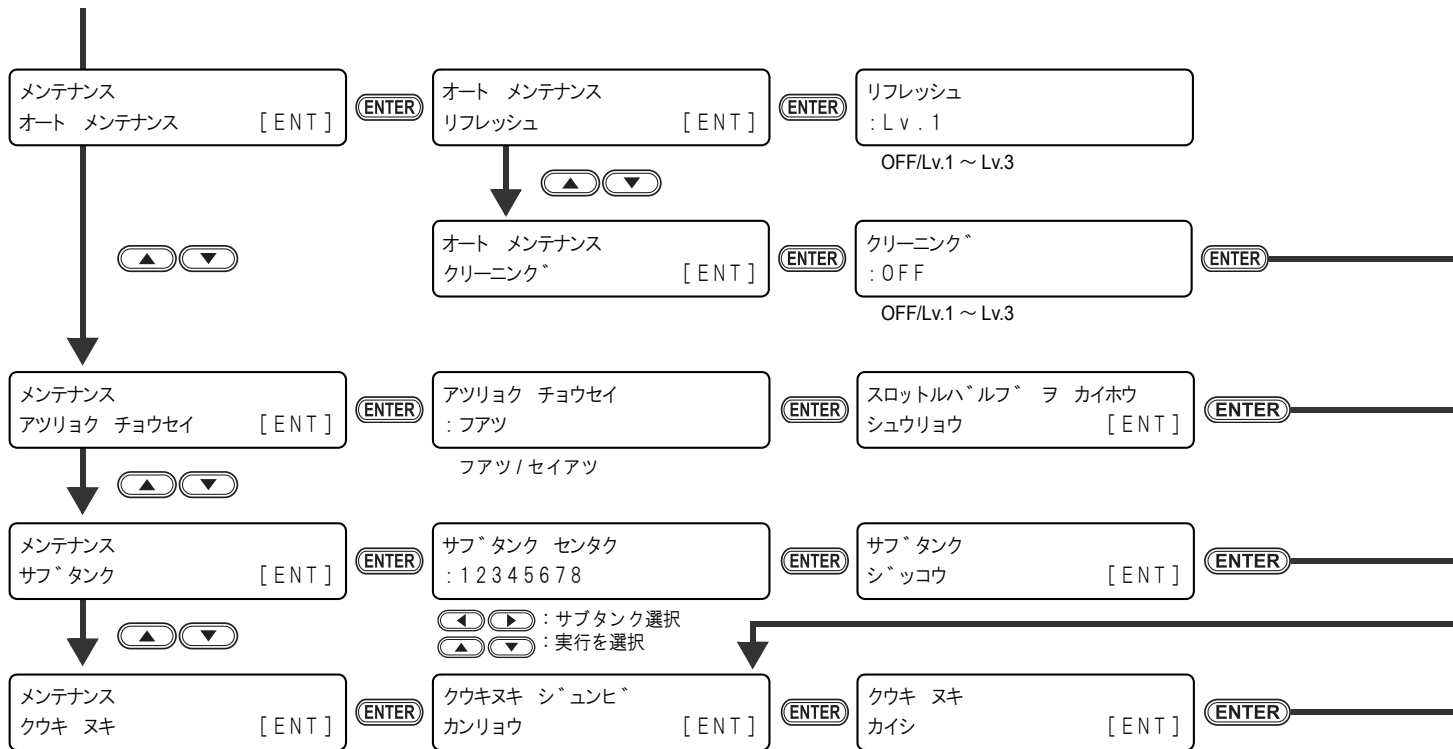


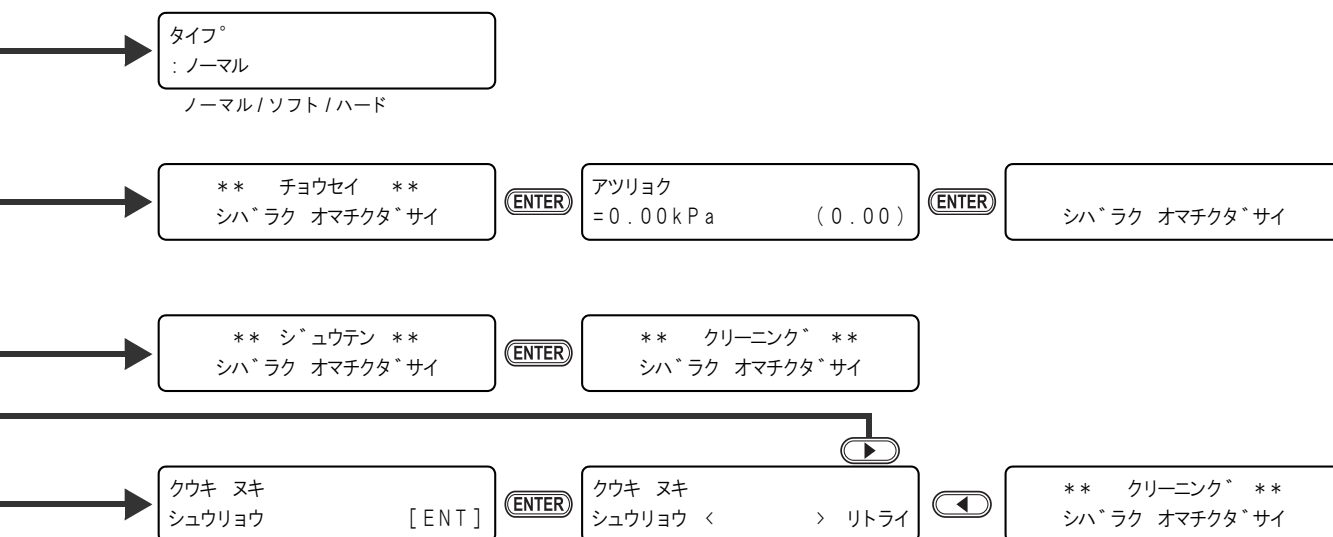


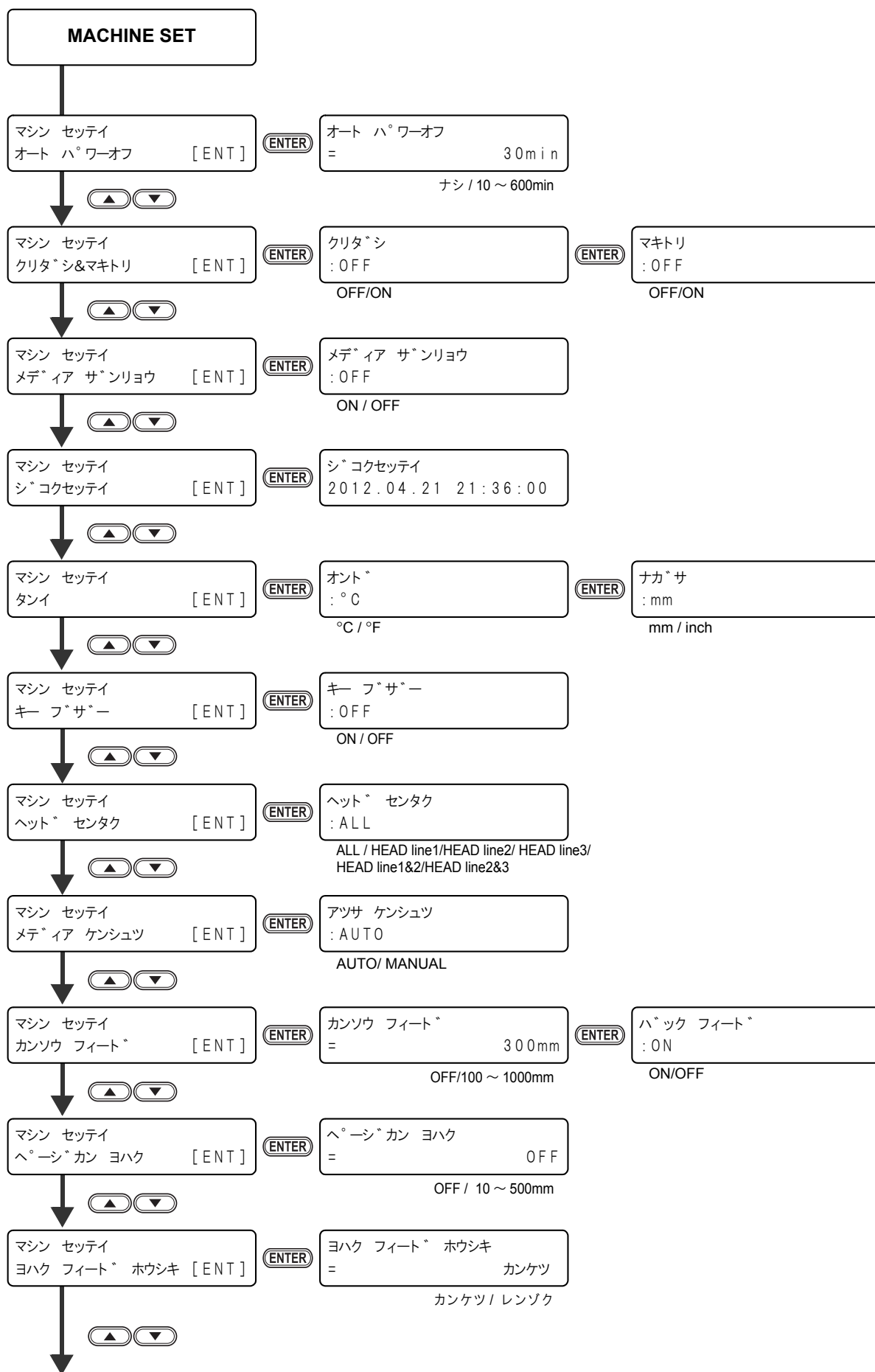




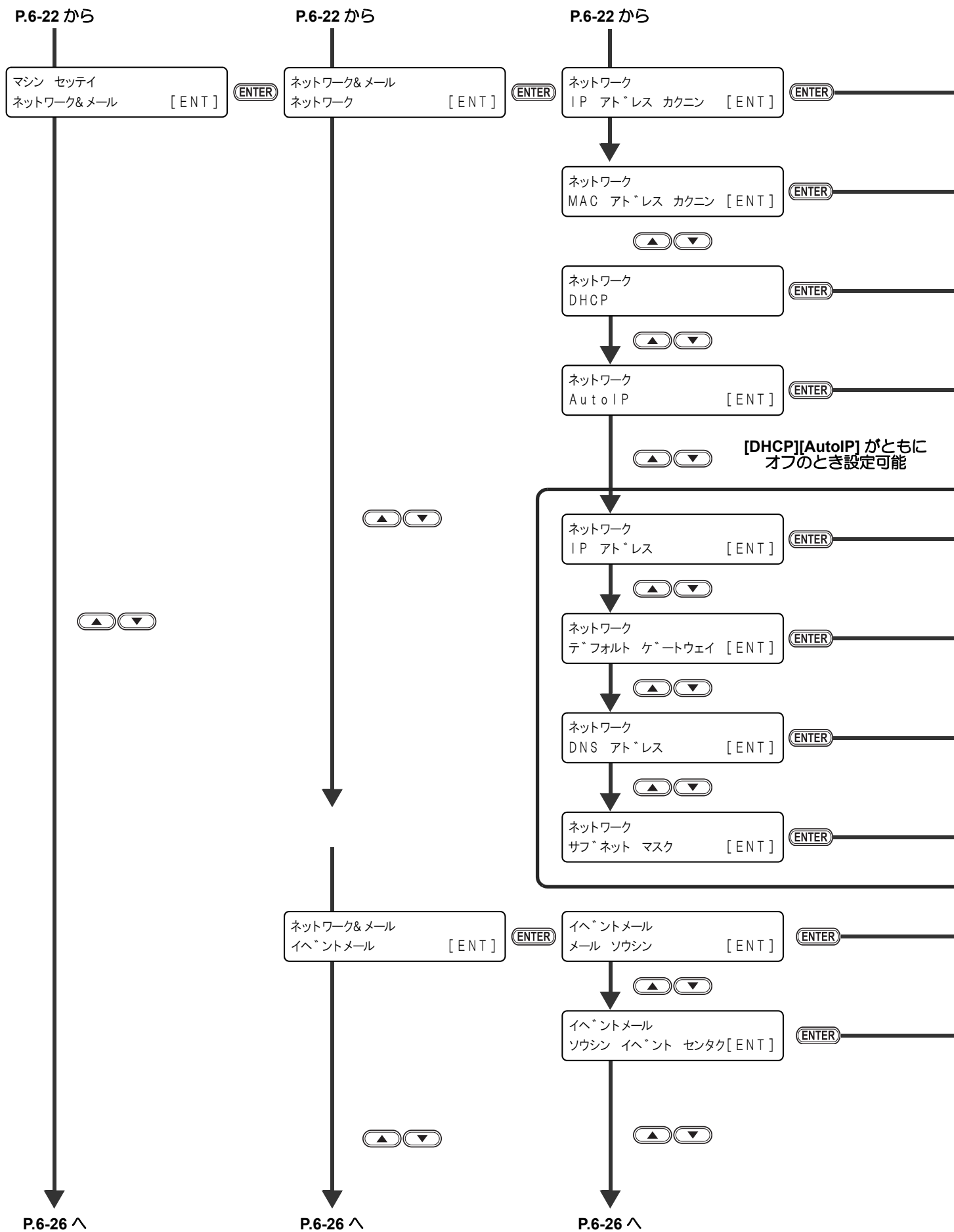
P.6-18 から

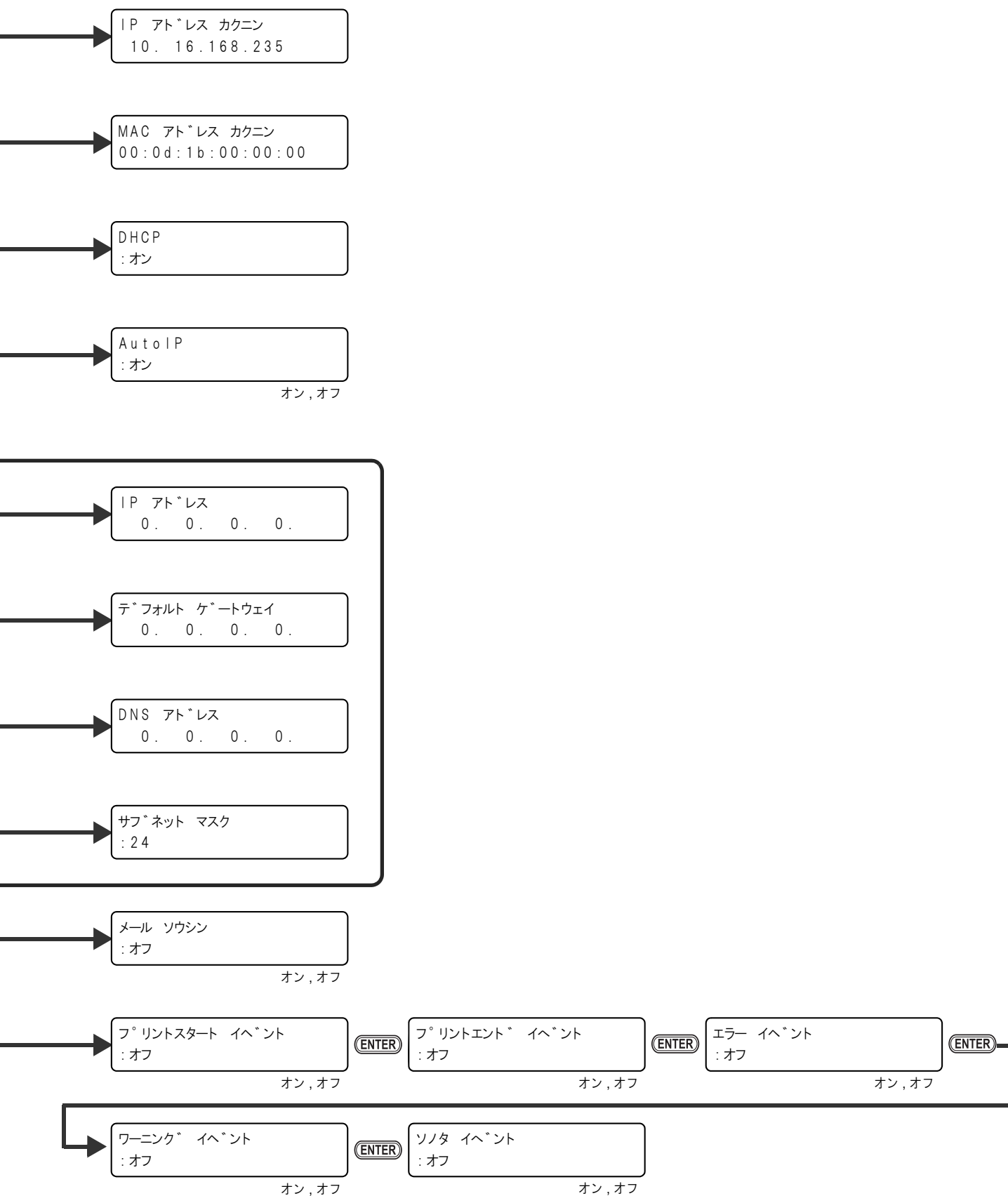






P.6-24 へ





P.6-24 から



P.6-28 へ

P.6-24 から



ネットワーク& メール
セッテイ ロック [ENT]

P.6-24 から

イベントメール
メール アドレス [ENT]

ENTER



イベントメール
ケンメイ [ENT]

ENTER



イベントメール
サーバー セッテイ [ENT]

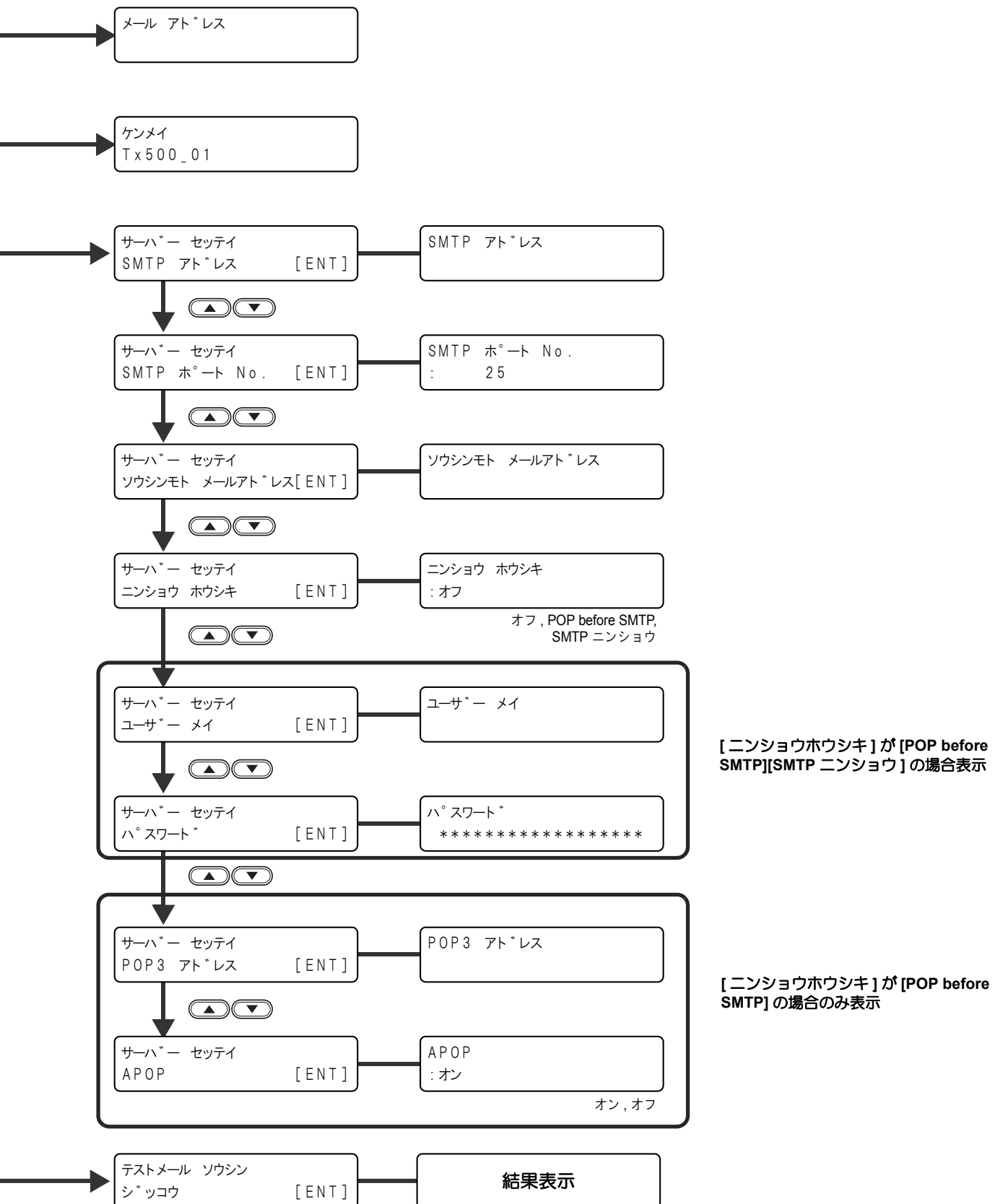
ENTER



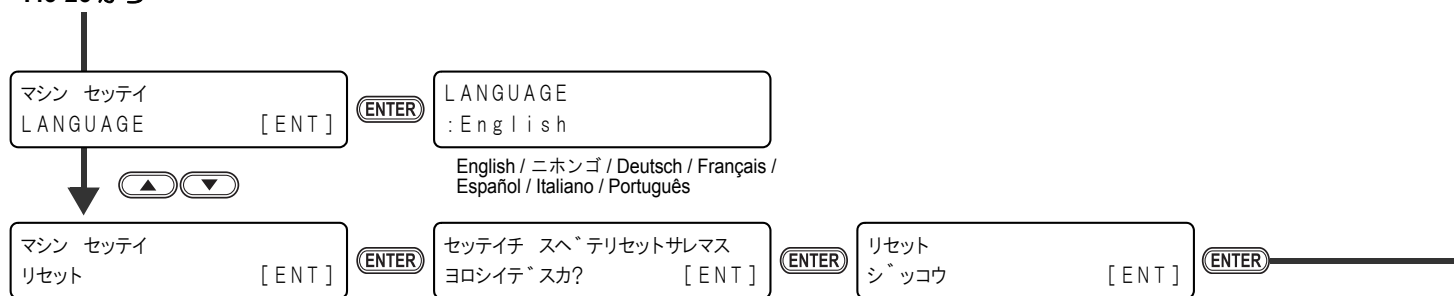
イベントメール
テストメール ソウシン [ENT]

ENTER

セッテイ ロック
ロック : 0000



P.6-26 から



設定リセット

索引

I

IC チップ	1-13
カラー情報	1-13

L

LANGUAGE	3-14
----------------	------

U

USB2.0 インターフェイスクーブル	1-10
---------------------------	------

Y

Y モーターの清掃	4-28
-----------------	------

あ

圧力異常が発生したら	5-9
安全インターロックについて	x
安全にお使いいただくために	vii
ご注意とお願い	ix
使用上の警告	viii
使用上のご注意	viii
設置上のご注意	x

い

イベントメール機能	3-30
イベントメール機能を有効にする	3-30
イベントを設定する	3-31
インクコウカンレポート	3-43
インクの混色や空気混入によるノズル抜けが 発生した	5-7
インクボトル取り扱い上のご注意	1-16
インクボトルのセット順	6-4

え

エラー 618 ～ 61b	5-6
エラーメッセージ	5-17

お

オートパワーオフ	3-13, 3-15
オートメンテナンス	4-26
オートメンテナンス機能	
クリーニング間隔	4-27
リフレッシュ間隔	4-26
お問い合わせシート	6-5
折り返しバー 1	2-15
折り返しバー 2	2-15

か

外装のお手入れ	4-2
各部の名称とはたらきについて	
キャリッジ	1-8
操作パネル	1-6
装置前面	1-4
装置背面 / 側面	1-5
ヒーター	1-7
画質不良が発生したときは	5-4
乾燥時間の設定	3-5
乾燥フィード	3-25, 3-26

き

キープザー	3-13, 3-21
機能フローチャート	6-8
キャッピングステーション	1-8
キャッピングステーションのメンテナンス	
インク排出路の洗浄	4-14
長期間使用しない場合	4-15
ヘッドノズルの洗浄	4-20
ワイパインク受けの清掃	4-12
ワイパーとキャップの清掃	4-9
ワイパーを交換する	4-29

く

繰出ユニット	2-14
--------------	------

け

警告ラベル	6-6
言語の設定	3-23
件名を設定する	3-34

こ

故障?と思う前に	5-2
HEAT ランプ, CONSTANT ランプが 点灯しない	5-3
インクボトルに異常が発生したら	5-5
画質不良が発生したときは	5-4
サブタンク関連のエラー	5-6
電源が入らない	5-2
ノズル詰まりを解消したいとき	5-4
プリントできない	5-2
ヘッド故障エラーが表示したら	5-11
メディアが汚れる	5-3
メディア詰まり	5-3
ご注意	v

さ

サーバーを設定する	3-35
最大プリントエリア	2-5
作業の流れ	2-2

し

ジコクセッテイ	3-13
ジコクの設定	3-19
受信障害	v
仕様	
インク仕様	6-3
本体仕様	6-2
使用可能メディアサイズ	1-17
使用環境温度	1-2
使用状況	3-43
情報を表示させる	3-45
情報を表示する	3-45
初期状態に戻す	3-42

す

ステーション メンテナンス	4-9
ステンレス板	2-20

せ

設置場所について	1-2
設定機能一覧	3-2
設定ロック	3-40
パスワードを解除する	3-41
パスワードを設定する	3-40

そ

装置の固定	1-3
装置の使用状況を確認する	3-43
装置のバージョン情報を確認する	3-44
双方向プリントのドット位置を調整する	2-38

た

タンイ	3-13, 3-20
-----------	------------

て

データクリア	2-41
データをプリントする	2-40
テストフィード	2-30
テストプリント	2-31
テストメールを送信する	3-38
電源ケーブル	1-11
電源を入れる	2-3
電源を切る	2-4
電源を切るときのご注意	2-4
テンションバー	2-14
電波障害自主規制	v

と

ドット位置補正	2-38
取扱説明書について	vi
トルクリミッタ	2-35

に

日常のお手入れ	
お手入れ上のご注意	4-2
センサーの清掃	4-3

ぬ

布押さえの調節方法	2-20
布のシワ	2-21

ね

ネットワークの設定	3-28
-----------------	------

の

ノズル面の清掃頻度を設定する	3-11
ノズルリカバリ	4-22

は

バージョン	3-43
バージョン情報	3-44
廃インクタンク確認メッセージ	4-30
廃インクタンクを交換する	4-30
ハイロセンジョウ	4-14

ひ

ヒーターの準備をする	
ヒーターの温度設定を変更する	2-28
ヒーターの温度を確認する	2-29
標準マージン	3-6
ピンチローラーとフィードローラー	1-9

ふ

フィード補正の設定	2-36
プラテンの清掃	4-4
プリント結果	2-32
プリントを開始する	2-40
プリントを中断する	2-41

へ

ヘッド メンテナンス	4-18
ヘッドギャップ	2-26
ヘッドクリーニング	2-33
ヘッドライン	3-22

 ほ

ホカンセンジョウ	4-15
本装置の移動	1-3

 ま

マーク表示	vii
マーシンの設定	3-6
マシン設定	3-13

 め

メールアドレスを設定する	3-32
メディア残量	3-17
メディア押さえの清掃	4-8
メディアケンシュツ	3-24
メディアザンリョウ	3-13
メディア残量表示	3-17
メディア残量表示の設定	3-17
メディアセットの概要	2-6
メディアについて	
使用制限のあるメディア	1-18
プリント布の取り扱い	1-17
メディア巻取装置の準備	2-11
メンテナンス洗浄液	4-2

 り

リーフメディアをセットする	2-24
リセット	3-42

 ろ

ロールメディアをセットする	2-11, 2-14
ロジカルシークの設定をする	3-4

 わ

ワーニングメッセージ	5-13
ワイパーを交換する	4-29

Tx500-1800DS 取扱説明書

2015 年 10 月

発行者	株式会社ミマキエンジニアリング
発行所	株式会社ミマキエンジニアリング
	〒 389-0512
	長野県東御市滋野乙 2182-3

